EPSON
EXCEED YOUR VISION

SureLab OrderController 操作ガイド

SureLab OrderController を使用して写真のプリントをオーダーとして管理、処理する方法について記載しています。

NPD4695-07 JA
© 2015 Seiko Epson Corporation. All rights reserved.

マークの意味

！重要 この表示を無視して誤った取り扱いをすると、プリンター本体が損傷したり、プリンター本体、プリンタードライバーやソフトウェアが正常に動作しなくなる場合があります。この表示は、本製品をお使いいただく上で必ずお守りいただきたい内容を示しています。

参考 補足説明や参考情報を記載しています。

☞ 関連した内容の参照ページを示しています。

掲載画面

- 本書の画面は実際の画面と多少異なる場合があります。また、OS の違いや使用環境によっても異なる画面となる場合がありますので、ご注意ください。
- 本書に掲載する Windows の画面は、特に指定がない限り Windows 7 の画面を使用しています。

Windows の表記

Microsoft® Windows® 7 operating system 日本語版
Microsoft® Windows® 8 operating system 日本語版
Microsoft® Windows® 8.1 operating system 日本語版
Microsoft® Windows® 10 operating System 日本語版
本書では、各オペレーティングシステムをそれぞれ「Windows 7」、「Windows 8」、「Windows 8.1」、「Windows 10」と表記しています。また、これらを総称名として「Windows」を使用しています。

商標

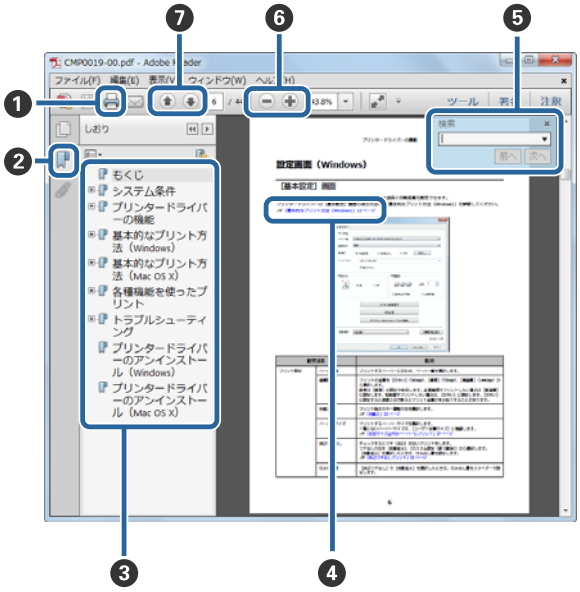
EPSON および EXCEED YOUR VISION はセイコーエプソン株式会社の登録商標です。
Microsoft、Windows は米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。
Adobe、Reader は Adobe Systems Incorporated（アドビシステムズ社）の登録商標です。
その他の製品名は各社の商標または登録商標です。

ご注意

- 本書の内容の一部または全部を無断転載することを禁止します。
- 本書の内容は将来予告なしに変更することがあります。
- 本書の内容にご不明な点や誤り、記載漏れなど、お気付きの点がありましたら弊社までご連絡ください。
- 運用した結果の影響については前項に関わらず責任を負いかねますのでご了承ください。
- 本製品が、本書の記載に従わずに取り扱われたり、不適当に使用されたり、弊社および弊社指定以外の、第三者によって修理や変更されたことなどに起因して生じた障害等の責任は負いかねますのでご了承ください。

PDF マニュアルの見方

Adobe Reader で PDF マニュアルを見る際の基本的な操作を Adobe Reader XI で表示したときを例に説明します。



❶	PDF マニュアルを印刷するときにクリックします。
❷	クリックするたびに、しおりを閉じたり表示したりします。
❸	タイトルをクリックすると該当のページが表示されます。 ［+］をクリックすると、下の階層のタイトルが表示されます。
❹	参照先が青字で記載されているときは、青字の部分をクリックすると該当のページが表示されます。 元のページに戻るときは、以下のように行います。 【Alt】キーを押したまま【←】キーを押します。
❺	確認したい項目名などキーワードを入力して検索ができます。 PDF マニュアルのページ上で右クリックし、表示されたメニューで［簡易検索］を選択すると、検索ツールバーが表示されます。
❻	表示中の文字が小さくて見えにくいときは をクリックすると拡大します。 をクリックすると縮小します。 イラストや画面図など拡大する部分を指定するには、以下のように行います。 PDF マニュアルのページ上で右クリックし、表示されたメニューで［マーキーズーム］を選択します。 ポインターが虫眼鏡に変わりますので拡大したい箇所を範囲指定します。
❼	前ページ / 次ページを表示します。

もくじ

ソフトウェアのインストール 5

システム構成 5
- システム条件 6
- インストール 6

起動と終了 8

起動 8

終了 10

作業前の確認 12

基本的な機能 12

事前準備 14

作業の流れ 15
- オーダーを作成する 15
- 登録済みのオーダーを処理する 16

基本操作 17

オーダーの作成 17

オーダーの編集 24

検定と画像データの補正 28
- 検定 28
- 画像データの補正 32

オーダーの状態変更 36
- オーダーの状態確認 36
- オーダーの中断 37

応用操作 41

その他の画像選択 41
- サムネイルで画像を選択する 41
- スキャナーで読み込む 44
- DPOF データを読み込む 47

CD/DVD への書き込み 49

割り込みプリント 53

複数のプリンターでプリントする 55
- オーダー単位でプリントを振り分け 57
- 写真ごとにプリントを振り分ける 57

再プリント 58
- オーダーの再プリント 58
- オーダーのインポート 62
- オーダーのエクスポート 64

集計 66
- 集計方法の選択と表示 66
- 集計結果のエクスポート 68

ペーパー幅に合わせてプリント 70
- 設定方法 70

オーダーを分割する 72
- 任意の画像を別のプリセットにする 72
- インデックスを別サイズでプリントする 76

環境設定 81

基本設定 81
- プリント設定 81
- アプリケーション設定 94
- About 108
- インポート/エクスポート 110

プリセット編集 114
- プリセットの編集 114
- プリセットのコピー 125
- プリセットのエクスポート 128

画像補正値編集 130
- 補正値の編集 130
- 補正値のコピー 138

裏印字編集 140
- 裏印字の登録、変更 140

操作画面の構成 143

オーダー一覧画面 143

オーダー登録/編集画面 147

画像選択画面（ファイル名/サムネイル） 149

画像選択画面（スキャナー） 151

開く画面（DPOF） 152

画像検定画面 153
画像補正画面 156
プリント済みオーダー画面 160
集計画面 163
環境設定 164
基本設定画面 164
プリセット編集画面 170
プリセットコピー画面 174
画像補正値編集画面 175
画像補正コピー画面 177
裏印字編集画面 178

付録 179

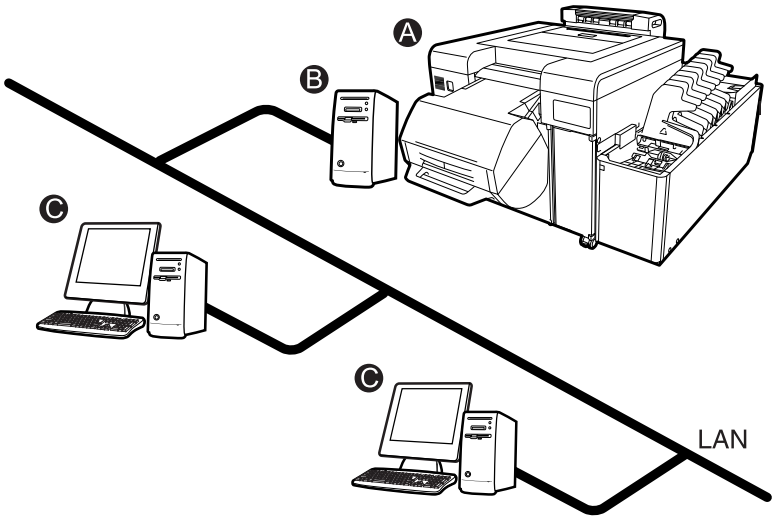
ソフトウェアの削除 179
インデックスシートのサンプル 180
ご注意・商標 183
本製品の不具合に起因する付随的損害 183
本製品を日本国外へ持ち出す場合の注意 183
著作権 183
ソフトウェア使用許諾契約書 184

ソフトウェアのインストール

システム構成

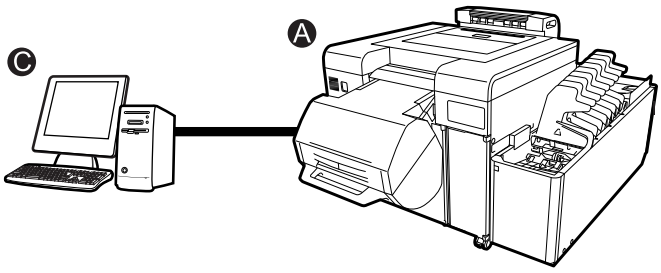
本ソフトウェアは、操作 PC にインストールして使用します。プリンター PC のあるシステムでは、操作 PC を増設することができます。
※本システムは、2 台の操作 PC の同時接続を保証しています（3 台以上の同時接続は動作保証外になります）。

プリンター PC のあるシステム：操作 PC を増設して接続可能



Ⓐ：プリンター　Ⓑ:プリンター PC　Ⓒ：操作 PC

操作 PC のみのシステム：操作 PC を 1 台接続可能



Ⓐ：プリンター　Ⓒ：操作 PC（コンピューター）

システム条件

インストールする操作 PC（コンピューター）は、以下のハードウェアおよびシステム条件が必要です。

オペレーティングシステム	Windows 7 Professional（64bit） Windows 8 Pro（64bit） Windows 8.1 Pro（64bit） Windows 10 (64bit)
CPU	Intel Core2Duo 2GHz 以上（推奨 Intel Core i7）
主記憶メモリー	2GB 以上（推奨 8GB 以上）
ハードディスク空き容量	インストール時は、2GB 以上。 インストール後は、オーダーに含まれる画像ファイルの容量に対応した空き容量が必要。
ディスプレイ	1280×1024、24 ビットカラー以上
対応画素フォーマット	JPEG/TIFF/BMP 10,000×10,000 画素以下

インストール

1 **操作 PC を起動します。**

！重 要

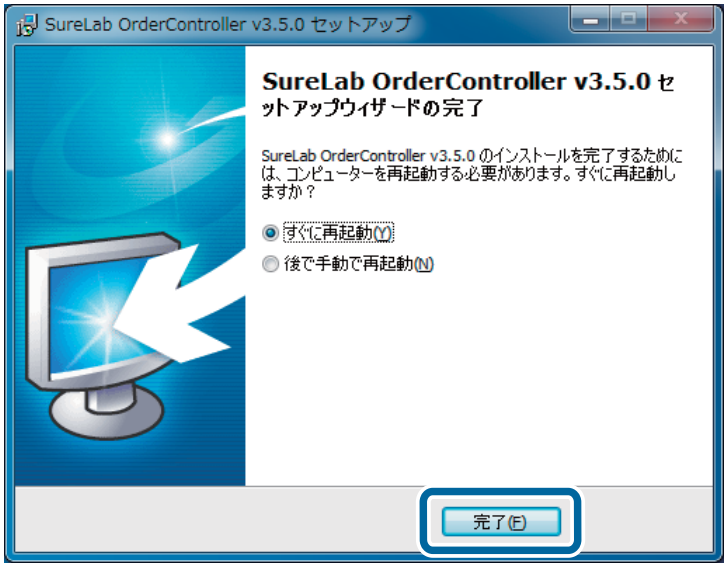
- インストール中は、以下のことを守ってください。
  - プリンターや PC を接続している USB ケーブルや LAN ケーブルを抜かない。
  - プリンターや PC の電源スイッチを切らない。
- 操作 PC へは管理者権限のあるユーザーでログオンしてください。管理者のパスワードまたは確認を求められたときは、パスワードを入力して操作を続行してください。
- プリンタードライバーなど、プリント操作に必要なアプリケーションは、あらかじめ操作 PC にインストールしてください。
- SL-D3000 では終業点検が終わっている状態にしてください。

2 **操作 PC の Windows 以外のすべてのアプリケーションソフトを終了します。**

3 **操作 PC に SureLab OrderController のインストール用 CD-ROM をセットし、SureLab OrderController フォルダーの「Install.exe」を実行します。**

4 以降、画面の指示に従って操作します。

5 インストールが完了すると次の画面が表示されます。［完了］をクリックしてシステムを再起動します。



6 **SureLab OrderController** を起動して、使用するプリンターの登録やソフトウェアの動作環境、初期値などを設定します。

☞ 「事前準備」14 ページ

起動と終了

起動

SureLab OrderController を起動します。

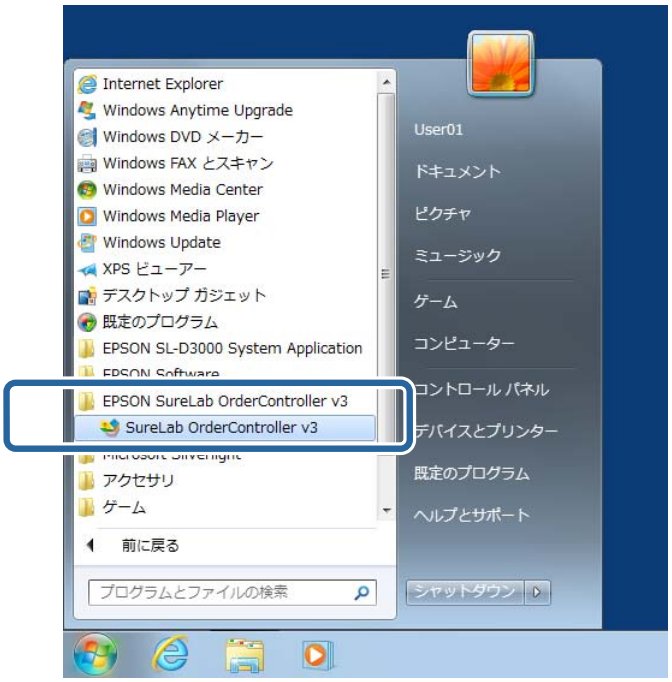
1 **操作 PC を起動します。**

2 **SureLab OrderController を起動します。**

起動方法は 2 通りあります。

- デスクトップ上の［SureLab OrderController v3］アイコンをダブルクリックします。

- ［スタート］-［すべてのプログラム］-［EPSON SureLab OrderController v3］-［SureLab OrderController v3］の順にクリックします。



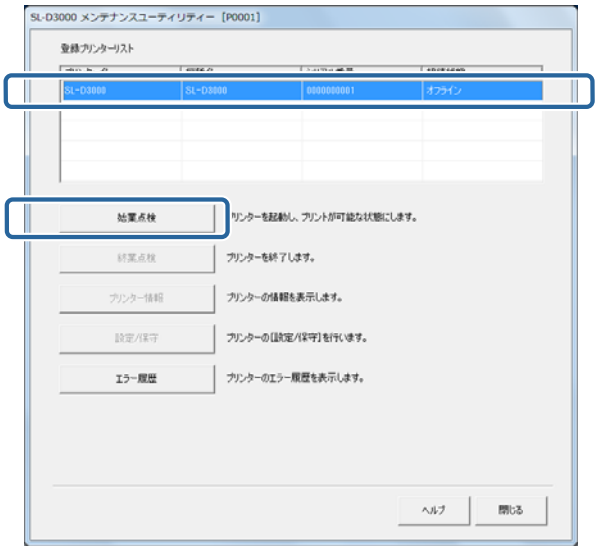
SureLab OrderController のメイン画面が表示されます。

3 プリンターを開始します。

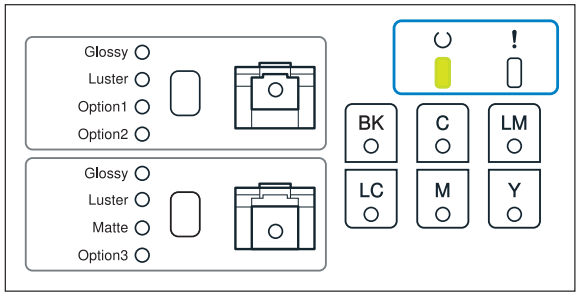
SL-D3000 以外の場合は、プリンターの電源が ON になっていることを確認してください。
SL-D3000 の場合は、プリンターを始業点検します。
始業点検画面を表示する方法は、2 通りあります。

- SureLab OrderController を使用する場合
  ［プリンター制御］-［始業点検］からプリンター名をクリックします。以降は、画面の指示に従ってプリンターを点検します。

- SL-D3000 メンテナンスユーティリティーを使用する場合
  登録プリンターリストで使用するプリンターを選択し、［始業点検］をクリックします。以降は、画面の指示に従ってプリンターを点検します。



始業点検後、操作パネルの ◯ ランプが点灯に変わったことを確認します。



> **参考**
> 始業点検の詳細は、以下を参照してください。
> ☞ 「SL-D3000 操作ガイド」

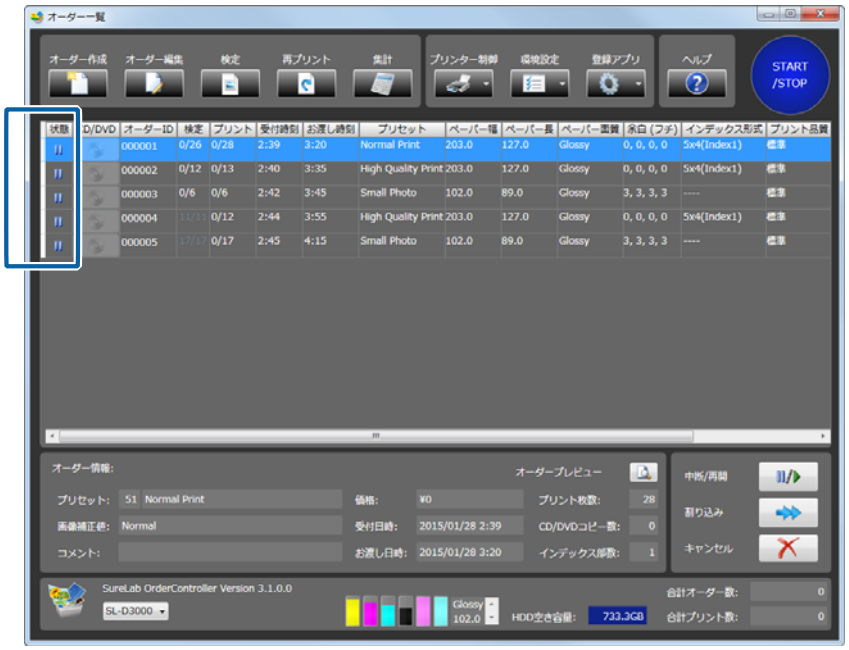
以上で終了です。

終了

SureLab OrderController を終了します。

1 プリントが終了していることを確認します。

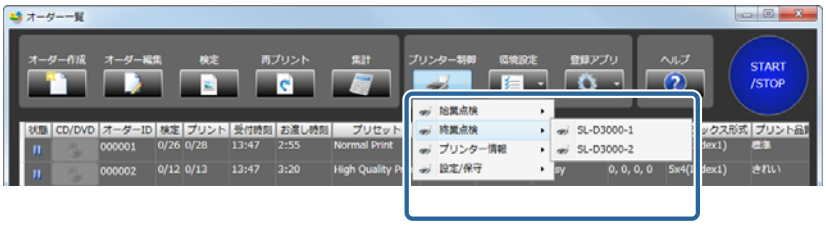
SureLab OrderController のオーダー一覧に、プリント中オーダー（状態アイコン： ）がないことを確認します。



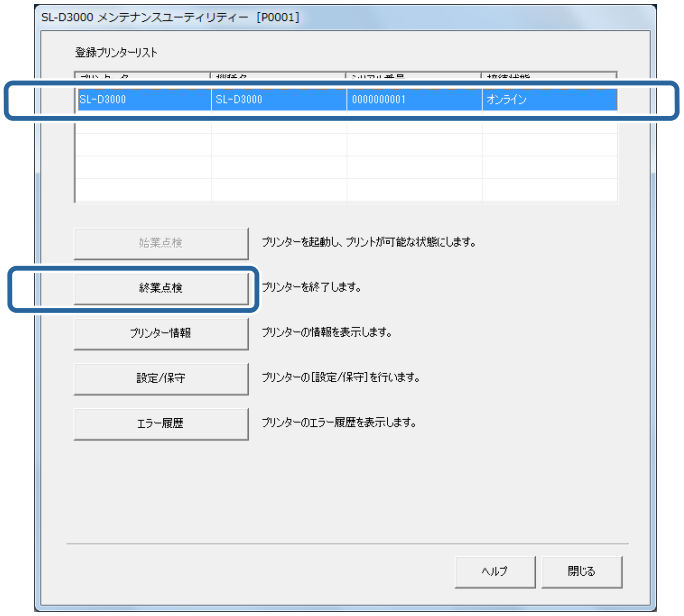
2 プリンターを点検します。

SL-D3000 以外の場合は、エラーが発生していないかなどを確認します。
SL-D3000 の場合は、プリンターを終業点検します。
終業点検画面を表示する方法は、2 通りあります。

- SureLab OrderController を使用する場合
  ［プリンター制御］-［終業点検］からプリンター名をクリックします。以降は、画面の指示に従ってプリンターを点検します。



- SL-D3000 メンテナンスユーティリティーを使用する場合
  登録プリンターリストで使用するプリンターを選択し、［終業点検］をクリックします。以降は、画面の指示に従ってプリンターを点検します。



> **参考**
> プリンター終了方法の詳細は、以下を参照してください。
> ☞ 「SL-D3000 操作ガイド」

3 SureLab OrderController の （閉じる）をクリックします。

SureLab OrderController が終了します。

4 操作 PC を終了します。

以上で終了です。

作業前の確認

基本的な機能

1 ［オーダー一覧］画面

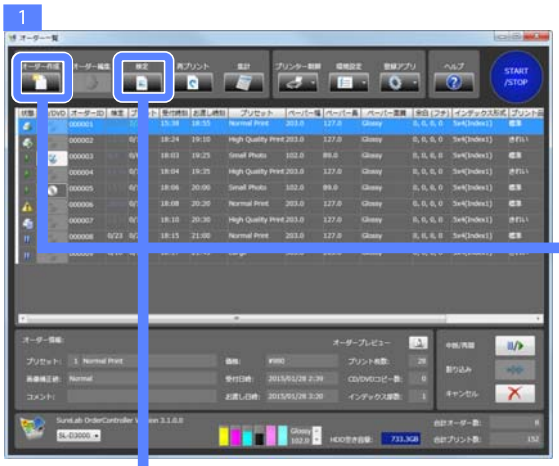
登録されているオーダーが一覧で表示され、オーダーの状態や設定された内容を確認できます。

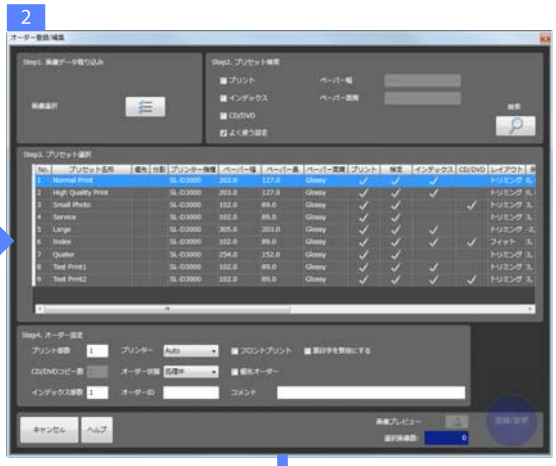
☞ 「オーダー一覧画面」143 ページ

2 ［オーダー登録/編集］画面

新たにオーダーを登録します。

☞ 「オーダー登録/編集画面」147 ページ





3 ［画像検定］画面

プリントする画像を表示し、画像ごとに色、濃度などを確認/補正します。

☞ 「画像検定画面」153 ページ

［オーダー一覧］画面上部のボタンをクリックすることでオーダーの作成/変更やプリントを制御します。各ボタンをクリックすると、それぞれの画面が表示され設定を変更できます。

ボタン	表示される画面	内容
オーダー作成	オーダー登録/編集	オーダーを作成、編集します。 画像の選択やプリント条件を設定します。 ☞ 「オーダーの作成」17 ページ ☞ 「オーダーの編集」24 ページ 画像を選択するときは、［画像登録］画面を開いて選択します。
オーダー編集		
検定	画像検定	プリント前に画像を確認し、色や濃度を補正できます。 ☞ 「検定」28 ページ 詳細な補正ができる［画像補正］画面を開き、トリミング枠やカラー処理を設定できます。 ☞ 「画像データの補正」32 ページ
再プリント	プリント済みオーダー	プリント済みオーダー一覧を表示し、再プリントするオーダーを選択します。 ☞ 「再プリント」58 ページ
集計	集計	プリント条件や枚数、売り上げなどを集計します。 ☞ 「集計」66 ページ
プリンター制御	始業点検 終業点検 プリンター情報 設定/保守	SL-D3000 の場合：メンテナンスユーティリティーの各機能（［始業点検］/［終業点検］/［プリンター情報］/［設定/保守］）を起動します。 SL-D3000 以外の場合：［プリンター情報］または［設定/保守］をクリックするとプリンタードライバーが表示されます。
環境設定	基本設定 プリセット編集 画像補正値編集 裏印字編集	オーダー状態や検定の初期値、プリント条件を設定したプリセット、画像補正値など、SureLab OrderController の動作環境を設定します。 ☞ 「環境設定」81 ページ
登録アプリ	各アプリケーション	登録されている別アプリケーションを起動します。 アプリケーションは、［環境設定］で登録します。 ☞ 「外部アプリケーション」106 ページ

事前準備

オーダーを作成する前に、オーダーに使用するプリセットと画像補正を［環境設定］で作成してください。

設定項目	概要	設定画面	参照先
プリセット編集	プリントや検定の有無、単価計算用の価格、補正値や使用ペーパーなどのプリント条件をプリセットとして登録します。 適用したいプリセットがないときなどに、変更、追加してください。	プリセット編集	☞「プリセットの編集」114 ページ
画像補正値編集	色や濃度の補正値、シャープネス、明るさ、コントラスト、カラー処理などの初期値を画像補正値として登録します。 適用したい画像補正値がないときなどに、変更、追加してください。	画像補正値編集	☞「補正値の編集」130 ページ

使いやすい環境にするため、必要に応じて以下の項目の初期設定を［環境設定］で変更してください。

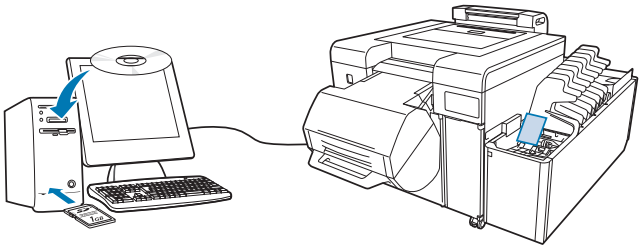
設定項目	概要	設定画面	参照先
オーダー設定	オーダー受付時の処理方法（処理するか保留にするか）やオーダー保存の条件を設定します。 オーダーの再プリント機能を利用するときは、オーダーを保存する設定にしてください。	基本設定-プリント設定	☞「プリント設定」81 ページ
カラーマネージメント	画面の表示とプリント結果を色合わせするための、入力プロファイル（sRGB/AdobeRGB）を切り換えるときに変更してください。		
CD/DVD 書き込み	CD/DVD 用データ出力先や時間算出に使用する書き込み時間を設定します。 CD/DVD 書き込み作業を含む、オーダーのお渡し時刻が適切でないときに変更してください。		
検定方法	色や濃度の補正幅や 1 画面の検定コマ数などを設定します。 検定の補正量が適切でないときや検定コマ数を増減するときに変更してください。	基本設定-アプリケーション設定	☞「アプリケーション設定」94 ページ
使用可能プリンター	選択可能プリンターを現在電源がオンになっていてプリント可能なプリンターに更新します。 新たにプリンターを追加したときなどに設定してください。		
監視フォルダー設定	店頭端末で顧客が作成したオーダーを一時的に保存するフォルダーを監視フォルダーとして登録します。 顧客オーダー登録用のフォルダーなどを変更したときは、設定し直してください。		
その他	画像選択方法（［ファイル名］/［サムネイル］/［スキャナー］/［DPOF］）や画像の並び順、ペーパーサイズの表示単位を設定します。 画像選択時の画面表示やペーパーサイズの単位を変更したいときに設定してください。		
裏印字編集	裏印字のプリント内容を登録します。プリント内容を変更したいときや任意の文字をプリントしたいときに設定してください。	裏印字編集	☞「裏印字編集」140 ページ

作業の流れ

オーダーの有無によってプリントまでの流れが異なります。それぞれの流れを確認してください。

☞ 「オーダーを作成する」15 ページ
☞ 「登録済みのオーダーを処理する」16 ページ

オーダーを作成する



メディアなどで画像データを受け付けた場合など、最初にオーダーを作成する必要があるときの流れです。

オーダー作成 ☞ 「オーダーの作成」17 ページ 	画像選択	メディアからプリントする画像を選択します。
	プリセット検索	プリントするメディアやペーパーを指定し、対応したプリセットを検索します。
	プリセット選択	プリントに適用するプリセットを選択します。
	オーダー設定	プリント部数や使用するプリンターなどを設定します。
	登録	オーダーを登録します。

⇩

検定が必要な画像があるときは、［検定］画面が自動的に開きます。

検定 ☞ 「検定と画像データの補正」28 ページ 	画像確認	画像とプリント枠を確認します。 他のオーダーで検定が未処理の画像があるときは、未処理の画像が順に表示されます。
	色の確認、補正	色調を確認し、必要に応じて補正します。
	画像補正	必要に応じて［画像補正］画面を開き、トリミング枠やカラー処理を設定します。

⇩

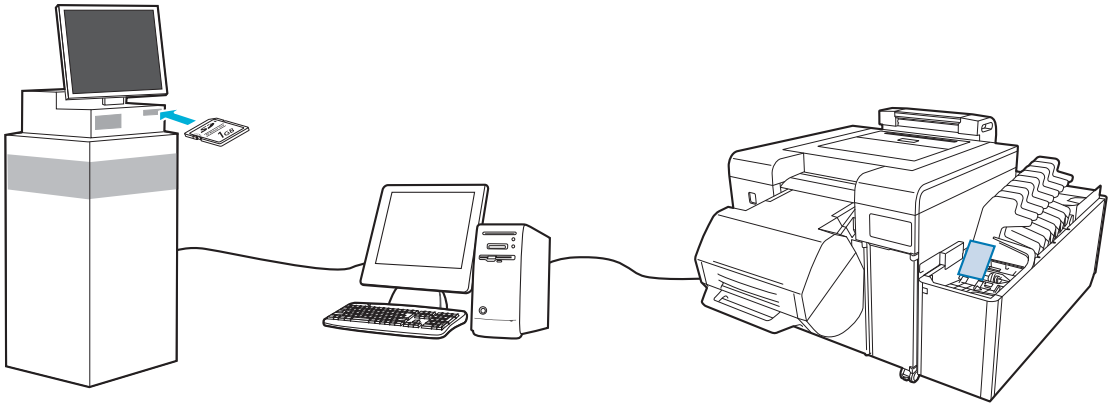
プリント	オーダー一覧の並び順でプリントされます。

参考

オーダーは、CD/DVD に書き込めます。また、プリント処理済みのオーダーを再プリントすることもできます。

☞ 「CD/DVD への書き込み」49 ページ
☞ 「再プリント」58 ページ

登録済みのオーダーを処理する



店頭端末などで顧客が登録したオーダーや注文変更など、確認、編集して処理する必要があるときの流れです。

オーダー編集 ☞ 「オーダーの編集」24 ページ 	画像選択	必要に応じて画像を削除します。
	プリセット検索	プリントするメディアやペーパーを指定し、対応したプリセットを検索します。
	プリセット選択	必要に応じてプリントに適用するプリセットを選択します。
	オーダー設定	必要に応じて使用するプリンターやプリント部数を変更します。
	登録	オーダーを登録します。

⇩

検定が必要な画像があるときは、［検定］画面が自動的に開きます。

検定 ☞ 「検定と画像データの補正」28 ページ 	画像確認	検定が未処理の画像について、画像とプリント枠を確認します。 他のオーダーで検定が未処理の画像があるときは、未処理の画像が順に表示されます。
	色の確認、補正	色調を確認し、必要に応じて補正します。
	画像補正	必要に応じて［画像補正］画面を開き、トリミング枠やカラー処理を設定します。

⇩

プリント	オーダー一覧の並び順でプリントされます。

参考

オーダーは、CD/DVD に書き込めます。また、プリント処理済みのオーダーを再プリントすることもできます。

☞ 「CD/DVD への書き込み」49 ページ
☞ 「再プリント」58 ページ

基本操作

オーダーの作成

オーダー作成の手順を説明します。
ここでは、画像データ（JPEG/TIFF/BMP）の入ったフォルダーを指定してオーダーを作成する操作を説明します。

> **参考**
> スキャナーで読み込む操作や DPOF データで選択する操作については、それぞれ、以下の項目を参照してください。
> ☞「スキャナーで読み込む」44 ページ
> ☞「DPOF データを読み込む」47 ページ

1 **操作 PC にメディア（メモリーカードなど）をセットします。**

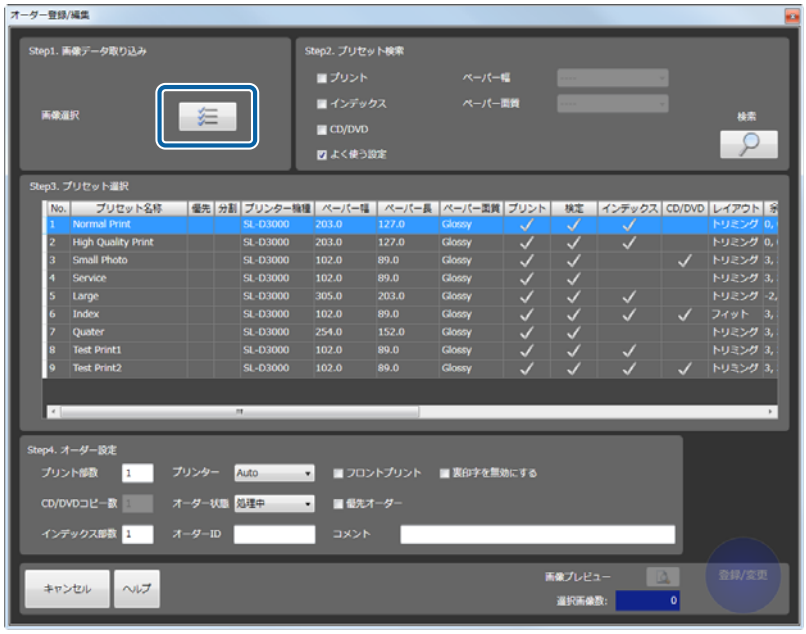
2 **［オーダー一覧］画面の［オーダー作成］をクリックします。**

［オーダー登録/編集］画面が表示されます。

3 **［画像選択］で［ファイル名］をクリックします。**

画像選択は、以下の 4 つの方法があります。ここでは［ファイル名］で選択する操作で説明します。

：ファイル名、 ：サムネイル、 ：スキャナー、 ：DPOF

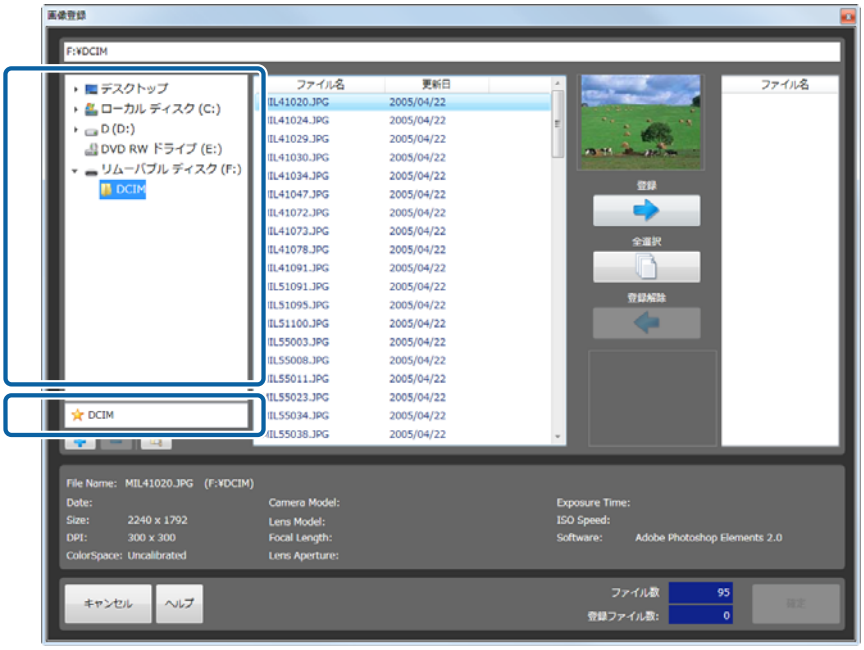


［画像登録］画面が表示されます。

参考

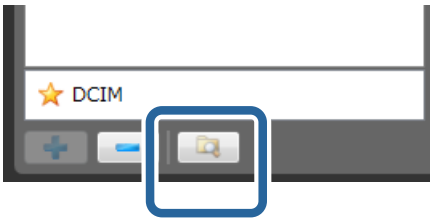
- 画像の選択方法（［ファイル名］/［サムネイル］/［スキャナー］/［DPOF］）は、［環境設定］で有効に設定されている機能が使用できます。メディアから画像を選択するときは、［ファイル名］/［サムネイル］を利用してください。初期設定では［ファイル名］でのみ選択できます。
  ☞「その他」100 ページ
- 画像を［サムネイル］で選択する操作やスキャナで読み込む操作、DPOF データで選択する操作については、それぞれ、以下の項目を参照してください。
  ☞「サムネイルで画像を選択する」41 ページ
  ☞「スキャナーで読み込む」44 ページ
  ☞「DPOF データを読み込む」47 ページ

4 フォルダーの一覧またはクイックアクセス一覧でメディア内のフォルダーを選択して画像ファイルを表示させます。

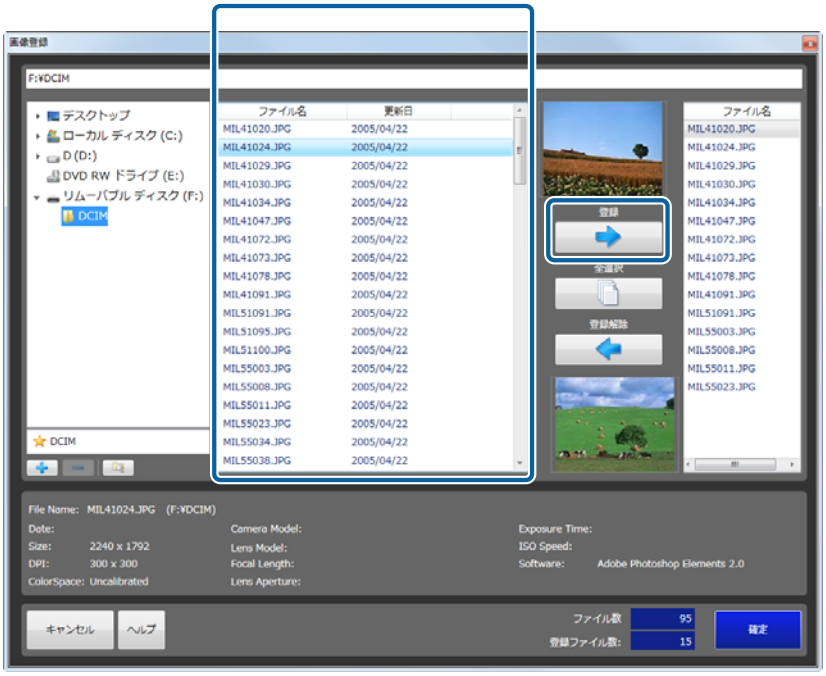


参考

- クイックアクセスの一覧は ＋ / － で追加/削除できます。
- ［階層表示］をクリックすると、選択されたフォルダーの画像を、サブフォルダーも含めすべて表示します。



5 目的の画像を選択し、［登録］をクリックして右側のバスケットエリアに追加します。

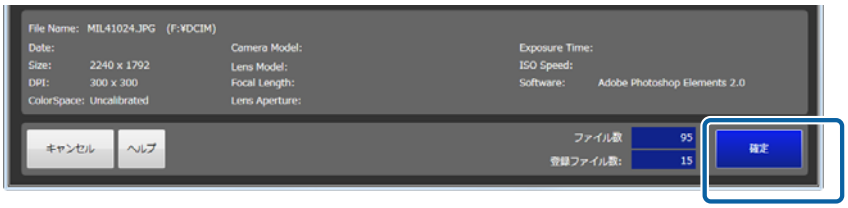


プリントするすべての画像をバスケットエリアに追加します。

> **参考**
> - 全画像をプリントするときは、［全選択］をクリックします。
> - 選択した画像をバスケットエリアから削除するときは、画像を選択し、［登録解除］をクリックします。

6 ［確定］をクリックします。

画像が選択され、［オーダー登録/編集］画面に戻ります。



> **参考**
> 画像の選択は、［ファイル名］/［サムネイル］/［スキャナー］/［DPOF］を組み合わせて選択することができます。例えば、［ファイル名］で選択した後に［サムネイル］で追加選択したり、［スキャナー］や［DPOF］で追加選択したりできます。

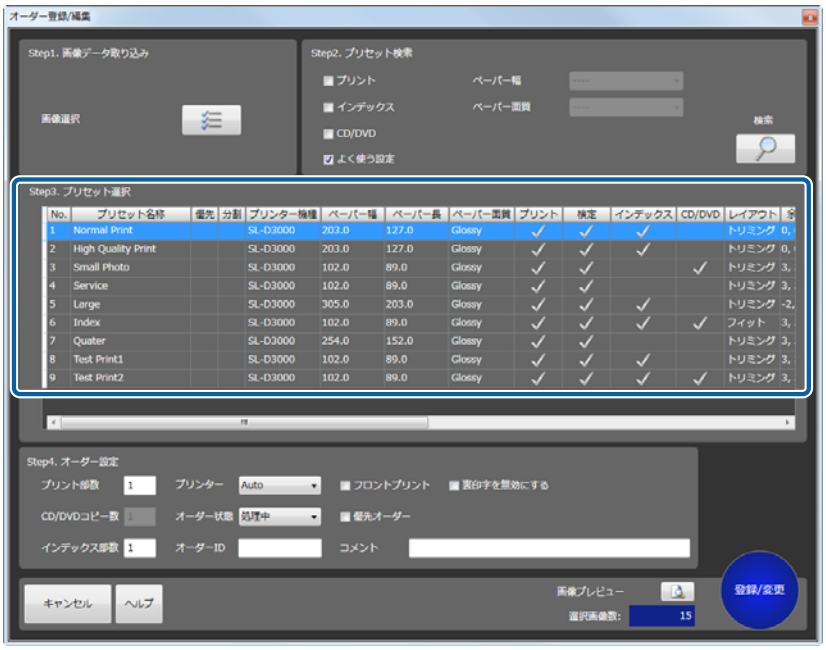
7 オーダーに最適なプリセットを検索します。

検索条件を設定して、［検索］をクリックします。

項目	機能
プリント	チェックを付けると、写真プリントするためのプリセットが検索されます。
インデックス	チェックを付けると、インデックスプリントするためのプリセットが検索されます。
CD/DVD	チェックを付けると、オーダーを CD/DVD に書き込む設定のプリセットが検索されます。
よく使う設定	チェックを付けると、よく使う設定として登録されているプリセットが検索されます。
ペーパー幅	チェックを付けると、選択したペーパー幅に適したプリセットが検索されます。
ペーパー面質	チェックを付けると、選択したペーパー面質に適したプリセットが検索されます。

8 一覧から目的のプリセットを選択します。

プリンター機種やペーパー条件のほか、検定の有無、適用する画像補正値、裏印字の内容などを確認してから、プリセットを選択します。



9 プリントする部数（またはコピー数）を入力します。

部数は 999 枚まで指定できます。

10 プリンターを選択します。

プリント準備が完了しているプリンターを選択してください。

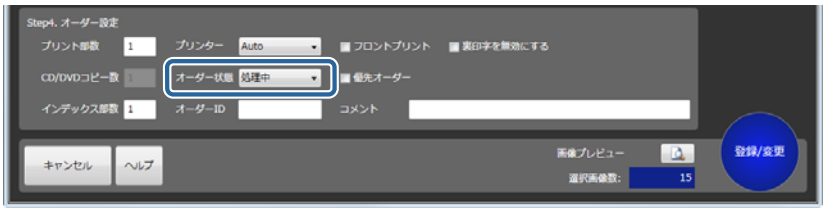
［Auto］を選択すると、プリント時に使用可能なプリンターが自動的に選択されます。［ファイルへ出力］を選択すると、プリントはされずに印刷データが指定したフォルダーに JPEG データで保存されます。保存フォルダーの指定は、［環境設定］画面の［プリント設定］で行います。

☞ 「画像ファイル出力」90 ページ

> **参考**
>
> プリセットと異なるペーパーにプリントしたいときは、プリンターを指定してください。［Auto］の設定ではプリセットで指定されたペーパーに交換するまでプリントしません。

11 オーダー状態を選択します。

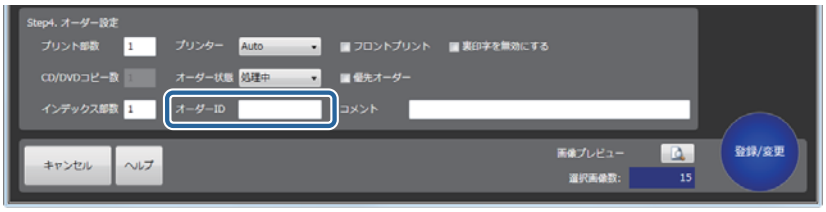
そのまま検定やプリント処理に進む場合は［処理中］を、保留オーダーにして後で確認する場合は［保留］に設定します。



12 必要に応じて［オーダー ID］にオーダーの名称を変更します。

英数字 12 文字以内で変更できます。

オーダー ID を入力しないときは、6 桁の連番が自動的に付番されます。



13 コメントを入力します。

必要に応じて覚え書きなどのコメントを入力します。256 文字まで入力できます。

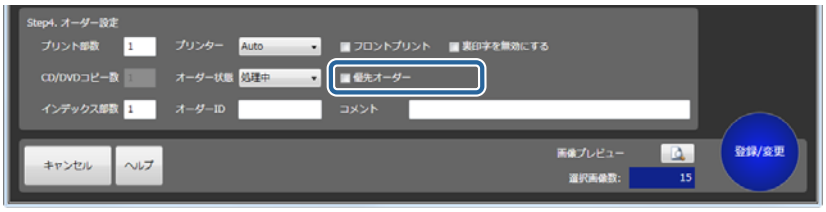
14 フロントプリントをするかどうかを設定します。

画像上に日付をプリントするときは、チェックを付けます。

> **参考**
>
> フロントプリントする日付の形式は、環境設定で変更できます。
>
> ☞ 「フロントプリント」84 ページ

15 優先オーダーにするかどうかを設定します。

現在プリント中のオーダーの次にプリントされるオーダーとして登録するときはチェックを付けます。
優先オーダーにしないと、登録された順番で処理されます。



16 裏印字の設定を無効にするかどうかを設定します。

プリセットで設定されている裏印字の設定を無効にしたいときはチェックを付けます。

17 画像を確認するときは、［画像プレビュー］をクリックします。

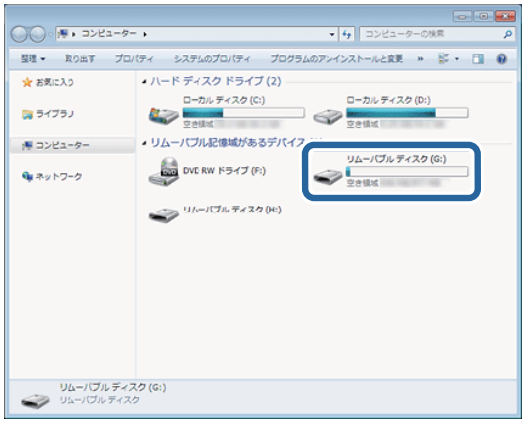
［画像プレビュー］終了後は、 （閉じる）ボタンをクリックしてプレビューを終了します。

18 ［登録/変更］をクリックします。

設定したオーダーが登録されます。

19 操作 PC からメディア（メモリーカードなど）を取り外します。

コンピューターウィンドウのリムーバブルディスクを右クリックし、［取り出し］をクリックします。安全に取り外せる状態になってからメディア（メモリーカードなど）を抜きます。



> **参考**
>
> ［環境設定］で［登録後にメディアを取り出し可能にする］にチェックが付いているときは、［取り出し］操作をせずに抜くことができます。
>
> ☞ 「オーダー設定」81 ページ

以上で終了です。
検定不要の ▶ （処理オーダー）はオーダー順にプリントされます。
検定が必要なオーダーは、［画像検定］画面が表示され、画像の検定に進みます。
☞ 「検定と画像データの補正」28 ページ

オーダーの編集

登録済みのオーダーを変更する手順を説明します。

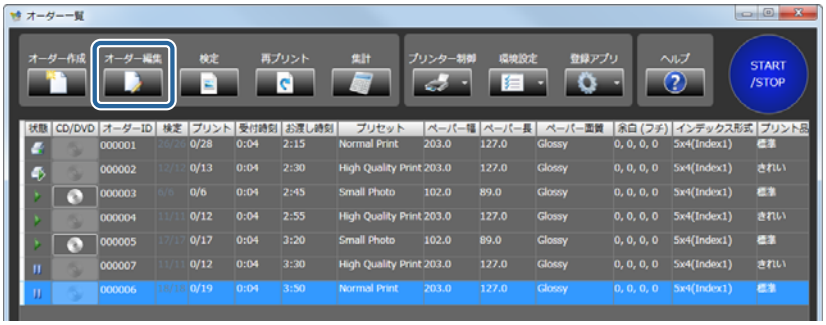
> 参考
> プリント中のオーダーは編集できません。プリント中でないことを確認してください。

1 ［オーダー一覧］画面で編集するオーダーを選択します。

2 ［状態］を （保留オーダー）にします。

（処理オーダー）になっているときは、クリックして （保留オーダー）にします。

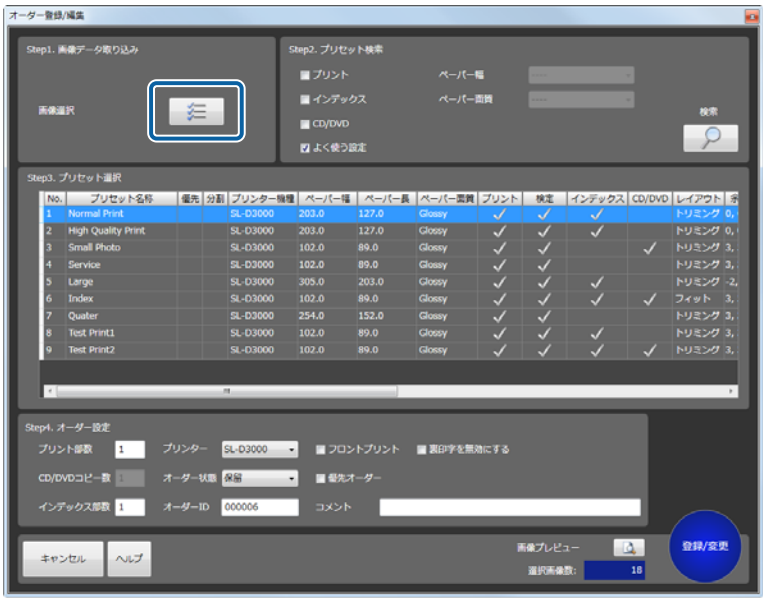
3 ［オーダー編集］をクリックします。



［オーダー登録/編集］画面が表示されます。

4 ［ファイル名］をクリックします。

［ファイル名］は画像をファイル名で選択します。



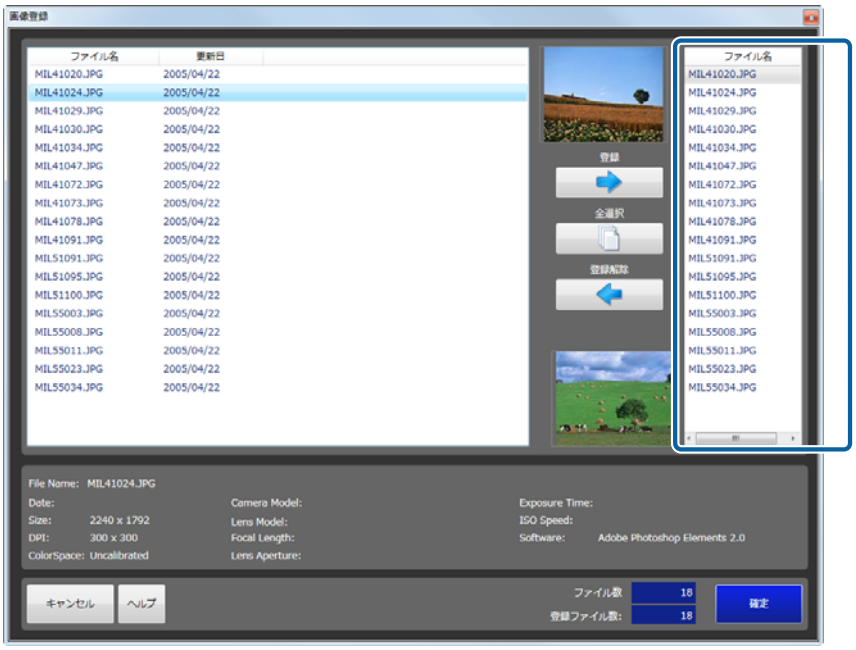
［画像登録］画面が表示されます。

参考

- 画像の選択方法は［環境設定］の設定により異なり、［ファイル名］/［サムネイル］のうち、有効に設定されている機能が利用可能です。初期設定は［ファイル名］で選択できる状態になっています。
  ☞「その他」100 ページ
- 画像を［サムネイル］で選択するについては、以下の項目を参照してください。
  ☞「サムネイルで画像を選択する」41 ページ
- ［環境設定］で［スキャナー］/［DPOF］を有効にしている場合でも、オーダーの編集ではこれら機能は使用できません。

5 バスケットエリアの画像を確認します。

画像を削除するときは、バスケットエリアの画像を選択し、［登録解除］をクリックします。



参考

- オーダー編集では画像を追加できません。画像を追加するときは、オーダーを作成し直してください。
  ☞ 「オーダーの作成」17 ページ
- 画像の表示状態は［環境設定］の設定により異なり、サムネイルまたはファイル名で表示されます。
  ☞ 「プリント設定」81 ページ

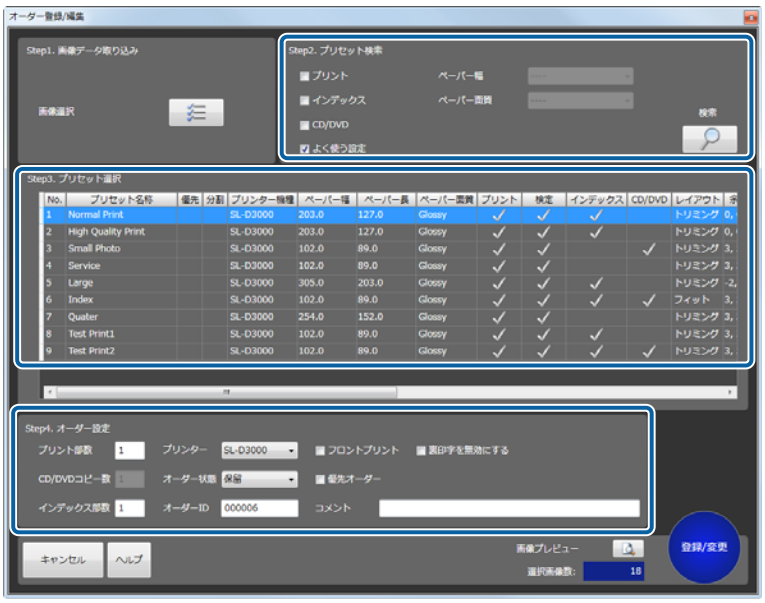
6 ［確定］をクリックします。

画像が選択され、［オーダー登録/編集］画面に戻ります。

7 必要な項目を変更します。

- プリセット（Step2/Step3）：オーダーの作成操作の手順 7〜8
- オーダー設定（Step4）：オーダーの作成操作の手順 9〜17

☞ 「オーダーの作成」17 ページ

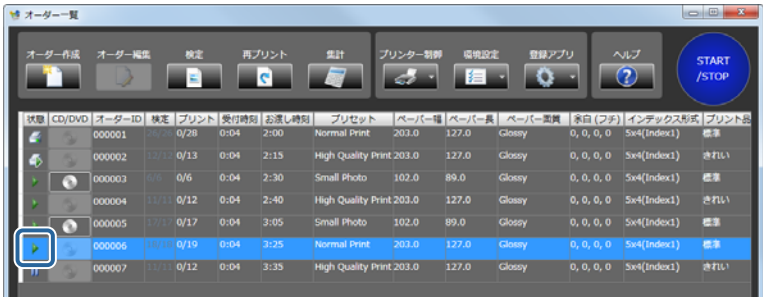


8 ［登録/変更］をクリックします。

［オーダー一覧］画面に戻ります。設定したオーダーが登録されています。

9 変更したオーダーの状態を ▶ （処理オーダー）にします。

⏸ （保留オーダー）になっているときはクリックして ▶ （処理オーダー）にします。



以上で終了です。
検定不要の ▶ （処理オーダー）はオーダー順にプリントされます。
検定が必要なオーダーは、［画像検定］画面が表示され、画像の検定に進みます。

☞ 「検定と画像データの補正」28 ページ

検定と画像データの補正

検定

登録したオーダーの画像を確認し、必要に応じて補正します。
オーダー登録後、検定が必要な画像があるときは、［画像検定］画面が自動的に表示されます。

> **参考**
> 他のオーダーで検定が未処理の画像があるときは、未処理の画像がオーダー順に表示されます。直前に作成/編集したオーダーの検定画像もオーダー順で表示されます。

1 ［画像検定］画面が開いていることを確認します。

［画像検定］画面は、オーダー登録後に自動的に表示されます。

開いていないときは、［オーダー一覧］画面で［検定］をクリックします。

検定が必要な画像が順に表示されます。

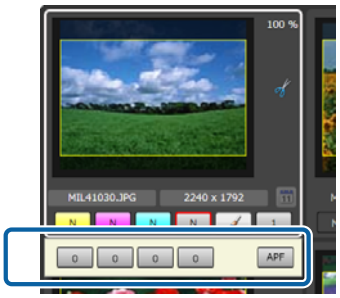
> **参考**
> - 検定が終わっていないオーダーの［画像検定］画面が後ろになっているときは［オーダー一覧］画面で［検定］をクリックすると、前面に再表示されます。
> - 検定では未処理の画像がオーダー順に表示されます。選択したオーダーと違う内容の［画像検定］画面が表示されたときは、以下のいずれかの方法で処理をしてください。
> - 順番に検定をすませる。
> - ［閉じる］を押して一覧にもどり、優先したいオーダーを［割り込み］にする。

2 画像を選択し、色合いやトリミング枠を確認します。

画面下部に選択した画像の［画像補正情報］と［オーダー情報］が表示されます。
画面右下に「検定済みの検定画面数/全検定画面数」の数値が表示されます。

参考

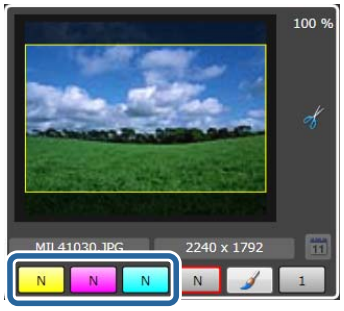
- 画面に表示されるコマ数を［環境設定］で設定できます。
  ☞ 「検定方法」94 ページ
- 画像の右横に「APF」と表示されるコマは、［補正詳細］で［自動補正］（Epson AutoPhotoFine）が設定されていることを示します。
  ☞ 「画像データの補正」32 ページ
- 画像右側に表示されるアイコンは以下のような意味を示しています。
  :解像度が低いため指定されているプリントサイズに適しません。
  :画像に余白があります。
  :画像が切り取られている部分があります。
  :赤目が自動検出されました。
  :赤目補正が設定されています。
  :［ペーパー長を自動で設定する］が設定されています。矢印の方向はペーパーの送りの方向を示しています。
- ［環境設定］で［検定画面でサムネイル画像を使用する］に設定しているときは、画像ファイルによっては自動補正の効果が検定画面上で反映されません。初期設定では［検定画面でサムネイル画像を使用する］が選択されています。
- 検定画面でオリジナル画像を使用する設定に変更できます。
  ☞ 「検定方法」94 ページ
- ［環境設定］で［トリミング領域の暗転］に設定しているときはトリミング枠の外側を暗く表示します。
  ☞ 「検定方法」94 ページ
- 画像選択して右クリックすると、［補正詳細］をクリックせずに［シャープネス］、［明るさ］、［コントラスト］、［彩度］、［自動補正］（APF）の補正ができます。
  数値のボタンは、［シャープネス］、［明るさ］、［コントラスト］、［彩度］、の順です。左クリックで数値が増え、右クリックで数値が減ります。
  ☞ 「画像データの補正」32 ページ



3 それぞれの色のボタンをクリックして色合いを補正します。

色のボタンは、Y（イエロー）/M（マゼンダ）/C（シアン）の順です。

補正量は、+50〜-50 の範囲で設定できます。補正量が 0 のときは、N と表示されます。左クリックで数値が増え、右クリックで数値が減ります。

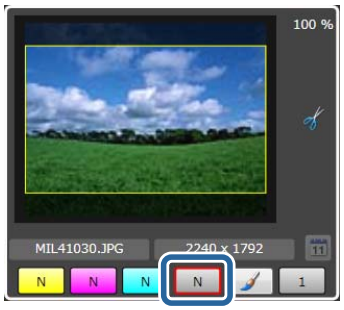


参考

- 補正値の変化量（[より小さい]（微量）/［小さい］（少なめ）/［標準］（ふつう）/［大きい］（はっきり））は、［環境設定］で設定できます。
  ☞「プリント設定」81 ページ
- 詳細に補正したいときは、［補正詳細］をクリックして［画像補正］画面を表示してください。
  ☞「画像データの補正」32 ページ

4 濃度ボタンをクリックして濃度を補正します。

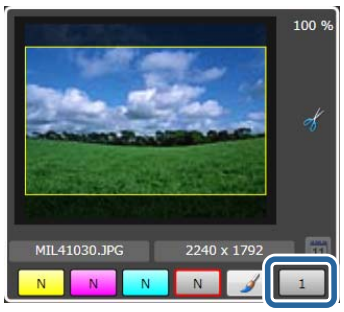
補正量は、+70〜-70 の範囲で設定できます。補正量が 0 のときは、N と表示されます。左クリックで数値が増え、右クリックで数値が減ります。



5 プリント部数を設定します。

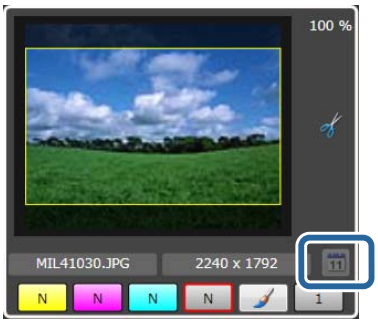
0〜999 で設定できます。左クリックで数値が増え、右クリックで数値が減ります。

キーボード上のキーでも数値変更できます。数字キーで数字入力、BackSpace キーで入力数字を 1 桁削除、DEL キーで 0 枚にします。



6 フロントプリントを設定します。

クリックすることでプリントする/しないを切り換えます。



> **参考**
>
> フロントプリントでプリントされる日付の形式は、［環境設定］で設定できます。
>
> ☞ 「フロントプリント」84 ページ

7 ［確定］をクリックします。

最初の検定画面にある画像の検定を終了し、次の検定画面を表示します。

> **参考**
>
> - 手順 3 から 6 の設定を他の画像に適用したいときは、適用項目と適用範囲を以下から選び［コピー］をクリックします。
> 適用項目：［部数のみ］、［部数＋補正情報］、［補正情報のみ］
> 適用範囲：［ページ内に適用］、［残りのページに適用］
> さらに［次のページに適用］で検定結果を次の検定ページにも適用します。［残りのページに適用］で検定結果を残りの検定ページにも適用します。
> - ［画像検定］画面で［確定］をクリックすると、確定した画像がプリントされます。一度確定した画像は［画像検定］画面に戻って検定し直すことはできません。

8 同様に検定します。

手順 2～7 の操作を繰り返し、全コマを検定します。

全コマの検定を終了すると［画像検定］画面を終了し、［オーダー一覧］画面に戻ります。

以上で終了です。
検定終了後、 ▶ （処理オーダー）はオーダー順にプリントされます。

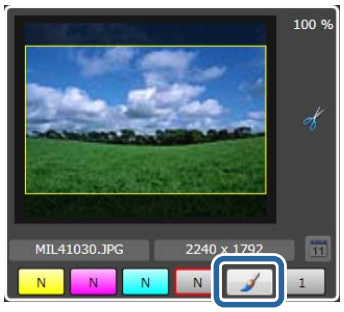
画像データの補正

画像の位置や Epson AutoPhotoFine による自動補正処理など、詳細に補正します。
元画像と補正後の画像を比較しながら調整できます。
［画像補正］画面には［比較形式］と［拡大形式］があります。［アプリケーション設定］-［画像補正画面］で設定できます。

☞ 「検定方法」94 ページ

ここでは［比較形式］の画面を使用して説明します。
［拡大形式］には［赤目補正］機能はありません。その他は同様の機能です。

1 ［画像検定］画面で［補正詳細］をクリックします。



［画像補正］画面が表示されます。

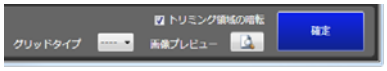
2 画像の位置やサイズを調整します。

（トリミング）はプリント領域に余白ができないように画像を配置します。（フィット）はプリント領域に画像全てが納まるように画像を配置します。（原寸維持）は画像が持っている印刷サイズ情報に合わせて表示します。

で画像を 90 度ごとに回転します。中央のボタンで設定をリセットできます。
で画像を 1 度ごとに回転します。
で画像の位置を調整します。中央のボタンで設定をリセットできます。
で画像のサイズを拡大/縮小します。中央のボタンで設定をリセットできます。

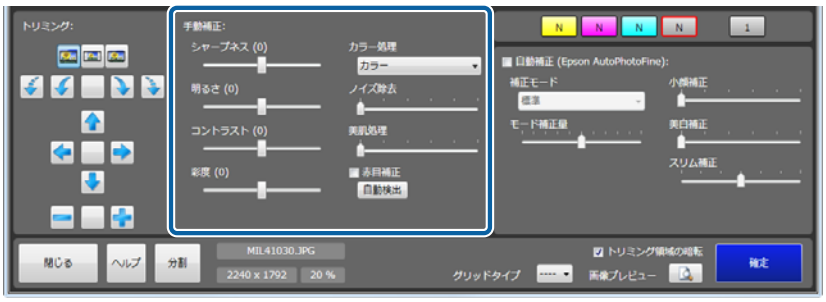
参考

- トリミング枠の外側は［トリミング領域の暗転］で暗く表示する/しないを切り替えられます。
- ［グリッドタイプ］で、補正後の画像上に［等間隔］や［三分割構図］、［黄金比分割構図］のガイドを表示させて構図を確認できます。



3 手動補正の各項目を補正します。

右側の補正後の画像を確認しながら補正します。



項目	機能
シャープネス	輪郭を強調する効果をかけます。-20～+20 で調整し、マイナスの数値にするとソフトに、プラスの数値にするとシャープになります。
明るさ	明るさを補正します。-20～+20 で調整し、マイナスの数値にすると暗く、プラスの数値にすると明るくなります。
コントラスト	明暗の差を補正します。-20～+20 で調整し、マイナスの数値にすると明暗の差を少なく、プラスの数値にすると明暗の差が大きい、はっきりした画像になります。
彩度	色の鮮やかさを補正します。-20～+20 で調整し、マイナスの数値にすると色味がなくなり、プラスの数値にすると色味が強くなります。
カラー処理	色処理を［カラー］/［モノクロ］/［セピア 1］/［セピア 2］/［モノクロ（冷黒調）］/［モノクロ（温黒調）］から選択します。
ノイズ除去	カラーノイズの軽減効果をかけます。0～5 で調整し、数値が大きいほど効果が強くなります。
美肌処理	美肌効果をかけます。0～5 で調整し、数値が大きいほど効果が強くなります。
赤目補正	赤目補正を有効にするときはチェックを付けて元画像の補正したい箇所をクリックします。 ［自動検出］をクリックすると、赤目部分を自動的に検出し、赤目補正します。

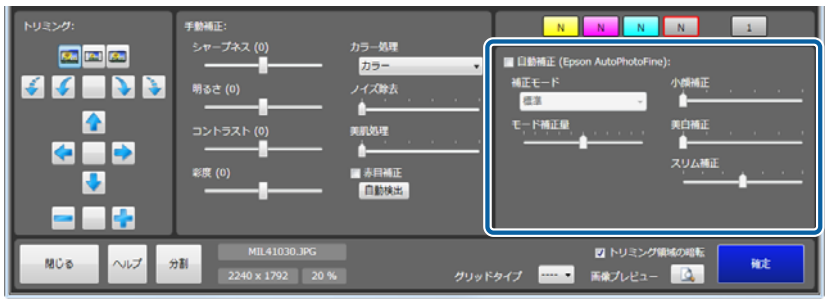
参考

赤目部分の自動検出は、［環境設定］でも設定できます。

☞ 「検定方法」94 ページ

4 自動補正の各項目を補正します。

右側の補正後の画像を確認しながら調整します。



項目	機能
自動補正（Epson AutoPhotoFine）	Epson AutoPhotoFine（APF）機能を使用して、最適な色合いになるように自動的に補正します。 自動補正に設定すると、［画像検定］画面の画像に「APF」と表示されます。
補正モード	Epson AutoPhotoFine（APF）の補正方法を被写体や撮影モードに合わせて選択します。 標準：被写体を自動判別して、好ましい色合いに補正します。 人物：人物を自動判別して、好ましい肌色に補正します。 風景：コントラスト・彩度を高めに補正するとともに、空・緑を好ましい色合いに補正します。 夕景：赤味を強めに補正するとともに、ノイズを軽減します。 夜景：写真全体を暗めに補正するとともに、ノイズを軽減します。 花：コントラストを低めに、彩度を高めに補正します。 マクロ：コントラストを高めに補正するとともに、輪郭を強調します。 スポーツ：コントラスト・彩度を高めに補正するとともに、輪郭を強調します。 逆光：逆光で暗くなっている被写体を明るく補正します。 紅葉：赤色を好ましい色合いに補正します。 記念撮影：輪郭を強調し、小さい被写体の細部を再現します。 銀塩写真調：銀塩写真に近い色合いに補正します。
モード補正量	補正量を変更します。-5～+5 で調整し、数値が小さいと補正量が少なく、数値が大きいと補正量が多くなります。
小顔補正	小顔効果をかけます。0～5 で調整し、数値が大きいほど小顔効果が強くなります。
美白補正	美白効果をかけます。0～5 で調整し、数値が大きいほど肌の色の白さが強くなります。
スリム補正	スリム効果をかけます。-3～+3 で調整し、数値が小さいと縦方向、数値が大きいと横方向に補正します。

参考

［自動補正（Epson AutoPhotoFine）］でプリントすると、以下のような結果になることがあります。そのときは［自動補正（Epson AutoPhotoFine）］を使用しないでください。

- 回転、拡大、縮小、トリミング、フチなし印刷などの画像加工や設定変更をすると、変更前後の色合いが変わる。
- 写真のピントが合っていない部分では、グラデーション（階調）が滑らかに出ない。

5 **画像を拡大して確認したいときは、［画像プレビュー］をクリックします。**

各補正を有効にした画像をプレビューします。
確認後は、プレビュー画面をクリックしてプレビューを終了します。

6 **［確定］をクリックします。**

［画像検定］画面に戻ります。

以上で終了です。

オーダーの状態変更

オーダーの状態確認

オーダー一覧に登録されているオーダーは、そのオーダーに設定されているプリセットに従って、［画像検定］画面の表示やプリントなどの処理が自動的に行われます。オーダー一覧に登録されているオーダーは、リストの上段から順番に処理されます。
オーダーの状態は画面上のボタン操作やプリンターの状態により、下記のように変化します。オーダーの状態はリストの左端に、オーダーごとにアイコンで表示されます。

アイコン		説明
	（処理）	処理中です。プリントや検定をできる状態です。アイコンをクリックすると保留オーダーになります。［中断/再開］ボタンでも保留オーダーに変更できます。
	（保留）	処理が保留されています。プリントや検定をできません。アイコンをクリックすると処理オーダーになります。［中断/再開］ボタンでも処理オーダーに変更できます。
	（プリント中）	プリント中です。
	（プリント中断中）	プリントを中断中です。［中断/再開］をクリックするとプリントが再開されます。
	（プリント再開待ち）	プリントの再開を待っています。他のオーダーのプリントが終了すると自動的にプリントが再開されます。
	（ユーザー確認）	プリンター状態の確認が必要な状態です。お使いのプリンターによっては表示されます。アイコンをクリックするとプリンターにセットされている用紙やインクが適切かどうかを確認する画面が表示されます。内容を確認し［はい］をクリックすると処理オーダーになります。［いいえ］をクリックすると保留オーダーになり、さらに保留オーダーのアイコンをクリックするとユーザー確認オーダーになります。
	（処理準備中）	サブオーダーにインデックスを持つオーダーは、検定終了までインデックスは生成できないため、メインオーダーの検定が終了するまでは処理準備中オーダーとなります。処理準備中オーダーではキャンセル以外の操作はできません。
	（プリンター待ち）	プリンターが停止中、またはペーパーの設定がプリンターと異なっているためプリントできません。プリンターの選択が［Auto］の場合、ペーパー設定がプリンターと異なっているとプリントできません。
	（エラー）	破損した画像データが登録された、またはプリンターにエラーが発生しています。［キャンセル］をクリックしてオーダーをプリント済にした後、SureLab OrderController を終了してください。

オーダーの中断

オーダーを中断する方法として、「プリント中オーダーの中断」「処理中オーダーの中断」「全オーダーの中断（[START/STOP]）」「オーダーの削除（キャンセル）」の 4 種類があります。

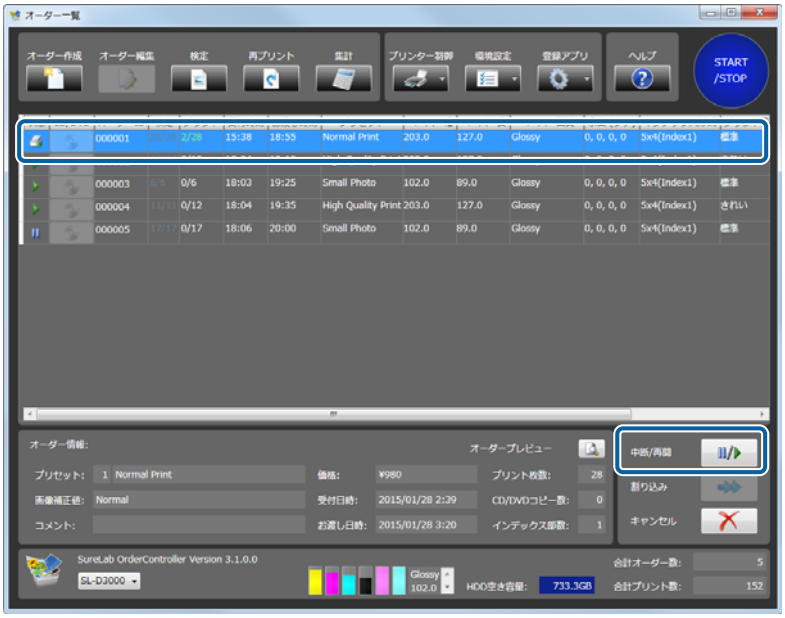
プリント中オーダーの中断

現在プリント中のオーダーだけを中断します。

> **参考**
> プリントを中断した状態で別のオーダーをプリントできます。
> 「割り込みプリント」53 ページ

1 ［オーダー一覧］画面で （プリント中オーダー）をクリックし、［中断/再開］をクリックします。

（プリント中オーダー）が （プリント中断中オーダー）になります。



2 プリントを再開するには、 （プリント中断中オーダー）をクリックし、［中断/再開］をクリックします。

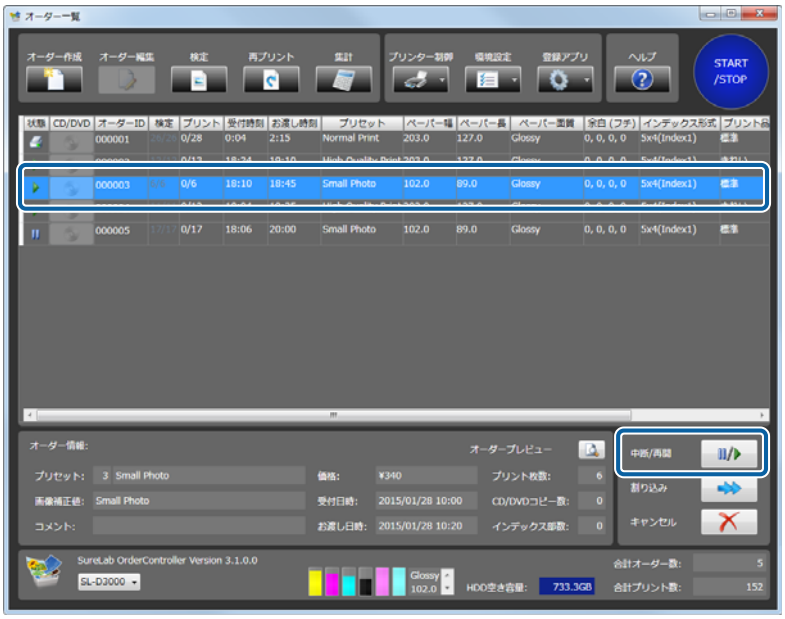
処理オーダーの中断

処理中のオーダーを保留状態にします。

> **参考**
>
> ［環境設定］-［基本設定］-［プリント設定］で、［オーダーの並び順］を［受付時刻順］にしているとき、（保留オーダー）は、プリントと検定が行われません。そのため、（保留オーダー）にプリントの順番が来ると、オーダー一覧に（処理オーダー）や（再開待ちオーダー）があってもプリントは中断したままになります。［オーダーの並び順］を［処理順］にすれば（保留オーダー）は後回しになりますので、（処理オーダー）や（再開待ちオーダー）が中断されることはありません。

1 ［オーダー一覧］画面で、目的の（処理オーダー）をクリックし、［中断/再開］をクリックします。

（処理オーダー）が（保留オーダー）になります。

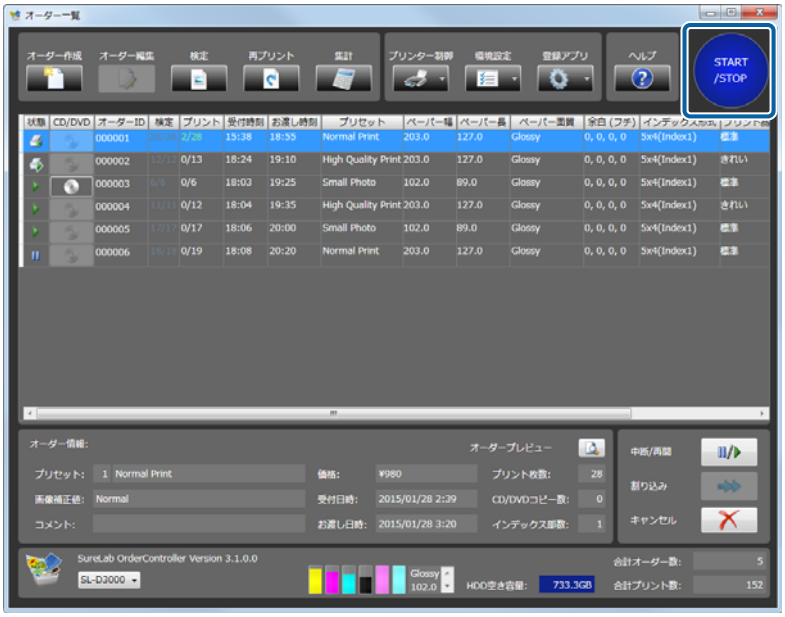


2 （処理オーダー）に戻すには、（保留オーダー）をクリックし、［中断/再開］をクリックします。

> **参考**
>
- （処理オーダー）のアイコンを直接クリックしても（保留オーダー）に変更できます。また、（保留オーダー）のアイコンを直接クリックしても（処理オーダー）に変更できます。
- （ユーザー確認オーダー）を（保留オーダー）にしたときは、（保留オーダー）のアイコンをクリックしても（処理オーダー）に変わらず、（ユーザー確認オーダー）に変更されます。

全オーダーの停止

プリント中のオーダーを含めてすべてのオーダーの処理を停止します。
［START/STOP］をクリックして停止します。再度［START/STOP］をクリックすると再開します。

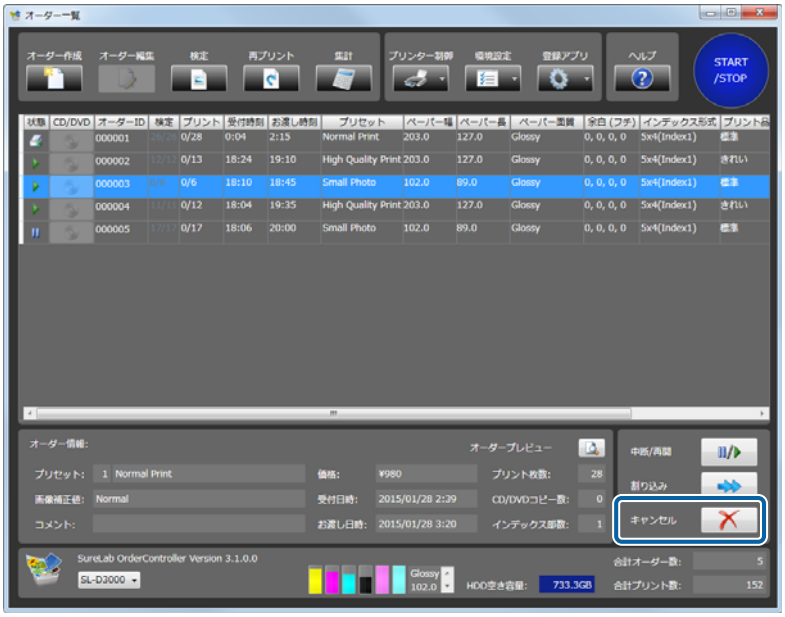


参考

- 全オーダーの停止中も、［オーダー一覧］画面上段にある［オーダー登録］と［検定］を行うことはできます。
- 停止中は［オーダー一覧］画面右下の［中断/再開］、［割り込み］、［キャンセル］を行えますが、再度［START/STOP］をクリックするまでプリントは再開されません。

オーダーの削除

オーダー一覧からオーダーを削除します。
［オーダー一覧］画面で、目的のオーダーをクリックし、［キャンセル］をクリックします。
キャンセルされたオーダーはリストから削除されます。［環境設定］で［オーダーの保存を行う］が設定されていると、プリント済みオーダーとして登録されます。
☞ 「プリント設定」81 ページ



参考
［オーダー一覧］画面の［再プリント］をクリックすると、プリント済みオーダーのリストが表示されます。

応用操作

その他の画像選択

画像の選択方法は［環境設定］の設定により異なり、［ファイル名］/［サムネイル］/［スキャナー］/［DPOF］のうち、有効に設定されている機能が利用可能です。ここでは、初期設定の［ファイル名］以外で選択する操作を説明します。

サムネイルで画像を選択する

！重要

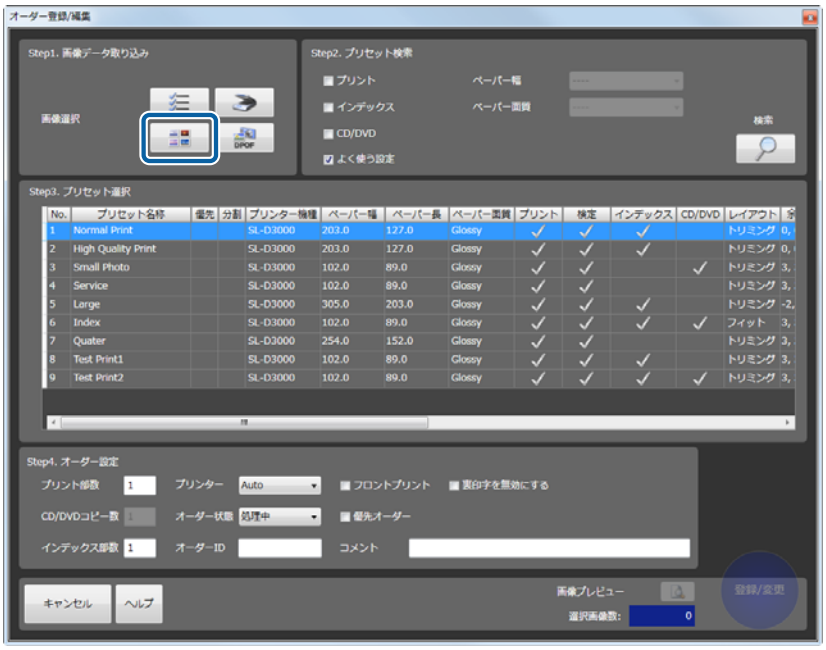
［サムネイル］を利用するときは、あらかじめ［環境設定］-［基本設定］の［アプリケーション設定］タブの［その他］で［サムネイル］を有効にしてください。

☞ 「その他」100 ページ

1 **操作 PC にメディア（メモリーカードなど）をセットし、［オーダー一覧］画面の［オーダー作成］をクリックします。**

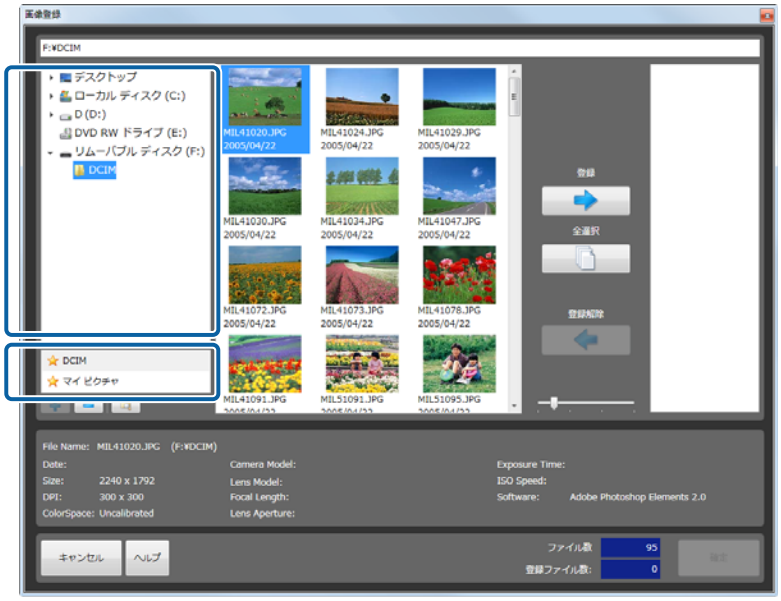
［オーダー登録/編集］画面が表示されます。

2 **［オーダー登録/編集］画面の［サムネイル］をクリックします。**



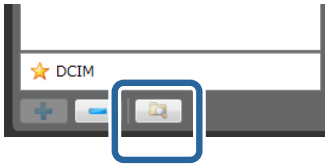
［画像登録］画面が表示されます。

3 フォルダーの一覧またはクイックアクセス一覧でメディア内のフォルダーを選択して画像ファイルを表示させます。

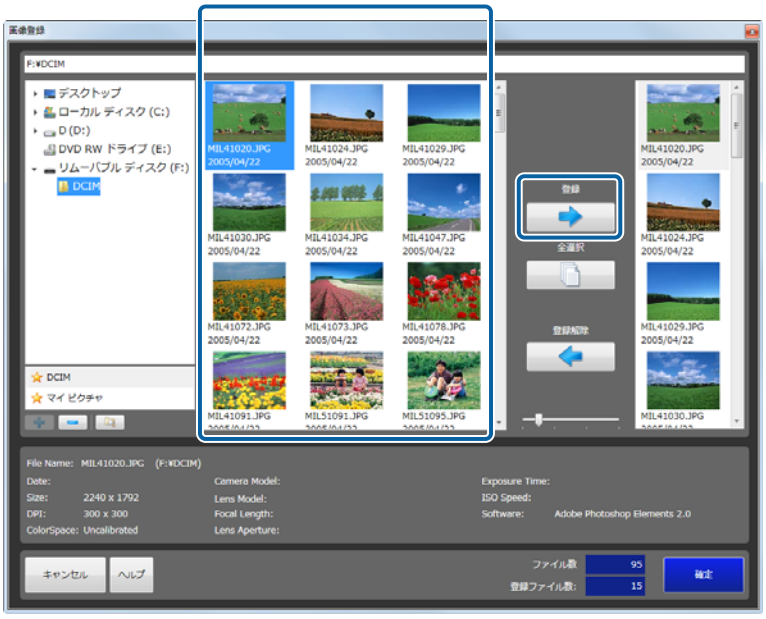


参考

- クイックアクセスの一覧は ＋ / － で追加/削除できます。
- ［階層表示］をクリックすると、選択されたフォルダーの画像を、サブフォルダーも含めすべて表示します。



4 目的の画像を選択し、［登録］をクリックして右側のバスケットエリアに追加します。



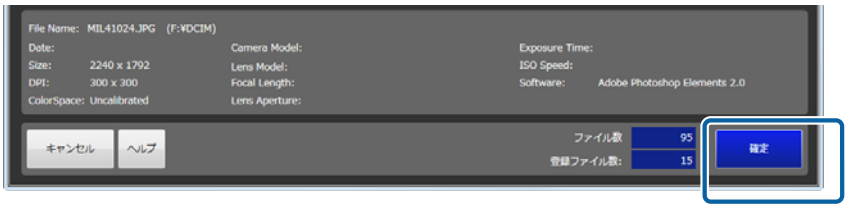
プリントするすべての画像をバスケットエリアに追加します。

参考

- 全画像をプリントするときは、［全選択］をクリックします。
- 選択した画像をバスケットエリアから削除するときは、画像を選択し、［登録解除］をクリックします。
- 画像一覧エリアのサムネイル画像の表示サイズをスライダーバーで拡大、縮小できます。

5 ［確定］をクリックします。

画像が選択され、［オーダー登録/編集］画面に戻ります。



6 必要な項目を設定してオーダーを登録します。

以降は、［ファイル名］でファイルを選択した操作と同様です。

- プリセット（Step2/Step3）：オーダーの作成操作の手順 7～8
- オーダー設定（Step4）：オーダーの作成操作の手順 9～18

☞ 「オーダーの作成」17 ページ

スキャナーで読み込む

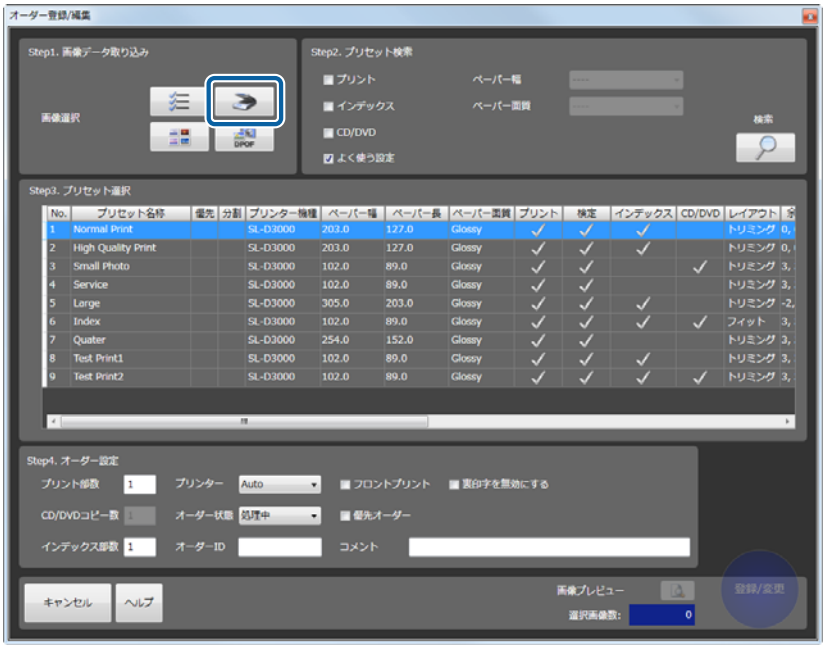
！重要

- ［スキャナー］を利用するときは、あらかじめ［環境設定］-［基本設定］の［アプリケーション設定］タブの［その他］で［スキャナー］を有効にしてください。
  ☞ 「その他」100 ページ
- あらかじめ使用するスキャナーの TWAIN ドライバーをインストールして、スキャナーが使用できる状態にしてください。

1 **操作 PC に接続したスキャナーの電源を ON にし、［オーダー一覧］画面の［オーダー作成］をクリックします。**

［オーダー登録/編集］画面が表示されます。

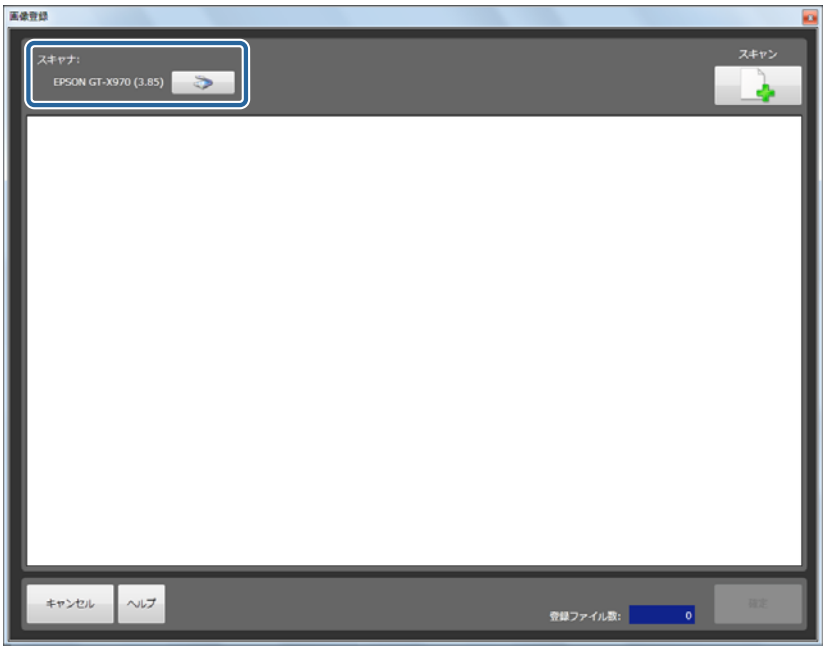
2 **［オーダー登録/編集］画面の［スキャナー］をクリックします。**



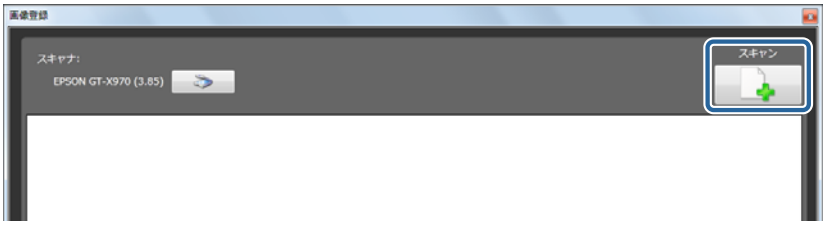
［画像登録］画面が表示されます。

3 スキャナー名を確認します。

変更するときは、スキャナー名の横の［スキャナー］をクリックして変更します。



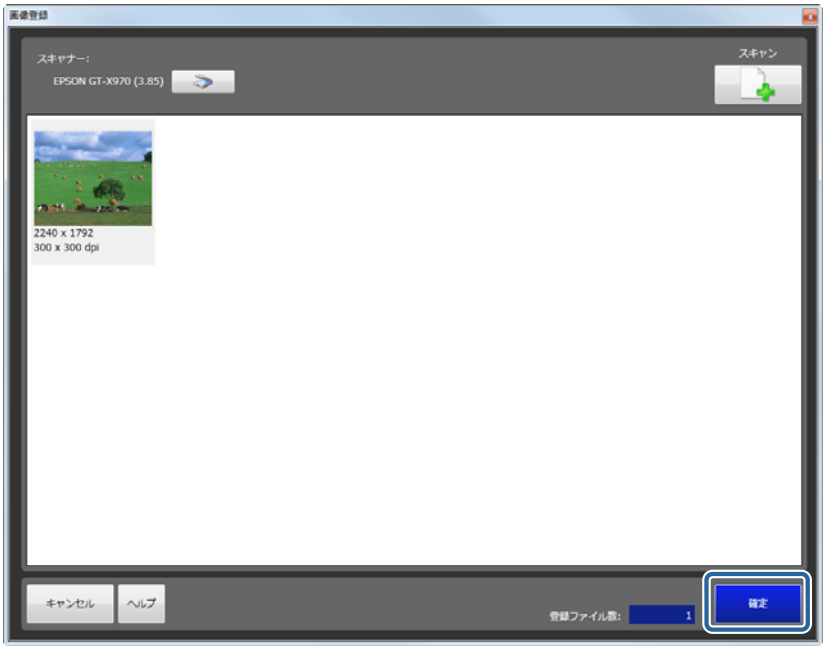
4 読み込む原稿をスキャナーにセットし、［スキャン］をクリックします。



TWAIN 画面が表示され、スキャン操作ができるようになります。
スキャン操作については使用しているスキャナーの説明書を参照してください。
プリントするすべての画像をスキャンします。

5 ［確定］をクリックします。

画像が選択され、［オーダー登録/編集］画面に戻ります。



6 必要な項目を設定してオーダーを登録します。

以降は、［ファイル名］でファイルを選択した操作と同様です。

- プリセット（Step2/Step3）：オーダーの作成操作の手順 7～8
- オーダー設定（Step4）：オーダーの作成操作の手順 9～18

☞ 「オーダーの作成」17 ページ

DPOF データを読み込む

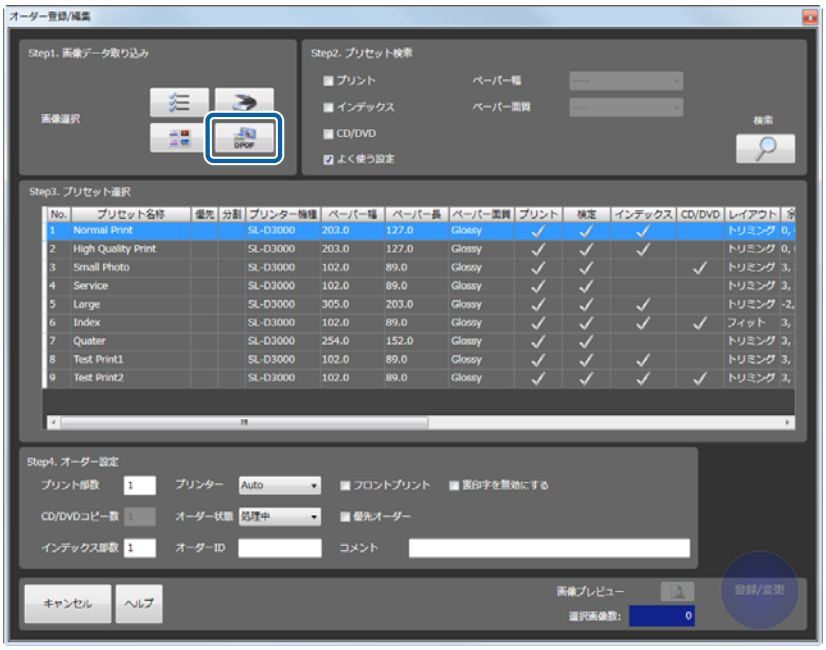
！重要

- ［DPOF］を利用するときは、あらかじめ［環境設定］-［基本設定］の［アプリケーション設定］タブの［その他］で［DPOF］を有効にしてください。
  ☞ 「その他」100 ページ
- ［DPOF］は、DPOF 出力に対応したアプリケーションソフトで作成された DPOF ファイルを読み込みます。DPOF ファイルの形式により、読み込めないことがあります。

1 操作 **PC** に **DPOF** ファイルをコピーし、［オーダー一覧］画面の［オーダー作成］をクリックします。

［オーダー登録/編集］画面が表示されます。

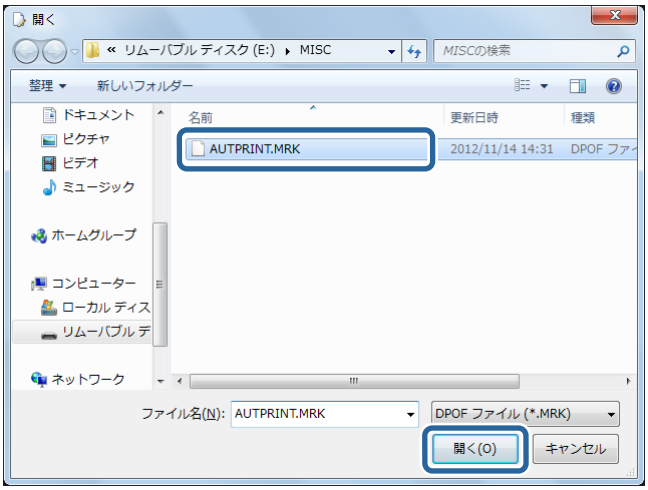
2 ［オーダー登録/編集］画面の［**DPOF**］をクリックします。



［画像登録］画面が表示されます。

3 DPOF ファイルを選択し、［開く］をクリックします。

画像が選択され、［オーダー登録/編集］画面に戻ります。



4 必要な項目を設定してオーダーを登録します。

以降は、［ファイル名］でファイルを選択した操作と同様です。

- プリセット（Step2/Step3）：オーダーの作成操作の手順 7～8
- オーダー設定（Step4）：オーダーの作成操作の手順 9～18

☞ 「オーダーの作成」17 ページ

CD/DVD への書き込み

オーダーを CD/DVD に書き込みます。
プリセットの［CD/DVD］にチェックが付いているオーダーが対象になります。

参考

- プリセットの［CD/DVD 保存内容］には、［元画像］または［元画像+検定情報］のどちらかを指定できます。［元画像+検定情報］で CD/DVD に保存されたオーダーは、エクスポートされたオーダーと同様の方法でインポートすることができます。
  ☞ 「オーダーのインポート」62 ページ
- 画像に色補正等を反映させて保存したいときは、［ファイルへ出力］機能を使用してください。［オーダー登録/編集］画面の Step. 4 の［プリンター］で［ファイルへ出力］を選択します。
  ☞ 「オーダー登録/編集画面」147 ページ

1 ［オーダー一覧］画面で CD/DVD へ書き込むオーダーを選択します。

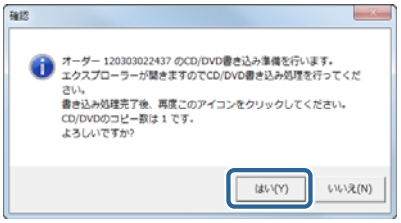
参考

CD/DVD 書き込み済みのオーダーやプリント済みオーダーを CD/DVD へ書き込むときは、［プリント済みオーダー］画面で再プリントオーダーに設定してから始めてください。
☞ 「オーダーの再プリント」58 ページ

2 ［CD/DVD］の （メディア書き込みボタン）をクリックします。

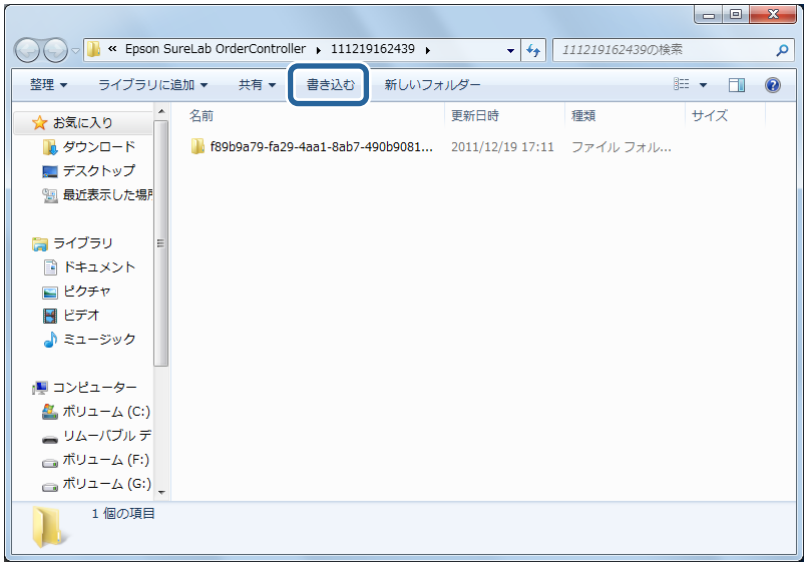
確認画面が表示されます。

3 ［はい］をクリックします。



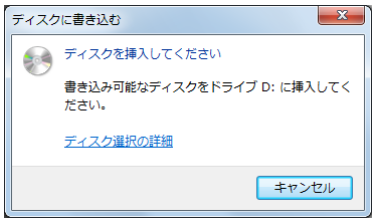
［CD/DVD 用データ出力フォルダー］の保存先ウィンドウが開きます。
以降の手順は、使用する CD/DVD 書き込みアプリケーションによって異なります。
Windows 7 での操作を手順 4〜8 で説明しています。
その他の書き込みアプリケーションを使用するときは、アプリケーションの説明書を参照してください。
CD/DVD 書き込み後は、手順 9 に進みます。

4 CD/DVD 用データ出力フォルダーを選択し、［書き込む］をクリックします。



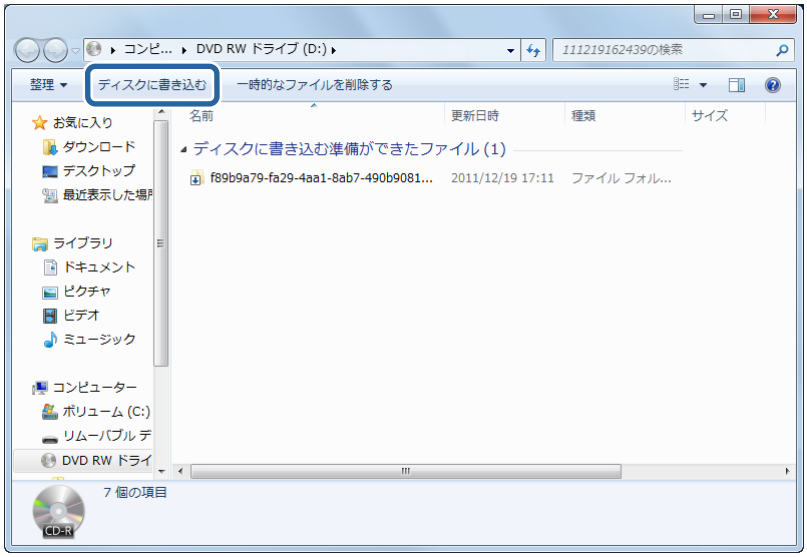
CD/DVD ドライブが開きます。

5 CD/DVD ドライブにディスクをセットします。



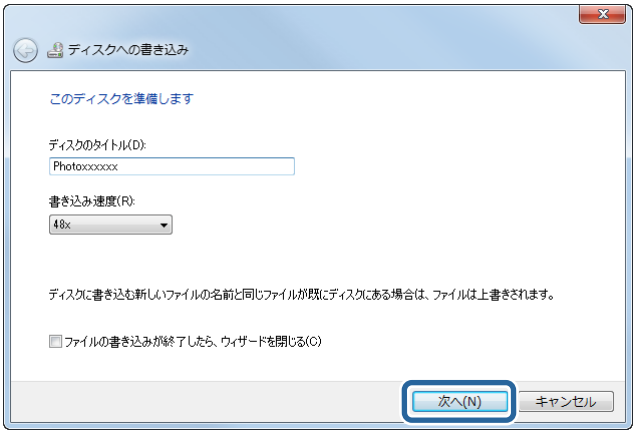
確認画面が表示されているときは自動的に閉じます。

6 ［ディスクに書き込む］をクリックします。



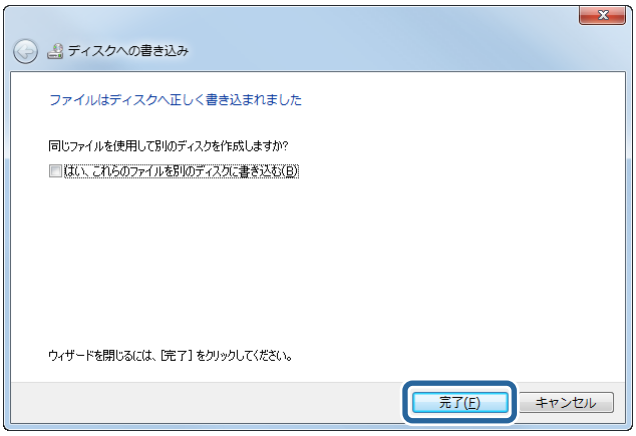
［ディスクへの書き込み］画面が表示されます。

7 ディスクのタイトルを入力し、［次へ］をクリックします。



書き込み完了後、CD/DVD ドライブが開き、確認画面が表示されます。

8 CD/DVD を取り出して［完了］をクリックします。

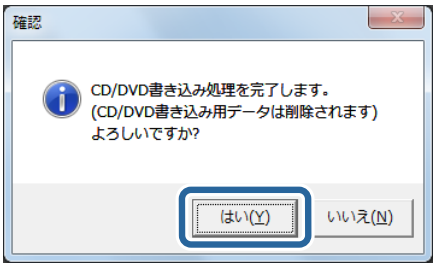


9 **CD/DVD 用データ出力フォルダーの保存先ウィンドウを閉じます。**

10 **［CD/DVD］の （メディア書き込みボタン）をクリックします。**

確認画面が表示されます。

11 **［はい］をクリックします。**



書き込み処理が終了します。

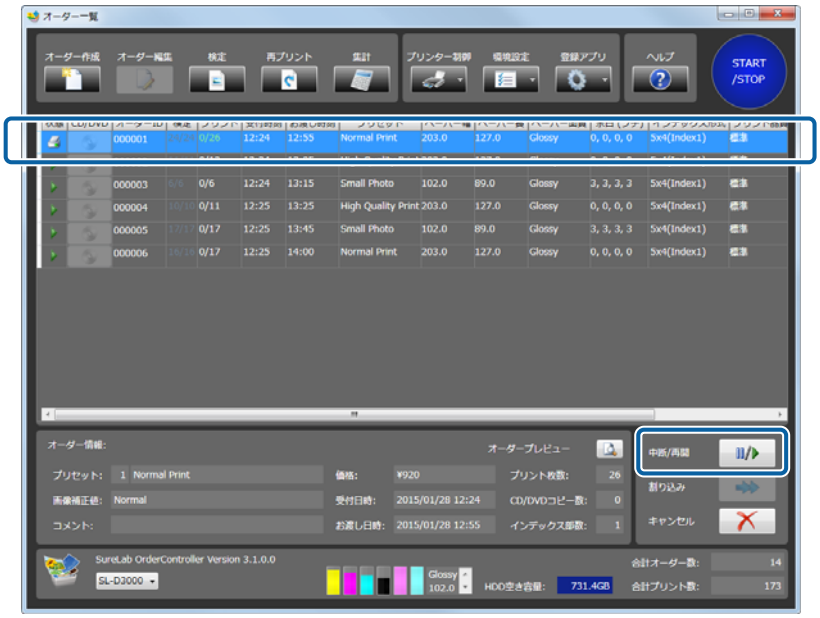
以上で終了です。

割り込みプリント

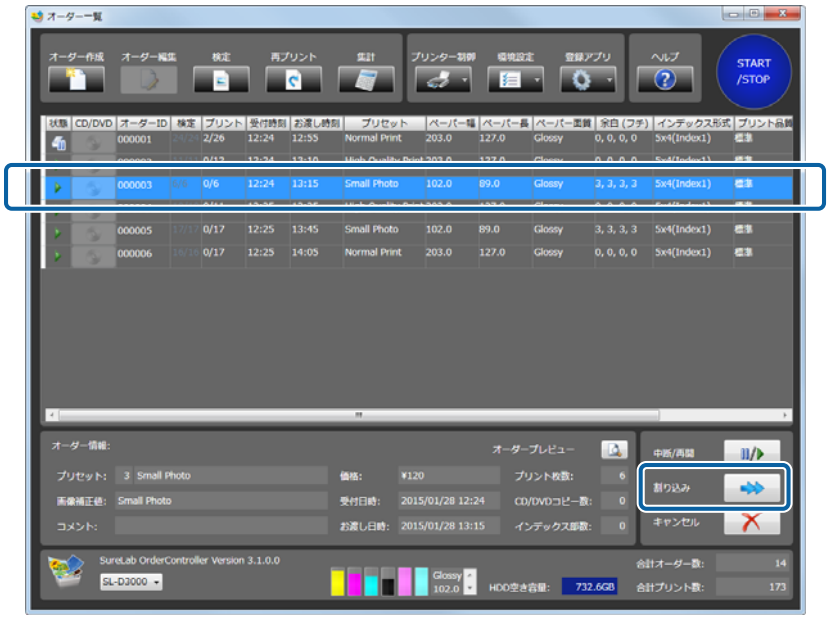
オーダー一覧の ▶ （処理オーダー）はリストの上段から順番にプリントされます。
優先してプリントしたいオーダーがある場合は、そのオーダーを選択した後、［割り込み］をクリックします。現在のプリントの終了後、優先したいオーダーのプリントが開始されます。また、プリント枚数の多いオーダーのプリント中に、他のオーダーを割り込んでプリントするときは、プリント中のオーダーを中断中にしてから割り込み処理を行います。
現在プリント中のオーダーを中断して、他のオーダーをプリントする手順を説明します。

1 ［オーダー一覧］画面で （プリント中オーダー）をクリックし、［中断/再開］をクリックします。

（プリント中オーダー）が （プリント中断中オーダー）になります。



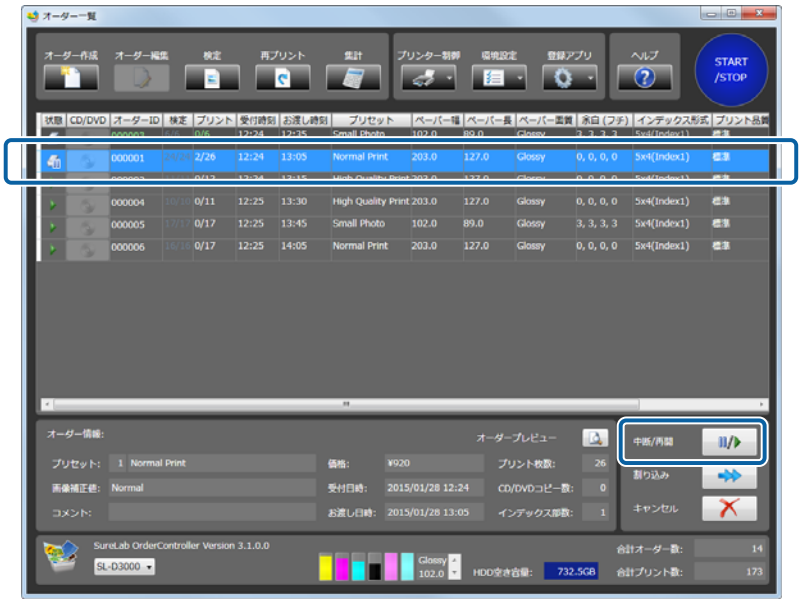
2 割り込んでプリントするオーダーをクリックし、［割り込み］をクリックします。



3 確認画面で［はい］をクリックすると、選択したオーダーがリストの一番上に移動し、プリントが開始されます。

4 割り込んだオーダーのプリント終了後に、（プリント中断中オーダー）のプリントを再開させるために、（プリント中断中オーダー）をクリックし、［中断/再開］をクリックします。

（プリント中断中オーダー）が（プリント再開待ちオーダー）になります。



参考

［環境設定］-［基本設定］-［プリント設定］で、［オーダーの並び順］を［受付時刻順］にしているとき、（プリント中断中オーダー）にプリントの順番が来ると、オーダー一覧に（処理オーダー）や（再開待ちオーダー）があってもプリントは中断したままになります。［オーダーの並び順］を［処理順］にすれば（保留オーダー）は後回しになりますので、（処理オーダー）や（再開待ちオーダー）が中断されることはありません。

以上で、終了です。

複数のプリンターでプリントする

複数台のプリンターに接続している場合、出力先を複数指定してプリントすることができます。
最大 4 台に対して出力先設定を行うことができ、大量のプリントを行うときに便利です。
複数のプリンターでプリントする方法は 2 通りあります。

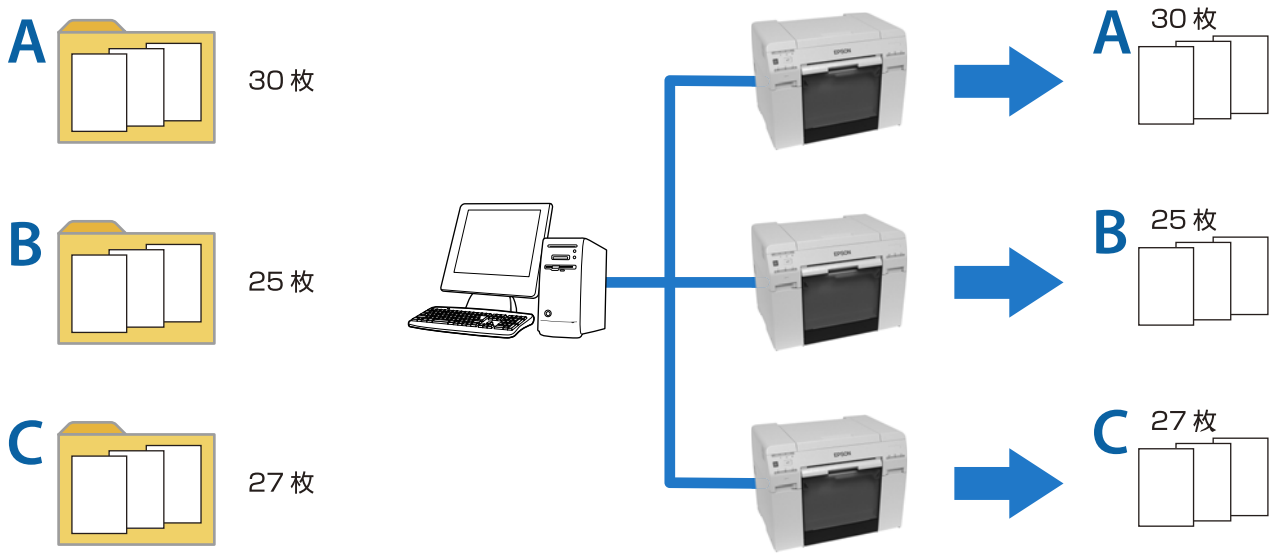
オーダーごとにプリントを振り分ける

オーダー単位でプリントを振り分けます。以下の場合にお勧めです。

- 複数のオーダーがあり、プリント枚数がほぼ等しいとき
- オーダー内のプリントの順番を維持したいとき

☞ 「オーダー単位でプリントを振り分け」57 ページ

使用例：
A. 30 枚のプリント、B. 25 枚のプリント、C. 27 枚のプリントオーダーがあるときに、3 台のプリンターにプリントオーダーを振り分けてプリントすることができます。



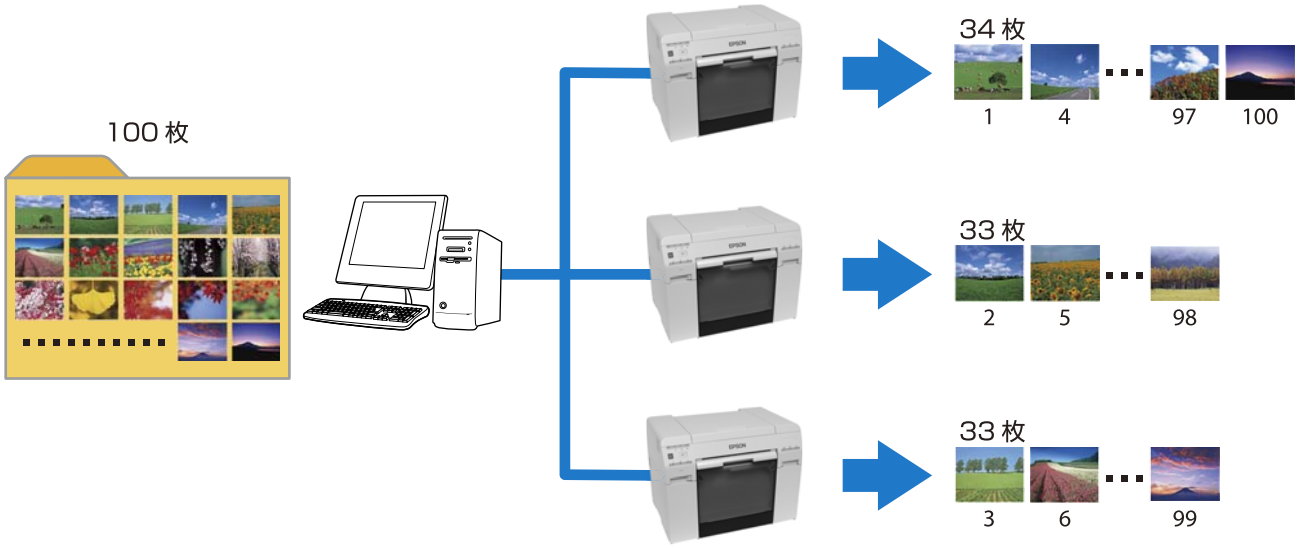
写真ごとにプリントを振り分ける

1 つのオーダー内に複数の写真が含まれているときに、写真ごとにプリントを振り分けます。以下の場合にお勧めです。

- 1 つのオーダー内に大量の写真があり、1 枚ずつプリントするとき
- 検定が不要なとき
- プリントの順番をそろえる必要がないとき

☞ 「写真ごとにプリントを振り分ける」57 ページ

使用例：
1 つのオーダー内に写真が 100 枚あるとき、3 台のプリンターにプリントを振り分けることができます。



オーダー単位でプリントを振り分け

オーダー作成時に、[Step4 オーダー設定] - [プリンター] で [Auto] を選択します。
接続されているプリンターに、オーダー単位でプリントを振り分けされます。

オーダー作成の詳細については以下を参照してください。
☞ 「オーダーの作成」17 ページ

写真ごとにプリントを振り分ける

同一機種のプリンターに対してのみ、プリントを振り分けることができます。
事前に印刷したいプリンターのプリセットを選択します。

オーダー作成時に、[Step4 オーダー設定] - [プリンター] で [自動振り分け] を選択します。

[Ctrl]を押しながら左クリックをし、複数のプリンターを選択します。
写真ごとにプリントが振り分けされます。

オーダー作成の詳細については以下を参照してください。
☞ 「オーダーの作成」17 ページ

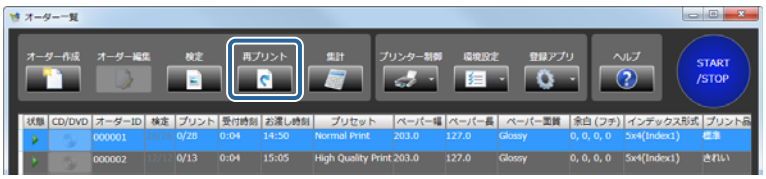
再プリント

オーダーの再プリント

プリント済み、または、キャンセルしたプリントを再度プリントオーダーに登録します。

> **参考**
>
> プリント済みオーダーは、［環境設定］でオーダーを保存する設定になっているときのみ表示されます。オーダーを保存しない設定では再プリントできません。
>
> ☞「プリント設定」81 ページ

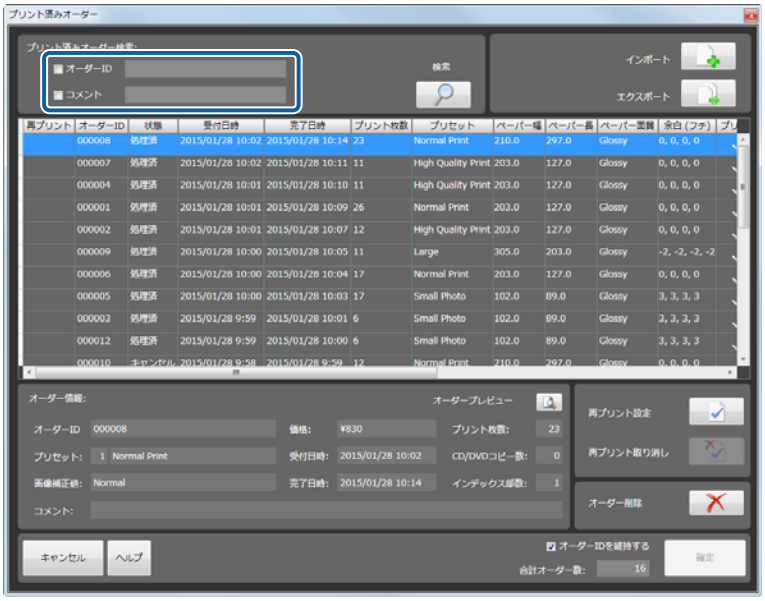
1 ［オーダー一覧］画面の［再プリント］をクリックします。



［プリント済みオーダー］画面が表示されます。

2 オーダーを検索するときは、検索条件を設定します。

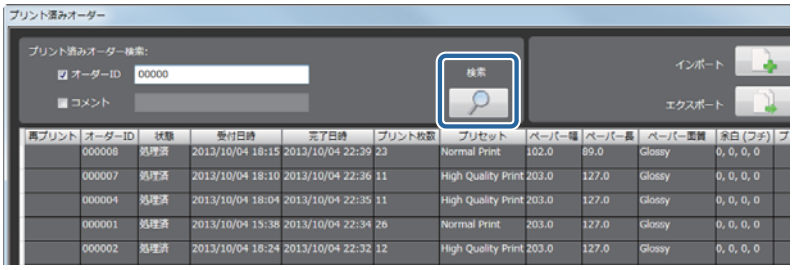
オーダー ID で検索するときは、［オーダー ID］にチェックを付け、ID を入力します。
コメント内容で検索するときは、［コメント］にチェックを付け、コメント内容を入力します。
オーダーを検索しないときは、手順 4 に進みます。



> **参考**
>
> - ［オーダー ID］で検索する場合は、前方一致で検索されます。ID の最初の数文字を入力してください。
> オーダー ID は、オーダー登録時に入力できますが、オーダー ID を入力せずにオーダーを登録したときは、自動的にオーダーを生成した順に 6 桁の連番になっています。
> - ［コメント］で検索する場合は、部分一致で検索されます。［コメント］に含まれる文字の一部を入力してください。

3 ［検索］をクリックします。

手順 2 で設定した条件に適したプリント済みオーダー一覧が表示されます。

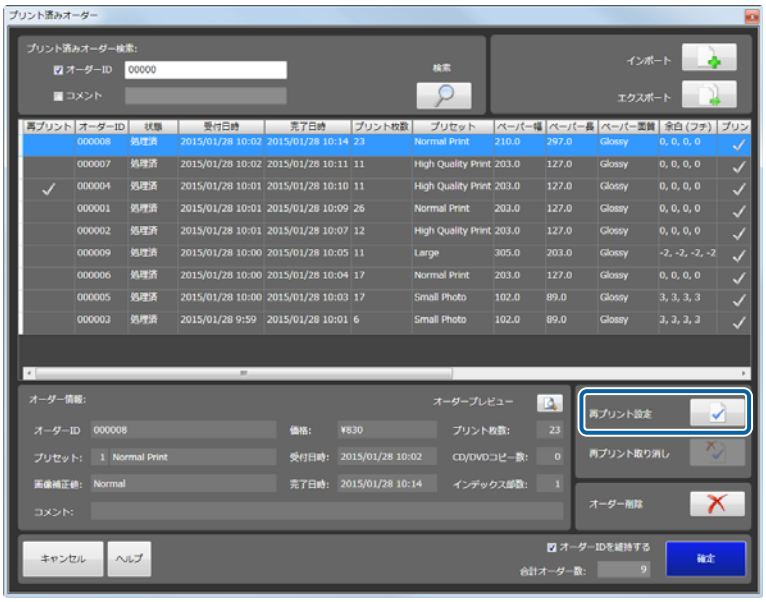


プリント済みオーダー一覧には、処理状態やプリント枚数、プリント日時、使用ペーパーなど目的のオーダーを探す手掛かりになるオーダー情報が表示されます。

項目	説明	
再プリント	オーダーの状態が表示されます。	
	空欄	再プリントしないプリント済みオーダーです。
	✓（再プリントオーダー）	再プリントに設定したオーダーです。
オーダー ID	オーダー ID が表示されます。	
状態	処理状態が表示されます。プリント済みオーダーかキャンセルオーダーかを確認できます。	
受付日時	オーダーが登録された日時が表示されます。	
完了日時	プリント処理またはキャンセル処理された日時が表示されます。	
プリント枚数	設定されているプリント枚数が表示されます。 実際にプリントされた枚数ではなく、設定されている枚数になります。	
プリセット	設定されているプリセット名が表示されます。	
ペーパー幅	設定されているペーパー幅が表示されます。プリセットの［出力ペーパーを指定する］が設定されているときは（　）内に出力ペーパーの幅が表示されます。	
ペーパー長	設定されているペーパー長が表示されます。プリセットの［出力ペーパーを指定する］が設定されているときは（　）内に出力ペーパーの長さが表示されます。	
ペーパー面質	設定されているペーパー面質が表示されます。	
余白（フチ）	プリセットで指定されている余白の設定が表示されます。	
プリント	プリント用オーダーにチェックが付きます。	
検定	検定処理をするオーダーにチェックが付きます。	
インデックス	インデックスプリント用オーダーにチェックが付きます。	
CD/DVD	CD/DVD 書き込み用オーダーにチェックが付きます。	
画像補正値	プリセットで指定されている初期補正値の設定が表示されます。	
インデックス形式	プリセットで指定されているインデックス形式の設定が表示されます。	
プリント品質	プリセットで指定されているプリント品質の設定が表示されます。	
裏印字を無効にする	［裏印字を無効にする］に設定されているオーダーにチェックが付きます。	
プリンター	プリントするプリンターが表示されます。	

4 一覧から目的のオーダーを選択し、［再プリント設定］をクリックします。

選択したオーダーの情報は画面下部に表示されます。



［再プリント設定］をクリックすると、再プリント欄に ✓ （再プリントオーダー）アイコンが表示されます。複数のオーダーを設定できます。

> **参考**
> - 再プリントを取り消すときは、［再プリント取り消し］をクリックします。
> - ［オーダープレビュー］をクリックすると、選択しているオーダーに登録された画像とプリント枚数を確認できます。

5 ［オーダー ID を維持する］を設定します。

以前のオーダー ID を使用するかどうかを設定します。オーダー ID を変更しない場合はチェックを付けます。チェックを外すと別のオーダー ID が付番されます。

6 ［確定］をクリックします。

［オーダー一覧］画面に戻ります。設定したオーダーがオーダー一覧に追加されます。

> **参考**
>
> ［環境設定］で［プリンター選択が再プリント時にも適用される］が設定されていると、［オーダー一覧］画面の再プリントオーダーには、前回プリントした時のプリンターが自動的に設定されます。
>
> ☞ 「プリント設定」81 ページ

以上で終了です。

オーダー条件を変更するときは、オーダーを編集します。

☞ 「オーダーの編集」24 ページ

再プリントオーダーを編集したときは、確定時に補正情報やプリント枚数など、以前の設定のままで良いかを確認する画面が表示されます。

オーダーのインポート

以下のオーダーをインポートして復元できます。

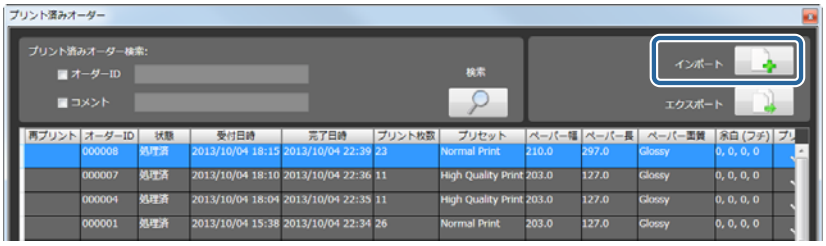
- ［プリント済みオーダー］画面でエクスポートしたオーダー
- プリセットの［CD/DVD 保存内容］が［元画像+検定情報］で CD/DVD に保存されたオーダー

> **参考**
> プリント済みオーダーは、［環境設定］でオーダーを保存する設定になっているときのみ表示されます。オーダーを保存しない設定ではインポートできません。
> ☞ 「プリント設定」81 ページ

1 ［オーダー一覧］画面の［再プリント］をクリックします。

［プリント済みオーダー］画面が表示されます。

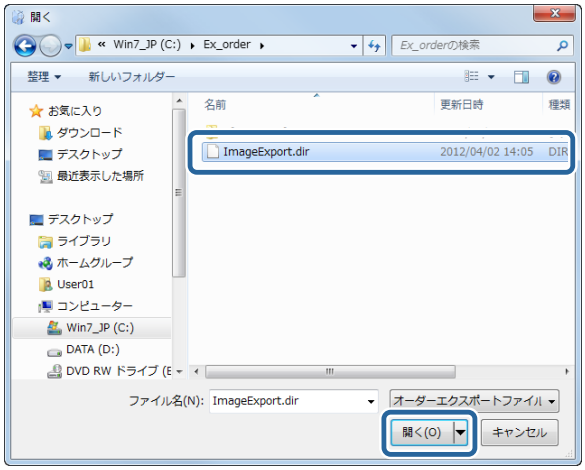
2 ［インポート］をクリックします。



［開く］画面が表示されます。

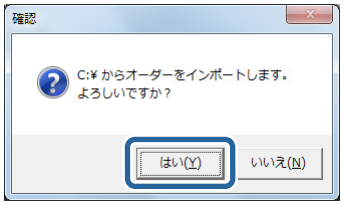
3 保存されているフォルダーの「**ImageExport.dir**（**DIR** ファイル）」を選択し、［開く］をクリックします。

画面は、Windows 7 の場合です。



［確認］画面が表示されます。

4 ［はい］をクリックします。



エクスポートしてあるプリント済みオーダーがインポートされ、画面に表示されます。

5 ［キャンセル］をクリックします。

［オーダー一覧］画面に戻ります。

以上で終了です。

オーダーのエクスポート

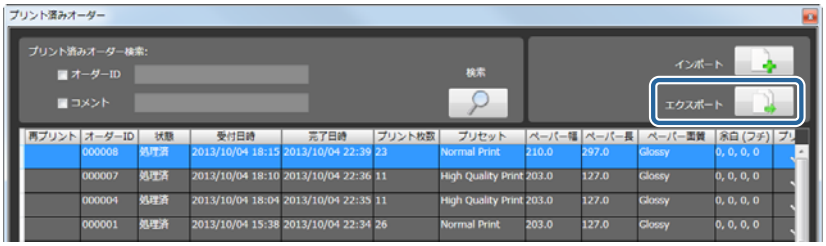
プリント済みオーダーは、エクスポートして別メディアに保存しておくことができます。
エクスポートしたオーダーは、インポートしてプリント済みオーダーに復元できます。

> **参考**
> プリント済みオーダーは、［環境設定］でオーダーを保存する設定になっているときのみ表示されます。オーダーを保存しない設定ではエクスポートできません。
> ☞「プリント設定」81 ページ

1 ［オーダー一覧］画面の［再プリント］をクリックします。

［プリント済みオーダー］画面が表示されます。

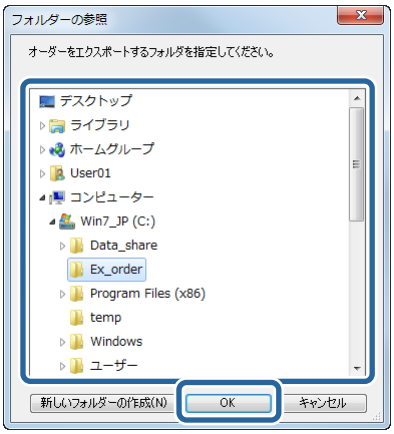
2 一覧から目的のオーダーを選択し、［エクスポート］をクリックします。



［フォルダーの参照］画面が表示されます。

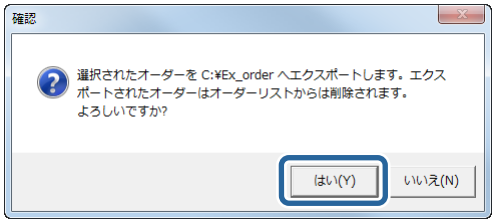
3 保存するフォルダーを選択し、［OK］をクリックします。

画面は、Windows 7 の場合です。
必要に応じて、新しいフォルダーを作成します。



［確認］画面が表示されます。

4 ［はい］をクリックします。



プリント済みオーダーがエクスポートされ、画面から削除されます。

5 ［キャンセル］をクリックします。

［オーダー一覧］画面に戻ります。

以上で終了です。

集計

集計方法の選択と表示

プリント枚数や売り上げをプリント種類ごとに集計できます。

参考

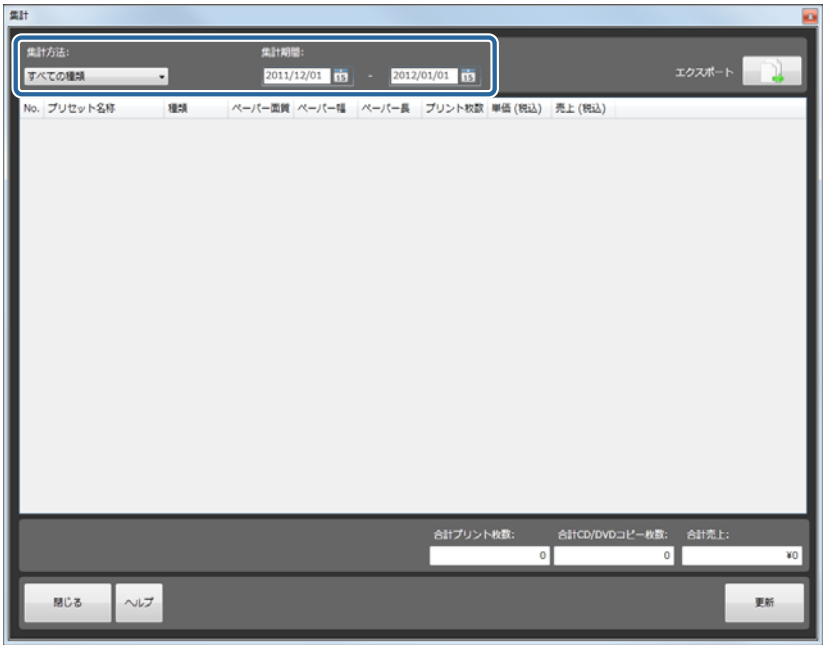
- 集計は、［環境設定］でオーダーを保存する設定になっているときのみ利用されます。オーダーを保存しない設定では集計できません。
- 集計できる期間は［環境設定］でオーダーを保存する期間に設定した日数の範囲内になります。
☞「オーダー設定」81 ページ

1 ［オーダー一覧］画面の［集計］をクリックします。

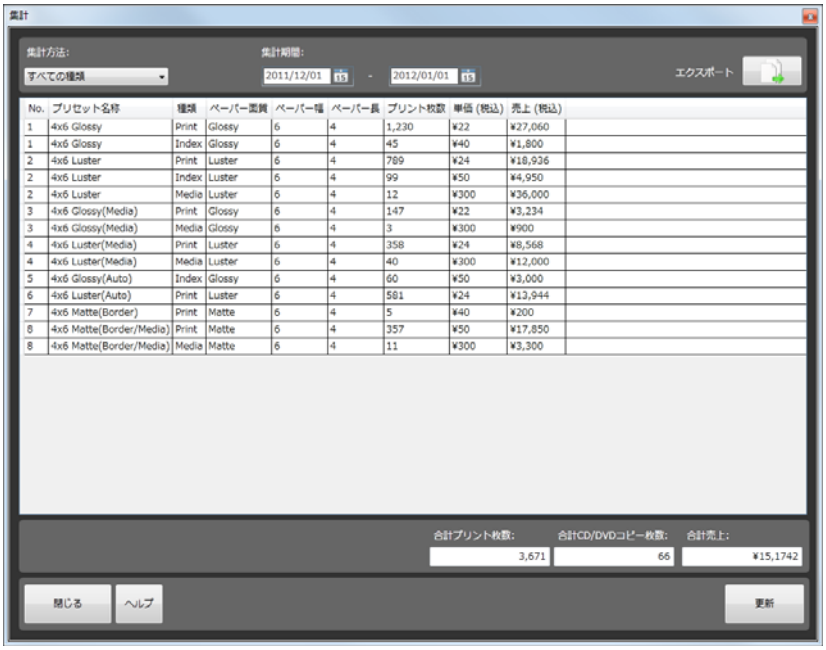
［集計］画面が表示されます。

2 集計方法と期間を選択します。

- 集計したいプリント種類に合わせて、集計方法を［すべての種類］/［プリント］/［インデックス］/［CD/DVD］から選択します。
- 集計開始日と集計終了日をそれぞれ設定します。
年月日を直接入力するか、カレンダーアイコンをクリックして表示するカレンダーから選択します。



条件を設定すると、設定した条件に適したオーダーが集計されます。
それぞれの合計数値などを確認します。



参考

- プリント中のオーダーがあるときは、プリント終了後に［更新］をクリックすると集計結果に反映されます。
- 集計結果をエクスポートできます。
  ☞ 「集計結果のエクスポート」68 ページ

3 ［閉じる］をクリックして［集計］画面を終了します。

［オーダー一覧］画面に戻ります。

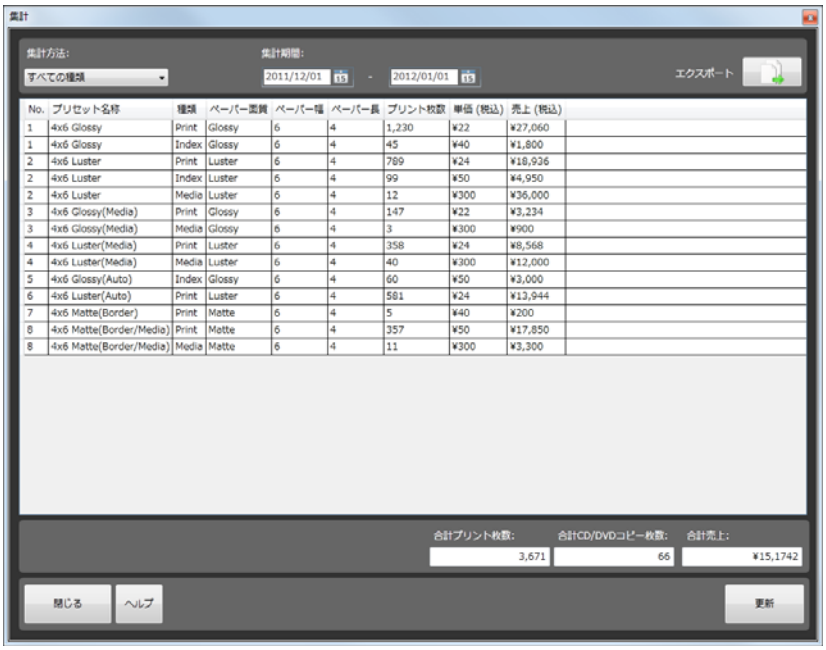
以上で終了です。

集計結果のエクスポート

集計結果をエクスポートします。
エクスポートしたファイルは csv 形式で保存されます。Excel などで開いて確認できます。

1 ［集計］画面で条件を設定し、集計します。

☞ 「集計方法の選択と表示」66 ページ

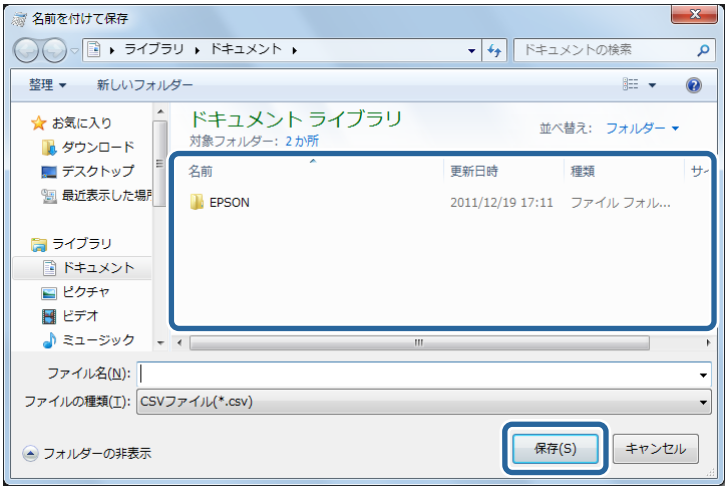


2 ［エクスポート］をクリックします。

［名前を付けて保存］画面が表示されます。

3 保存するフォルダーを開き、ファイル名を入力してから［保存］をクリックします。

画面は、Windows 7 の場合です。



集計結果がエクスポートされます。

4 ［閉じる］をクリックして［集計］画面を終了します。

［オーダー一覧］画面に戻ります。

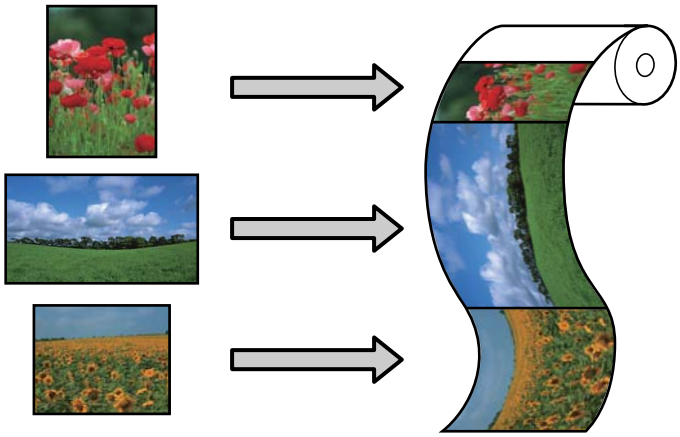
以上で終了です。

ペーパー幅に合わせてプリント

画像をペーパーの幅に合わせて自動的に拡大/縮小してプリントします。パノラマ、ハイビジョンサイズなど混在したオーダーをプリントできます。

参考

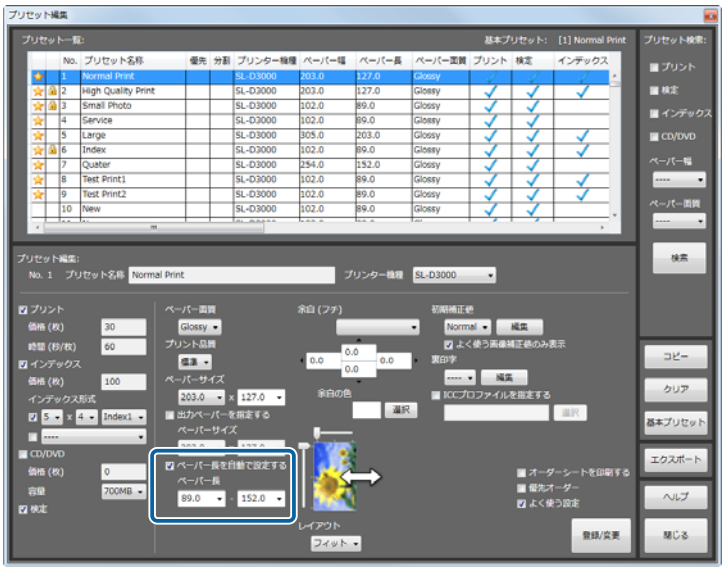
- 画像の縦横比は変更しません。
- お使いのプリンターによっては使用できません。



設定方法

ペーパー幅に合わせてプリントをするにはプリセット登録時に設定をします。
「プリセットの登録、変更」の手順 6 で［ペーパー長を自動で設定する］にチェックを付け、［ペーパー長］でペーパーの送り量の最大値と最小値を設定します。

☞ 「プリセットの登録、変更」114 ページ



参考

- 画像の短辺をペーパー幅に合わせるか、長辺をペーパー幅に合わせるかは検定時の［画像補正］画面で画像を回転させることにより変更できます。
- ［ペーパー長を自動で設定する］が設定されたオーダーを検定するときは［画像検定］/［画像補正］画面にペーパーの送り方向を示すアイコン（ や ）が表示されます。

オーダーを分割する

以下のときに 1 つのオーダーをメインオーダーとサブオーダーに分割し、サブオーダーのプリセットを新しく設定できます。

- オーダー内で任意の画像を別プリセットにしたい（例えば 1 つの画像だけ L 判を 2L 判にしたいなど）
  「任意の画像を別のプリセットにする」72 ページ
- インデックスを別サイズでプリントしたい
  「インデックスを別サイズでプリントする」76 ページ

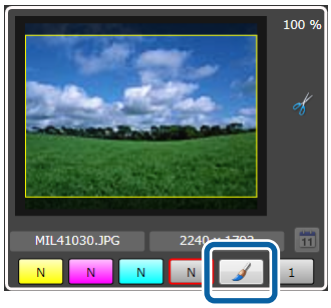
参考
- オーダーのエクスポート、インポート時には分割されたオーダーかどうか識別できません。
- プリント完了時、プリントキャンセル時にはオーダー間の関連性は失われます。
- メインオーダーをキャンセルしても、サブオーダーは同時にキャンセルされません。
- サブオーダーの［プリンター］は［Auto］が指定されます。ただし、メインオーダーの［プリンター］が［ファイル出力］のときは、サブオーダーも［ファイル出力］になります。

任意の画像を別のプリセットにする

オーダー内で任意の画像を別のプリセットにしたいときに、サブオーダーに分割します。

参考
- オーダー内で複数の画像を一度に分割できません。
- 以下のメインオーダーの設定はサブオーダーに反映されます。
  インデックス部数、優先オーダー、裏印字無効、コメント

1 ［画像検定］画面で、別プリセットにしたい画像を選択し、［補正詳細］をクリックします。



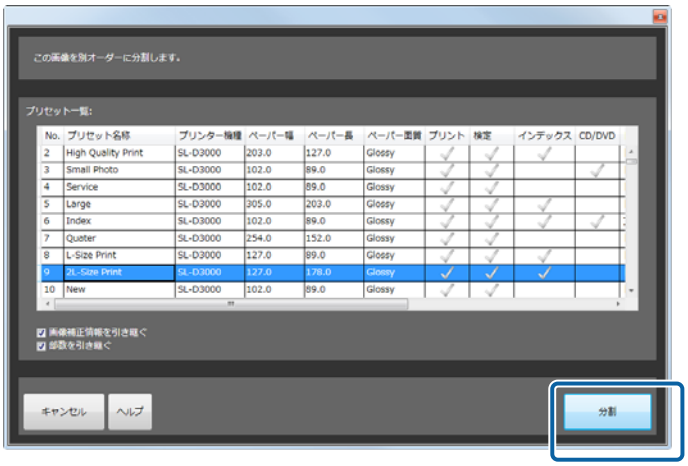
［画像補正］画面が表示されます。

2 ［分割］をクリックします。

分割画面が表示されます。

3 サブオーダーで使用するプリセットを選択し、［分割］をクリックします。

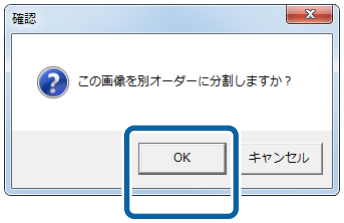
分割した画像に画像補正情報を反映したいときは［画像補正情報を引き継ぐ］にチェックを付けます。プリント部数を反映したいときは［部数を引き継ぐ］にチェックを付けます。



確認画面が表示されます。

> **参考**
> メインオーダーで設定したトリミングはサブオーダーに反映されません。サブオーダーでトリミングを設定したいときは、検定が選択されているプリセットを選び、サブオーダーの検定画面でトリミングを設定してください。

4 ［OK］をクリックします。

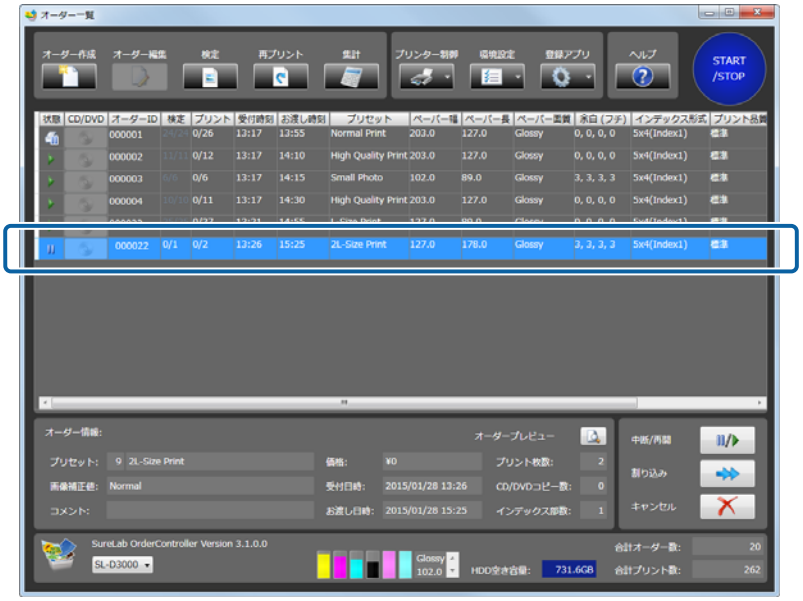


5 ［確定］をクリックします。

メインオーダーの画像検定画面では、分割された画像のプリント部数は 0 になります。

［オーダー一覧］にサブオーダーが追加されます。

6 ［オーダー一覧］に追加されたサブオーダーは （保留オーダー）のため、サブオーダーをクリックし、［中断/再開］をクリックします。



参考

サブオーダーの［オーダー ID］はメインオーダーと同様ですが、オーダー ID の前にブランクが入ります。

以上で終了です。

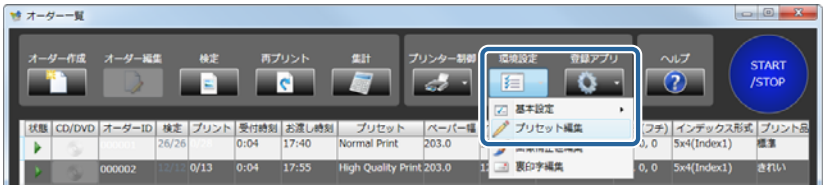
インデックスを別サイズでプリントする

インデックスを別サイズでプリントしたいときに、インデックスのみのプリセットをサブオーダーに設定します。
インデックスプリントのみのプリセットを先に作成し、作成したプリセットを新しいプリセットの［インデックス］で指定します。
ここでは、プリセットの作成方法を説明します。

参考

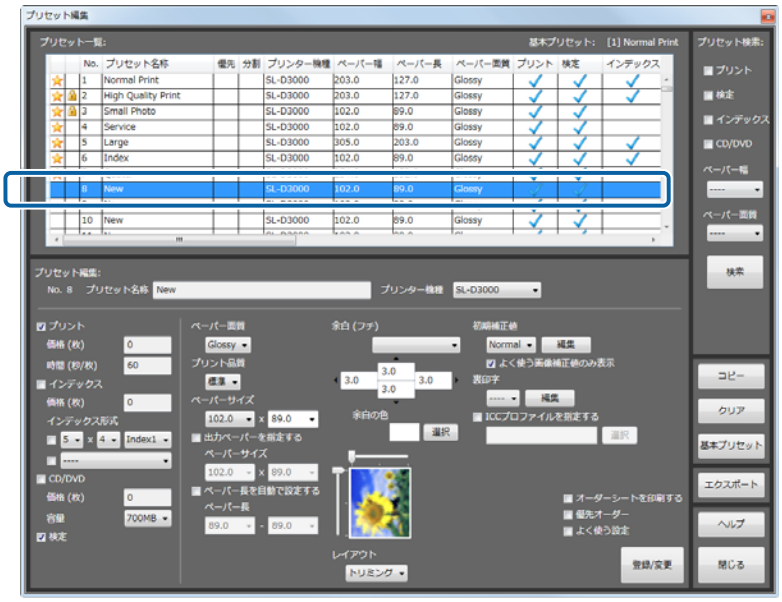
- サブオーダーは検定終了までインデックスは生成できないため、メインオーダーの検定が終了するまでは処理準備中オーダーとなります。処理準備中オーダーではキャンセル以外の操作はできません。
- ［オーダー一覧］に追加されたサブオーダーの［オーダー ID］はメインオーダーと同様ですが、オーダー ID の前にブランクが入ります。

1 ［オーダー一覧］画面の［環境設定］をクリックし、［プリセット編集］をクリックします。

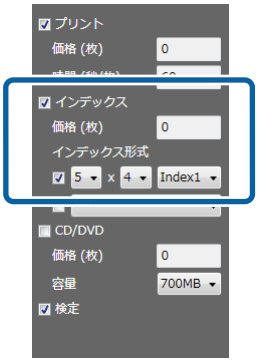


［プリセット編集］画面が表示されます。

2 インデックスプリントのみのプリセットを登録するプリセット **No.**を選択します。



3 ［インデックス］にチェックを付け、［インデックス形式］の上段の設定をします。



4 ［プリント］、［検定］のチェックボックスを外します。

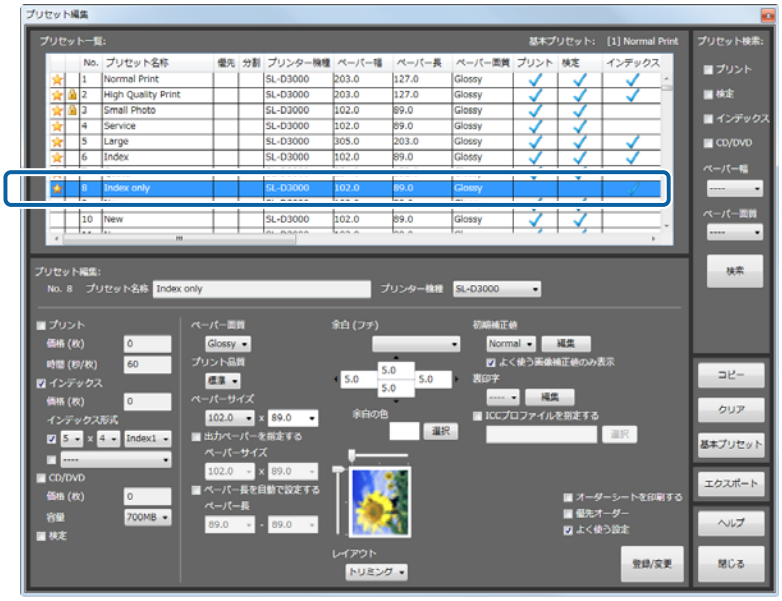
5 ［ペーパーサイズ］でインデックスをプリントしたいサイズを設定します。

6 その他の項目を設定します。

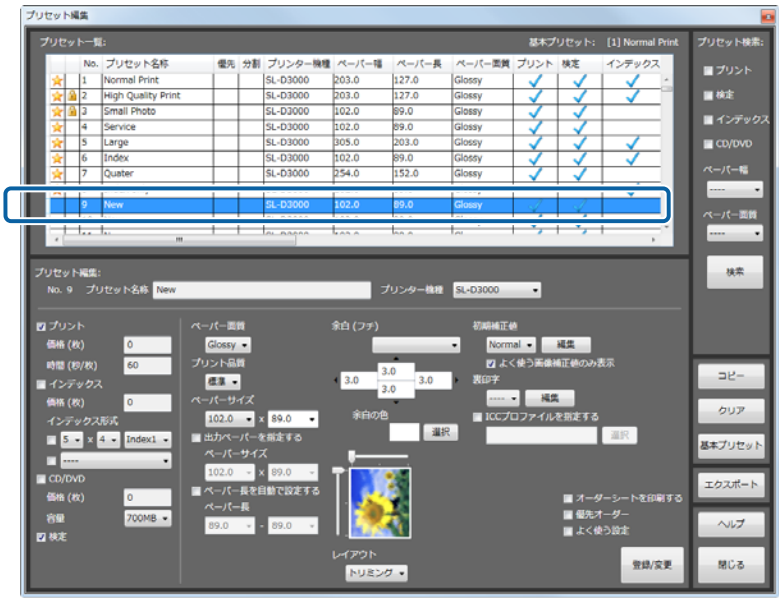
☞ 「プリセットの登録、変更」114 ページ

7 必要な項目の設定が終わったら、［登録/変更］をクリックします。

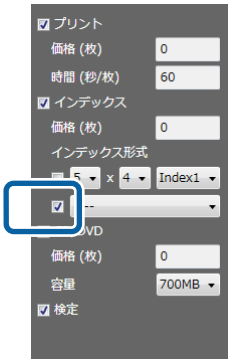
インデックスのみのプリセットが選択した No.のプリセットとして登録されます。



8 インデックスを別サイズでプリントするためのプリセットを登録するプリセット **No.**を選択します。

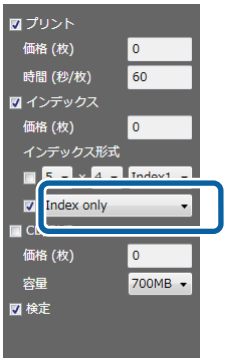


9 ［インデックス］にチェックを付け、［インデックス形式］の下のチェックボックスにチェックを付けます。



10 プルダウンから手順 7 で登録したプリセットを選択します。

プルダウンには［プリセット名称］が表示されます。

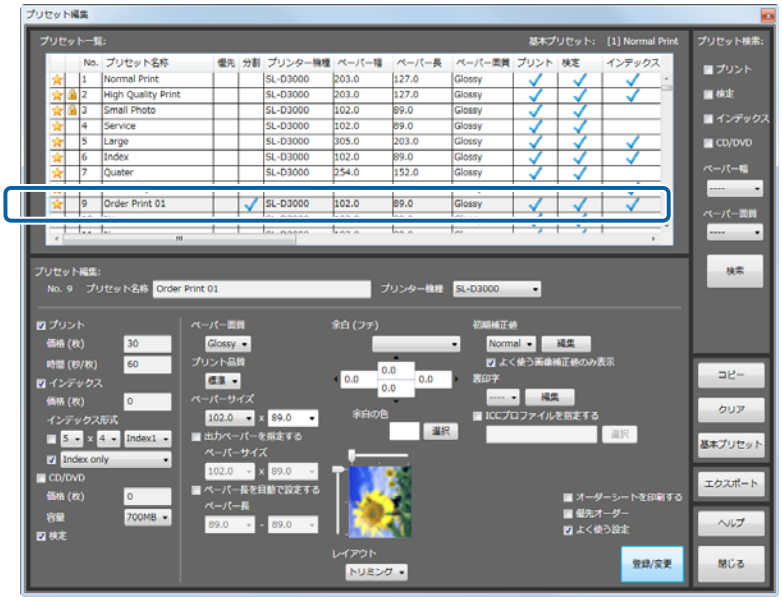


11 その他の項目を設定します。

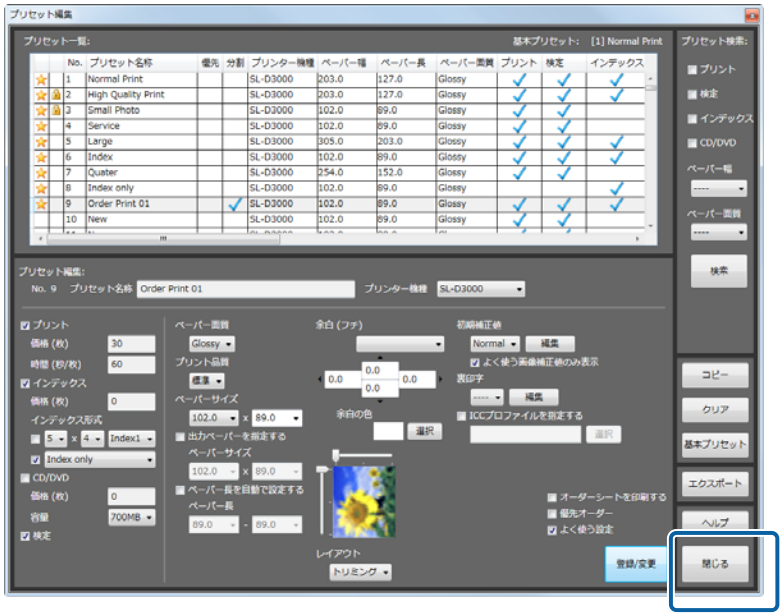
☞ 「プリセットの登録、変更」114 ページ

12 必要な項目の設定が終わったら、［登録/変更］をクリックします。

インデックスを別サイズでプリントするためのプリセットが選択した No.のプリセットとして登録されます。
［プリセット一覧］の［分割］にチェックが付きます。



13 ［閉じる］をクリックして［プリセット編集］画面を終了します。



[オーダー一覧]画面に戻ります。

以上で終了です。

環境設定

基本設定

プリント設定

オーダーの処理方法やインデックス設定など、オーダー作成時のプリント環境の初期設定を変更します。

オーダー設定

オーダーの処理方法と保存に関する初期設定を変更します。

1 ［オーダー一覧］画面の［環境設定］をクリックし、［基本設定］－［プリント設定］をクリックします。

［基本設定］画面が表示されます。

2 ［オーダー設定］の［オーダーの並び順］を選択します。

オーダーの表示順を［受付時刻順］/［印刷可能順］/［処理順］から選択します。

［印刷可能順］にすると、使用中のプリンターで使用しているペーパーと［ペーパー幅］（プリンターによっては［ペーパー幅］と［ペーパー長］）が一致しているオーダーが優先されます。

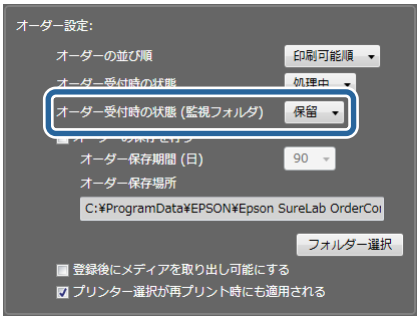
［処理順］にすると、処理中オーダー、処理待ちオーダー、保留オーダーの順になります。

3 ［オーダー設定］の［オーダー受付時の状態］を選択します。

オーダー登録時の処理方法の初期値を［保留］/［処理中］から選択します。
［処理中］を選択すると処理オーダーに、［保留］を選択すると保留オーダーになります。

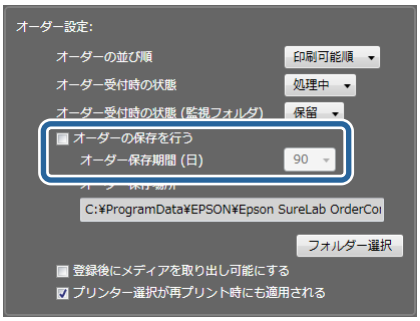
4 ［オーダー設定］の［オーダー受付時の状態（監視フォルダ）］を選択します。

店頭端末（監視フォルダー）で受け付けたオーダーの処理方法の初期値を［保留］/［処理中］から選択します。
［処理中］を選択すると処理オーダーに、［保留］を選択すると保留オーダーになります。



5 プリント済みオーダーを保存するかどうかを設定します。

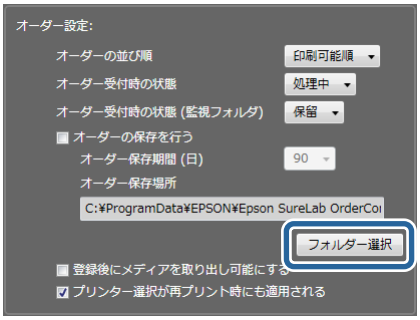
集計機能や再プリント機能を使いたいときは、［オーダーの保存を行う］にチェックを付け、必要な保存期間を設定してください。



参考

- ［オーダーの保存を行う］にチェックを付けたときは、手順 6、7 の操作でオーダーの保存フォルダーを変更できます。
- オーダーの保存フォルダーを変更すると、既存の保存オーダーにアクセスできなくなります。［オーダー保存場所］は、本機の設置時に設定されることをお勧めします。

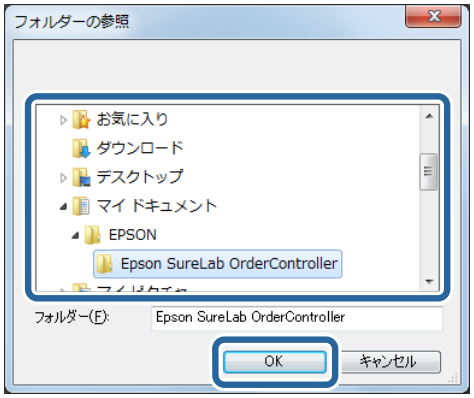
6 ［オーダー設定］の［フォルダー選択］をクリックします。



［フォルダーの参照］画面が表示されます。

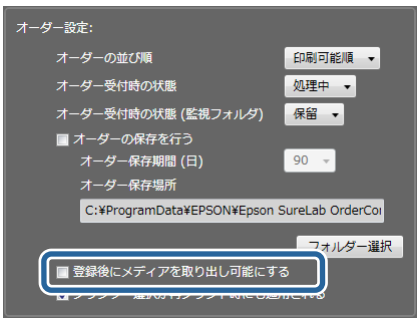
7 保存するフォルダーを選択し、［OK］をクリックします。

画面は、Windows 7 の場合です。



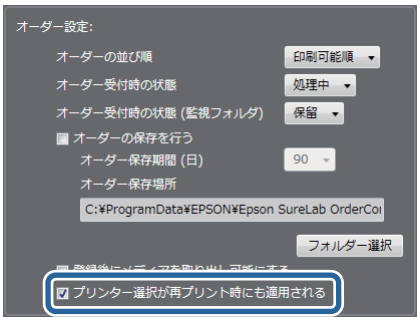
8 オーダー作成時の画像選択後にメディア（メモリーカードなど）の安全な取り外し処理を自動で行うかどうかを設定します。

安全な取り外し処理を自動で行うときは、［登録後にメディアを取り出し可能にする］にチェックを付けます。



9 **オーダーごとにプリント時のプリンター名を保存するかどうかを設定します。**

［プリンター選択が再プリント時にも適用される］にチェックを付けると、再プリント時に、そのオーダーが使用したプリンターが自動的に設定されます。



10 **［閉じる］をクリックします。**

設定の確定を確認する画面が表示されます。

11 **［はい］をクリックして［基本設定］画面を終了します。**

［オーダー一覧］画面に戻ります。

> **参考**
>
> ［いいえ］をクリックすると、設定を変更せずに［基本設定］画面を終了します。

以上で終了です。

フロントプリント

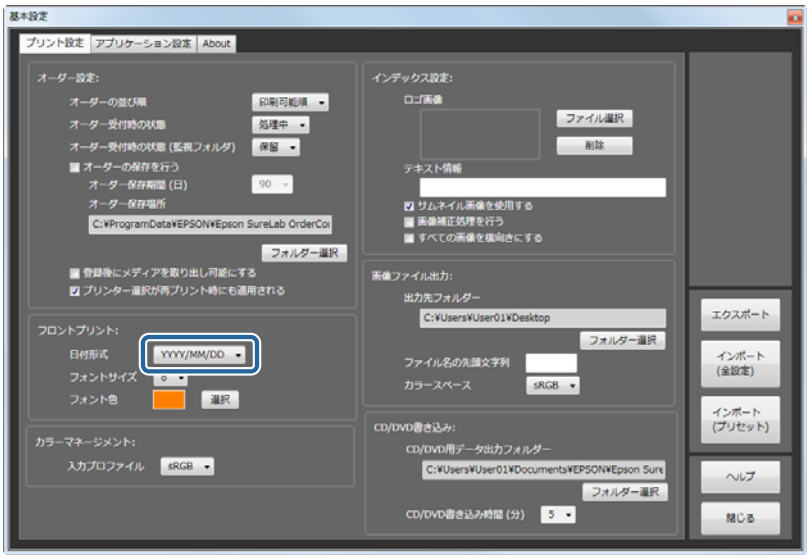
フロントプリントでプリントする日付の形式を設定します。

1 **［オーダー一覧］画面の［環境設定］をクリックし、［基本設定］－［プリント設定］をクリックします。**

［基本設定］画面が表示されます。

2 ［フロントプリント］の［日付形式］を選択します。

フロントプリントする日付の形式を選択します。



3 ［フロントプリント］の［フォントサイズ］を選択します。

フロントプリントする日付の文字サイズを選択します。

4 ［フロントプリント］の［フォント色］を選択します。

フロントプリントする日付の文字色を選択します。

5 ［閉じる］をクリックします。

設定の確定を確認する画面が表示されます。

6 ［はい］をクリックして［基本設定］画面を終了します。

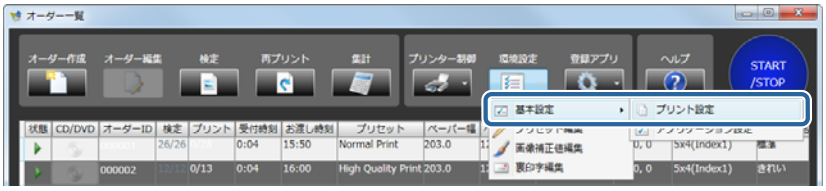
［オーダー一覧］画面に戻ります。

> **参考**
>
> ［いいえ］をクリックすると、設定を変更せずに［基本設定］画面を終了します。

カラーマネージメント

カラーマネージメントに適用する入力プロファイルの初期値を設定します。

1 ［オーダー一覧］画面の［環境設定］をクリックし、［基本設定］－［プリント設定］をクリックします。



［基本設定］画面が表示されます。

2 ［カラーマネージメント］の［入力プロファイル］を選択します。

画像にプロファイルが設定されていないときに適用する入力プロファイルを［sRGB］/［AdobeRGB］から選択します。

3 ［閉じる］をクリックします。

設定の確定を確認する画面が表示されます。

4 ［はい］をクリックして［基本設定］画面を終了します。

［オーダー一覧］画面に戻ります。

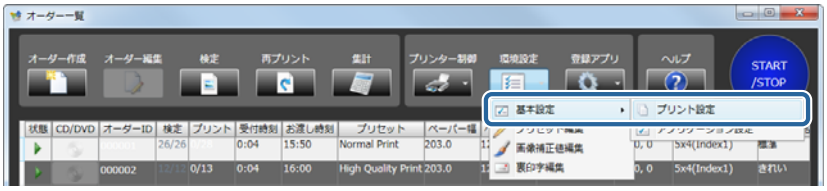
> **参考**
> ［いいえ］をクリックすると、設定を変更せずに［基本設定］画面を終了します。

以上で終了です。

インデックス設定

インデックスにプリントするロゴ画像やテキストを設定します。

1 ［オーダー一覧］画面の［環境設定］をクリックし、［基本設定］－［プリント設定］をクリックします。



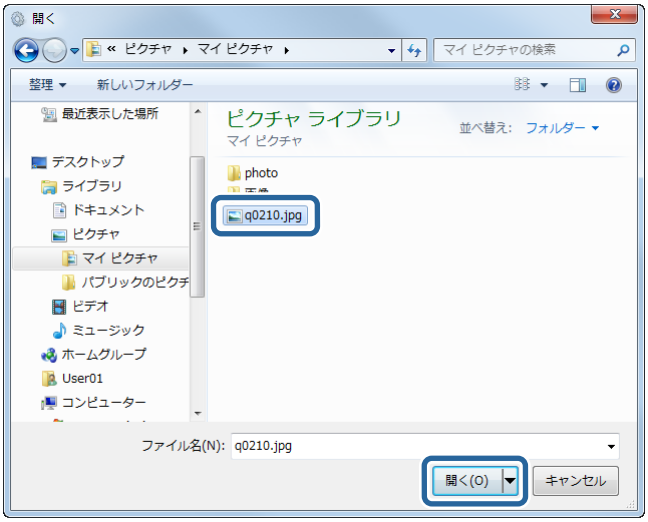
［基本設定］画面が表示されます。

2 ［インデックス設定］の［ファイル選択］をクリックします。

［開く］画面が表示されます。

3 プリントする画像ファイルを選択し、［開く］をクリックします。

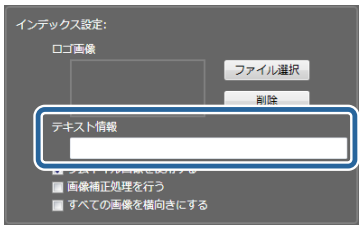
画面は、Windows 7 の場合です。



画像が指定されます。画像はインデックスの右上にプリントされます。

> **参考**
> 登録したロゴ画像は［削除］で削除できます。

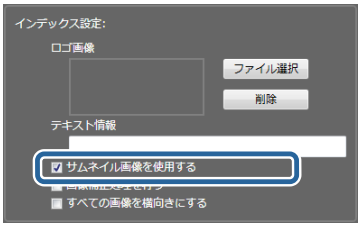
4 ［インデックス設定］の［テキスト情報］にプリントする内容を入力します。



入力したテキストはインデックスの左下にプリントされます。

5 インデックスに画像ファイルが保持しているサムネイルを使用してプリントするかどうかを設定します。

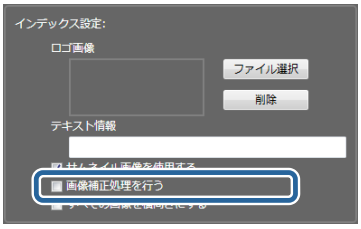
サムネイルを利用するときは、［サムネイル画像を使用する］にチェックを付けます。



> **参考**
> - 画像ファイルがサムネイルを保持していないときは、オリジナル画像でプリントされます。
> - チェックを付けないと、オリジナル画像で表示されます。
> オリジナル画像で表示すると処理速度が低下しますので、チェックを付けた設定をお勧めします。

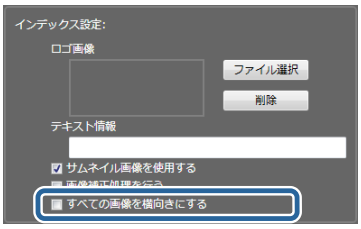
6 **インデックスに対して画像補正結果を反映するかどうかを設定します。**

画像補正結果を反映するときは、［画像補正処理を行う］にチェックを付けます。
チェックを付けないと、インデックスは補正されない画像でプリントされます。



7 **インデックスで写真の向きを揃えるかどうかを設定します。**

向きの異なる写真を含むインデックスのプリントで写真の向きをすべて横向きにするときは、［すべての画像を横向きにする］にチェックを付けます。
チェックを付けないと、インデックスはオリジナル画像の向きでプリントされます。



8 **［閉じる］をクリックします。**

設定の確定を確認する画面が表示されます。

9 **［はい］をクリックして［基本設定］画面を終了します。**

［オーダー一覧］画面に戻ります。

> **参考**
> ［いいえ］をクリックすると、設定を変更せずに［基本設定］画面を終了します。

以上で終了です。

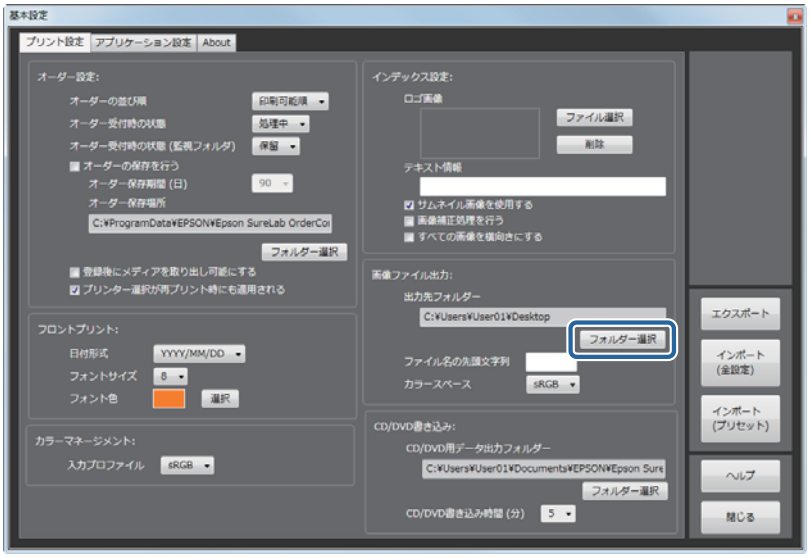
画像ファイル出力

プリンターへ送信する画像データのファイルへの保存方法を設定します。

1 **［オーダー一覧］画面の［環境設定］をクリックし、［基本設定］－［プリント設定］をクリックします。**

［基本設定］画面が表示されます。

2 ［画像ファイル出力］の［フォルダー選択］をクリックします。



［フォルダーの参照］画面が表示されます。

3 出力先フォルダーを選択し、［OK］をクリックします。

選択した出力先フォルダーの下に、オーダー ID ごとのサブフォルダーが作成されます。

4 ［ファイル名の先頭文字列］を入力します。

画像ファイル名に付ける文字列（最大 4 文字）を入力します。文字列はファイル名の先頭に固定的に付けられます。各画像データのファイル名の、下 4 桁は 0001 から追番で付番されます。

5 画像データの［カラースペース］を選択します。

［sRGB］と［Adobe RGB］のどちらかを選択します。

6 ［閉じる］をクリックします。

設定の確定を確認する画面が表示されます。

7 **［はい］をクリックして［基本設定］画面を終了します。**

［オーダー一覧］画面に戻ります。

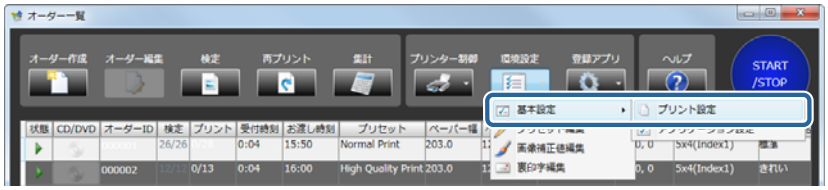
> 参考
> ［いいえ］をクリックすると、設定を変更せずに［基本設定］画面を終了します。

以上で終了です。

CD/DVD 書き込み

CD/DVD 書き込み用データの保存先や書き込みに必要な時間を設定します。

1 **［オーダー一覧］画面の［環境設定］をクリックし、［基本設定］－［プリント設定］をクリックします。**



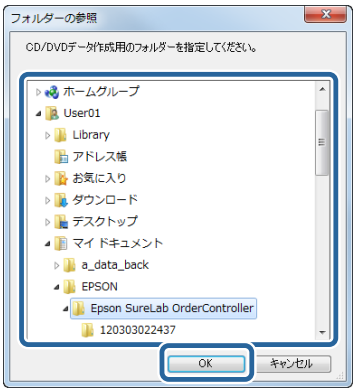
［基本設定］画面が表示されます。

2 **［CD/DVD 書き込み］の［フォルダー選択］をクリックします。**

［フォルダーの参照］画面が表示されます。

3 保存するフォルダーを選択し、［OK］をクリックします。

画面は、Windows 7 の場合です。



4 ［CD/DVD 書き込み時間］を選択します。

CD/DVD の書き込みに要する予想時間を選択します。

書き込み時間、プリント時間およびプリンター調整時間の合計で、お渡し時刻が算出されます。

5 ［閉じる］をクリックします。

設定の確定を確認する画面が表示されます。

6 ［はい］をクリックして［基本設定］画面を終了します。

［オーダー一覧］画面に戻ります。

> **参考**
>
> ［いいえ］をクリックすると、設定を変更せずに［基本設定］画面を終了します。

以上で終了です。

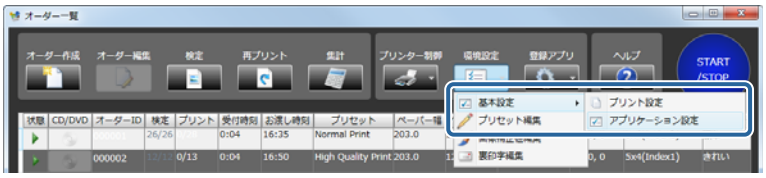
アプリケーション設定

検定方法や消費税、集計期間、使用プリンターなど使用環境の初期値を設定します。

検定方法

［画像検定］画面の表示や補正値の変化量を設定します。

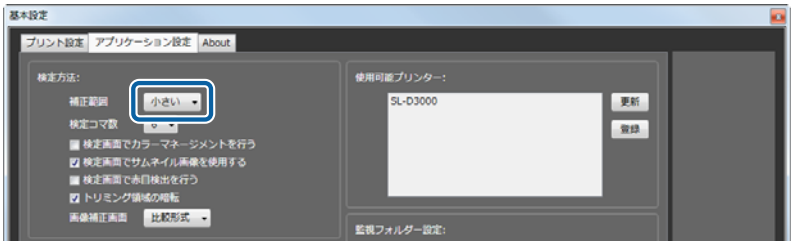
1 ［オーダー一覧］画面の［環境設定］をクリックし、［基本設定］－［アプリケーション設定］をクリックします。



［基本設定］画面が表示されます。

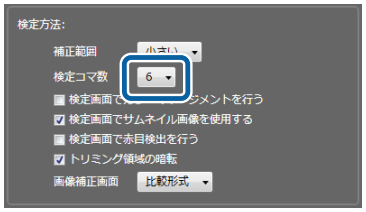
2 ［検定方法］の［補正範囲］を選択します。

色や濃度を補正する変化量を［より小さい］（微量）/［小さい］（少なめ）/［標準］（ふつう）/［大きい］（はっきり）から選択します。



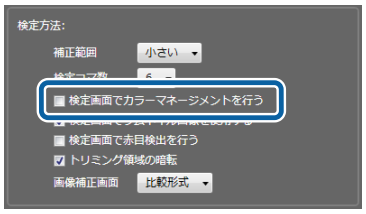
3 ［検定コマ数］を選択します。

［画像検定］画面に一度に表示するコマ数を［6 コマ］/［8 コマ］/［9 コマ］から選択します。



4 ［画像検定］画面に対してカラーマネージメント処理するかどうかを設定します。

カラーマネージメント処理をするときは、［検定画面でカラーマネージメントを行う］にチェックを付けます。
チェックを付けないと、検定画面は sRGB で処理された表示になります。

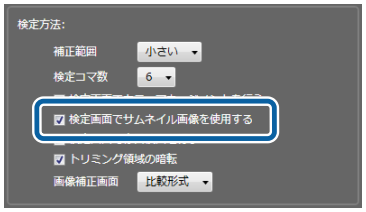


参考

- 検定画面でのカラーマネージメント処理は処理速度が低下しますので、チェックを付けない設定をお勧めします。
- ［画像補正］画面では、常にカラーマネージメント処理が反映されます。

5 ［画像検定］画面で画像ファイルが保持しているサムネイルを使用するかどうかを設定します。

サムネイルを利用するときは、［検定画面でサムネイル画像を使用する］にチェックを付けます。

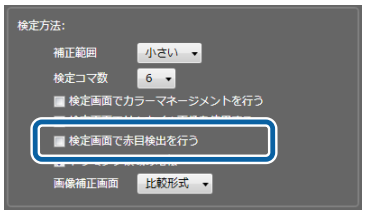


参考

- 画像ファイルがサムネイルを保持していないときは、オリジナル画像で表示されます。
- オーダーのプリセットに［自動補正］を行う［画像補正値］が設定されていると、本設定に関係なくオリジナル画像が使用されます。
- チェックを付けないと、オリジナル画像で表示されます。
  オリジナル画像で表示すると処理速度が低下しますので、チェックを付けた設定をお勧めします。

6 ［画像検定］画面で赤目検出をするかどうかを設定します。

赤目写真を自動的に検出させたいときは、［検定画面で赤目検出を行う］にチェックを付けます。

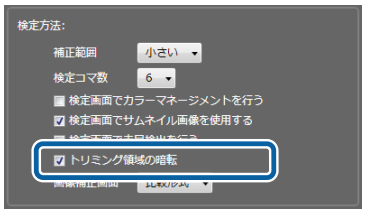


参考

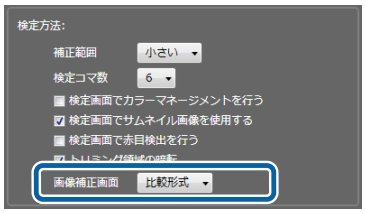
赤目を検出した写真には、［画像検定］画面で赤目検出のアイコンが表示されます。

7 ［画像検定］画面でトリミング枠の外を暗く表示するかどうかを設定します。

トリミング枠の外を暗く表示するときは、［トリミング領域の暗転］にチェックを付けます。



8 ［画像補正］画面の表示形式を［比較形式］、［拡大形式］から設定します。



［比較形式］: 元画像と補正後の画像を左右に同じ大きさで並べて表示するため、比較しながら補正できます。	［拡大形式］: 補正後の画像を元画像よりも大きく表示します。赤目補正機能はありません。その他の機能は［比較形式］と同様です。

9 ［閉じる］をクリックします。

設定の確定を確認する画面が表示されます。

10 ［はい］をクリックして［基本設定］画面を終了します。

［オーダー一覧］画面に戻ります。

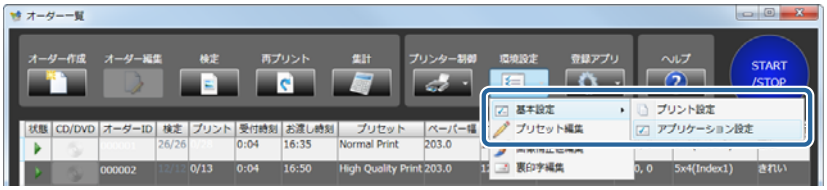
> 参考
>
> ［いいえ］をクリックすると、設定を変更せずに［基本設定］画面を終了します。

以上で終了です。

消費税

消費税の計算を設定します。

1 ［オーダー一覧］画面の［環境設定］をクリックし、［基本設定］－［アプリケーション設定］をクリックします。



［基本設定］画面が表示されます。

2 ［消費税］の［税率］を入力します。

3 ［消費税］の［種別］を選択します。

消費税の計算方法を［内税］/［外税］から選択します。

4 ［消費税］の［端数処理］を選択します。

消費税の端数処理方法を［四捨五入］/［切り捨て］/［切り上げ］から選択します。

5 **［閉じる］をクリックします。**

設定の確定を確認する画面が表示されます。

6 **［はい］をクリックして［基本設定］画面を終了します。**

［オーダー一覧］画面に戻ります。

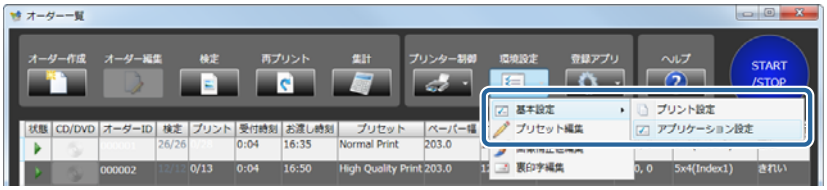
> 参考
>
> ［いいえ］をクリックすると、設定を変更せずに［基本設定］画面を終了します。

以上で終了です。

集計

［集計］画面に表示される集計期間の初期値を設定します。

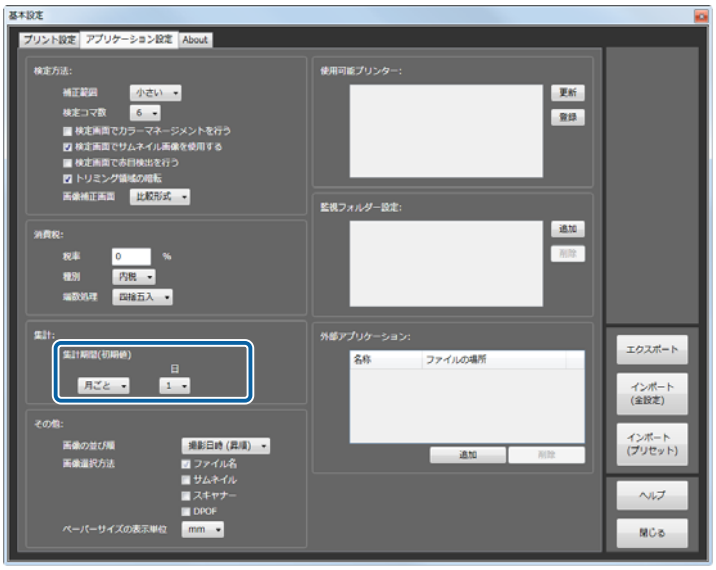
1 ［オーダー一覧］画面の［環境設定］をクリックし、［基本設定］－［アプリケーション設定］をクリックします。



［基本設定］画面が表示されます。

2 ［集計］の［集計期間（初期値）］を選択します。

期間を［日ごと］/［月ごと］/［年ごと］で選択し、開始月日を［月］と［日］で選択します。



> **参考**
> 実際に集計できる期間は、オーダー保存した期間となります。最大で 300 日の集計（オーダー保存）が可能です。

3 ［閉じる］をクリックします。

設定の確定を確認する画面が表示されます。

4 ［はい］をクリックして［基本設定］画面を終了します。

［オーダー一覧］画面に戻ります。

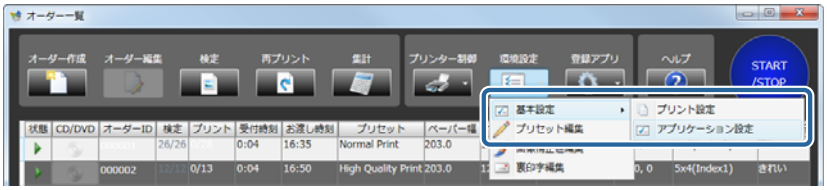
> **参考**
> ［いいえ］をクリックすると、設定を変更せずに［基本設定］画面を終了します。

以上で終了です。

その他

オーダー作成時の画像選択方法や画像を表示する画面での表示順、ペーパーサイズの表示単位を設定します。

1 ［オーダー一覧］画面の［環境設定］をクリックし、［基本設定］－［アプリケーション設定］をクリックします。



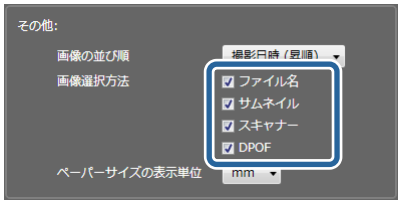
［基本設定］画面が表示されます。

2 ［画像の並び順］を選択します。

画像を表示する画面（［画像登録］/［画像検定］画面）の表示順を［撮影日時（昇順）］/［撮影日時（降順）］/［ファイル名（昇順）］/［ファイル名（降順）］から選択します。

3 ［その他］の［画像選択方法］を選択します。

オーダー作成時の画像選択方法を［ファイル名］/［サムネイル］/［スキャナー］/［DPOF］から設定します。
チェックした選択方法がオーダー作成の画像選択で利用できます。
［ファイル名］は、フォルダー内の画像をファイル名で表示します。画像表示処理がないため、［画像登録］画面の表示が速くなります。メモリーカードに保存されている画像が多いときに、全画像をプリントする場合やあらかじめファイル名がわかっている数枚をプリントする場合にお勧めです。
［サムネイル］は、フォルダー内の画像をサムネイルで表示します。画像を見ながら選択できます。
［スキャナー］は、接続している TWAIN 対応のスキャナーから読み込みます。
［DPOF］は、あらかじめ作成された DPOF ファイルを指定して画像データを読み込みます。



> **参考**
> 画像ファイルがサムネイルを保持していないときは、サムネイル画像が表示されません。

4 ［ペーパーサイズの表示単位］を選択します。

ペーパーサイズを表示する単位を［inch］/［mm］から選択します。

5 ［閉じる］をクリックします。

設定の確定を確認する画面が表示されます。

6 ［はい］をクリックして［基本設定］画面を終了します。

［オーダー一覧］画面に戻ります。

> **参考**
> ［いいえ］をクリックすると、設定を変更せずに［基本設定］画面を終了します。

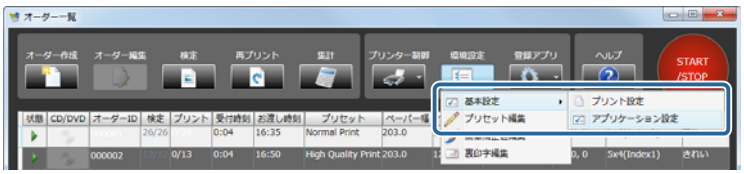
以上で終了です。

プリンター管理

現在接続しているプリンターを確認します。

1 ［START/STOP］をクリックして、プリント処理を停止します。

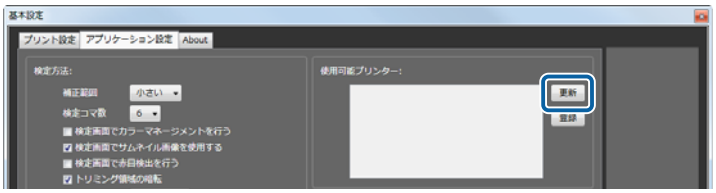
2 ［オーダー一覧］画面の［環境設定］をクリックし、［基本設定］－［アプリケーション設定］をクリックします。



［基本設定］画面が表示されます。

3 ［使用可能プリンター］の［更新］をクリックします。

プリンターの電源がオンになっていて使用可能なプリンターが表示されます。



参考

- SureLab OrderController では、プリンターの接続状態を監視していません。プリンターを追加で接続したときは、使用可能プリンターを更新してください。
- 更新することで、その時点で電源オフまたは接続されていないプリンターは表示されなくなります。表示されなくなったプリンターでプリントする予定のオーダーが登録されているときは、他のプリンターでプリントするようにオーダーを編集してください。
- 更新しても目的のプリンターが表示されないときは、プリンターを登録してください。
  ☞ 「プリンター登録」103 ページ

4 ［閉じる］をクリックします。

設定の確定を確認する画面が表示されます。

5 ［はい］をクリックして［基本設定］画面を終了します。

［オーダー一覧］画面に戻ります。

参考

［いいえ］をクリックすると、設定を変更せずに［基本設定］画面を終了します。

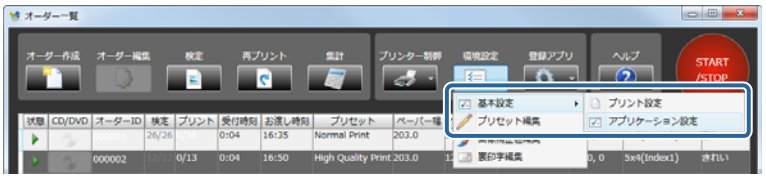
以上で終了です。

プリンター登録

プリンターを手動で登録します。

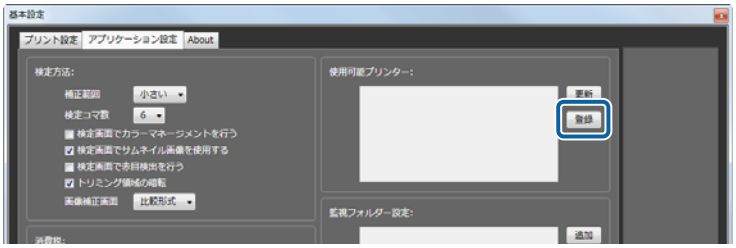
1 ［START/STOP］をクリックして、プリント処理を停止します。

2 ［オーダー一覧］画面の［環境設定］をクリックし、［基本設定］-［アプリケーション設定］をクリックします。



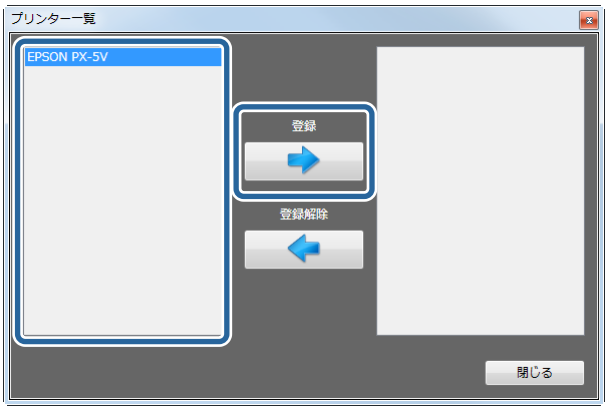
［基本設定］画面が表示されます。

3 ［使用可能プリンター］の［登録］をクリックします。



プリンターの一覧が表示されます。

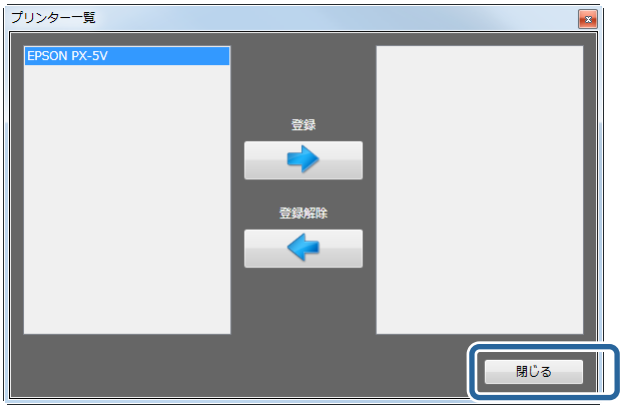
4 目的のプリンターを左側の欄で選択して［登録］をクリックします。



参考

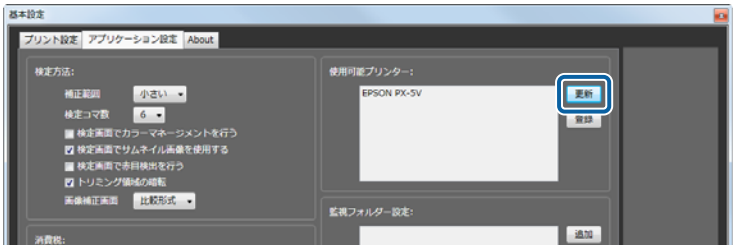
- 目的のプリンターが表示されないときは、プリンターが接続され、電源が ON になっているかを確認してください。
- 右側の欄でプリンターを選択して［登録解除］をクリックすると、使用可能なプリンターから解除されます。
- お使いのプリンターによっては、登録したオーダーが （ユーザー確認オーダー）になります。アイコンをクリックし、プリンターの設定を確認することで （処理オーダー）になります。

5 ［閉じる］をクリックします。



6 ［使用可能プリンター］の［更新］をクリックします。

プリンターが登録されます。



7 ［閉じる］をクリックします。

設定の確定を確認する画面が表示されます。

8 ［はい］をクリックして［基本設定］画面を終了します。

［オーダー一覧］画面に戻ります。

参考

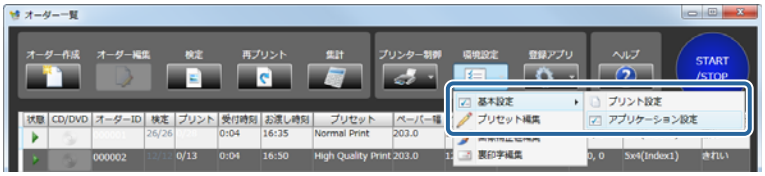
［いいえ］をクリックすると、設定を変更せずに［基本設定］画面を終了します。

以上で終了です。

監視フォルダー設定

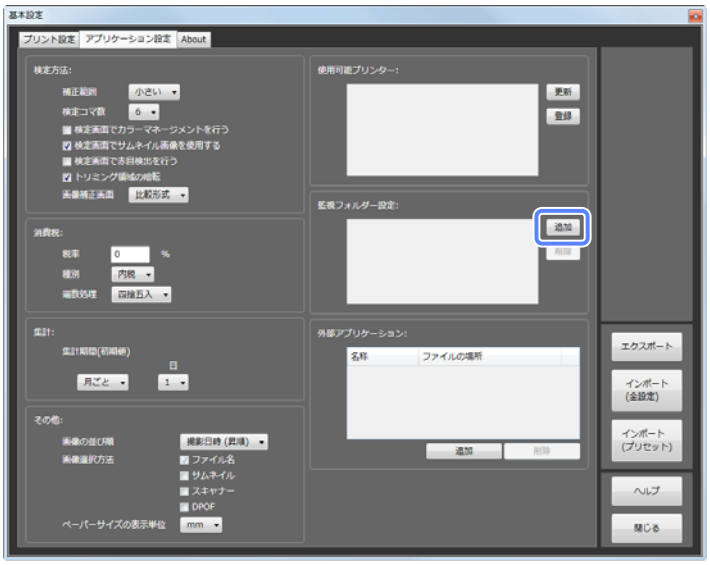
店頭端末で顧客が作成したオーダーを一時的に保存しているフォルダーを 10 件まで登録できます。

1 ［オーダー一覧］画面の［環境設定］をクリックし、［基本設定］－［アプリケーション設定］をクリックします。



［基本設定］画面が表示されます。

2 ［監視フォルダー設定］の［追加］をクリックします。

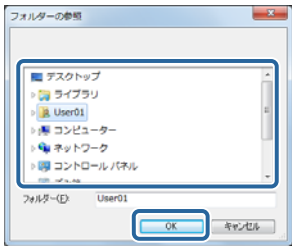


［フォルダーの参照］画面が表示されます。

> **参考**
> 監視フォルダーを削除するときは、削除するパスを選択し、［削除］をクリックします。削除を確認する画面で［はい］をクリックすると削除されます。

3 設定するフォルダーを選択し、［OK］をクリックします。

260 文字までのパスを指定できます。



監視フォルダーの一覧に追加されます。監視フォルダーは 10 件まで登録できます。

4 ［閉じる］をクリックします。

設定の確定を確認する画面が表示されます。

5 ［はい］をクリックして［基本設定］画面を終了します。

［オーダー一覧］画面に戻ります。

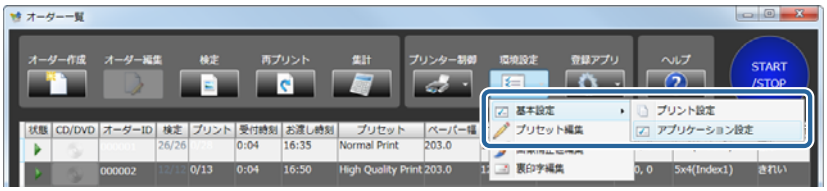
> 参考
> ［いいえ］をクリックすると、設定を変更せずに［基本設定］画面を終了します。

以上で終了です。

外部アプリケーション

SureLab OrderController から起動するアプリケーションを登録します。
登録したアプリケーションは、［オーダー一覧］画面の［登録アプリ］から起動します。CD/DVD 書き込みアプリケーションなど、連携して利用するアプリケーションを登録しておくと便利です。

1 ［オーダー一覧］画面の［環境設定］をクリックし、［基本設定］－［アプリケーション設定］をクリックします。



［基本設定］画面が表示されます。

2 ［外部アプリケーション］の［追加］をクリックします。

［追加］画面が表示されます。

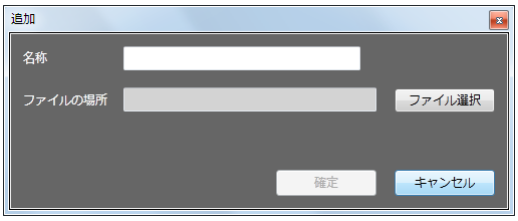
参考

アプリケーションを削除するときは、削除するアプリケーションを選択し、［削除］をクリックします。削除を確認する画面で［はい］をクリックすると削除されます。

3 ［名称］にアプリケーション名を入力し、［ファイルの場所］にアプリケーションの起動ファイルを設定します。

名称は 16 文字まで入力できます。

［ファイル選択］をクリックすると［開く］画面が表示され、ファイルを参照入力できます。



4 ［確定］をクリックします。

外部アプリケーションの一覧に追加され、［登録アプリ］から起動できるようになります。

外部アプリケーションは 10 件まで登録できます。

参考

アプリケーションの起動ファイルの場所と名前は、使用するアプリケーションの説明書を参照してください。

5 ［閉じる］をクリックします。

設定の確定を確認する画面が表示されます。

6 ［はい］をクリックして［基本設定］画面を終了します。

［オーダー一覧］画面に戻ります。

参考

［いいえ］をクリックすると、設定を変更せずに［基本設定］画面を終了します。

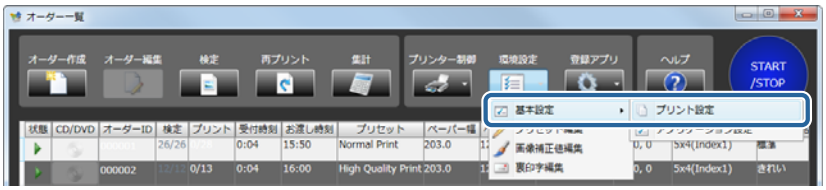
以上で終了です。

About

操作 PC のシステム情報を確認します。

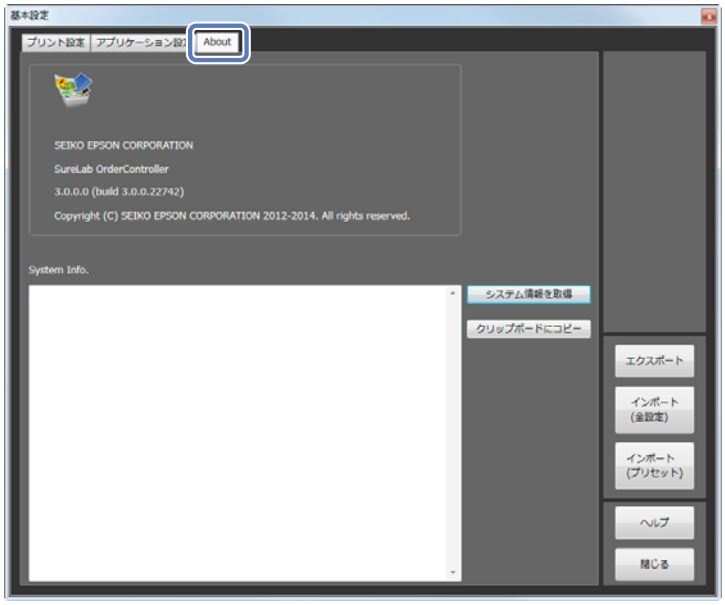
システム情報を取得

1 ［オーダー一覧］画面の［環境設定］をクリックし、［基本設定］－［プリント設定］をクリックします。



［基本設定］画面が表示されます。

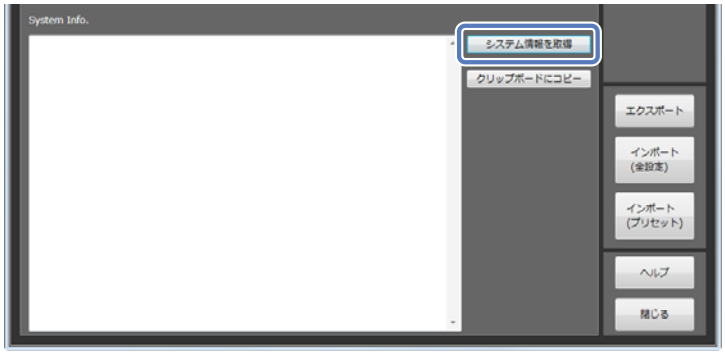
2 ［**About**］タブをクリックします。



参考

画面の上側には SureLab OrderController の情報が表示されます。

3 ［システム情報］を取得をクリックします。



操作 PC の OS、CPU などのハードウェア情報やログイン情報が表示されます。

> **参考**
> 表示されたシステム情報は、［クリップボードにコピー］をクリックしてクリップボードにコピーできます。

4 ［閉じる］をクリックします。

設定の確定を確認する画面が表示されます。

5 ［はい］をクリックして［基本設定］画面を終了します。

［オーダー一覧］画面に戻ります。

> **参考**
> ［いいえ］をクリックすると、設定を変更せずに［基本設定］画面を終了します。

以上で終了です。

インポート/エクスポート

以下のようなときに、あらかじめエクスポートしておいた設定ファイルをインポートすることにより短時間で設定を終了できます。

- SureLab OrderController をインストールしなおすとき
- 他の SureLab OrderController と設定をそろえたいとき
- 間違って書き換えた設定を元に戻したいとき

環境設定のインポート

エクスポートされている環境設定（[基本設定]、[プリセット編集]、[画像補正値編集]、[裏印字編集]）を読み込みます。
他の SureLab OrderController でエクスポートした設定ファイルもインポートできます。

1 ［オーダー一覧］画面の［環境設定］をクリックし、［基本設定］－［プリント設定］をクリックします。

［基本設定］画面が表示されます。

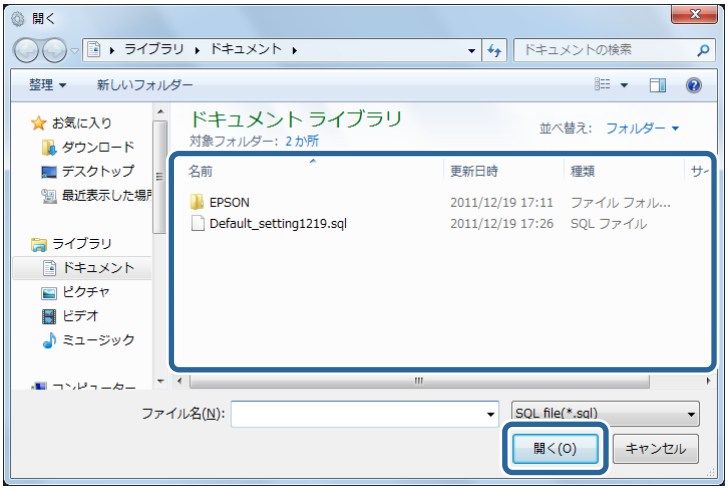
2 ［インポート（全設定）］または［インポート（プリセット）］をクリックします。

インポート（全設定）：エクスポートされている環境設定（[基本設定]、[プリセット編集]、[画像補正値編集]、[裏印字編集]）をインポートします。
インポート（プリセット）：エクスポートされている環境設定の［プリセット編集］、［画像補正値編集］、［裏印字編集］の設定をインポートします。

［開く］画面が表示されます。

3 保存されているフォルダーからエクスポートされたファイルを選択し、［開く］をクリックします。

画面は、Windows 7 の場合です。



環境設定の内容がインポートされます。

> **参考**
> インポートできるファイルは SureLab OrderController でエクスポートした SQL 形式の設定ファイルのみです。

4 ［閉じる］をクリックします。

設定の確定を確認する画面が表示されます。

5 ［はい］をクリックして［基本設定］画面を終了します。

［オーダー一覧］画面に戻ります。

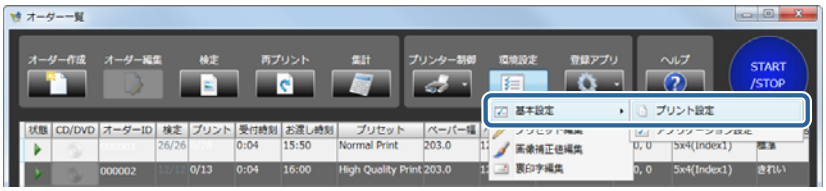
> **参考**
> ［いいえ］をクリックすると、設定を変更せずに［基本設定］画面を終了します。

以上で終了です。

環境設定のエクスポート

環境設定（[基本設定]、[プリセット編集]、[画像補正値編集]、[裏印字編集]）を書き出して保存できます。
エクスポートした設定ファイルは、他の SureLab OrderController でもインポートできます。
エクスポート先はハードディスク以外に USB メモリーなども選択できます。
ドライブの直下にはエクスポートできないため、あらかじめエクスポート用のフォルダーを作ってエクスポートしてください。

1 ［オーダー一覧］画面の［環境設定］をクリックし、［基本設定］－［プリント設定］をクリックします。



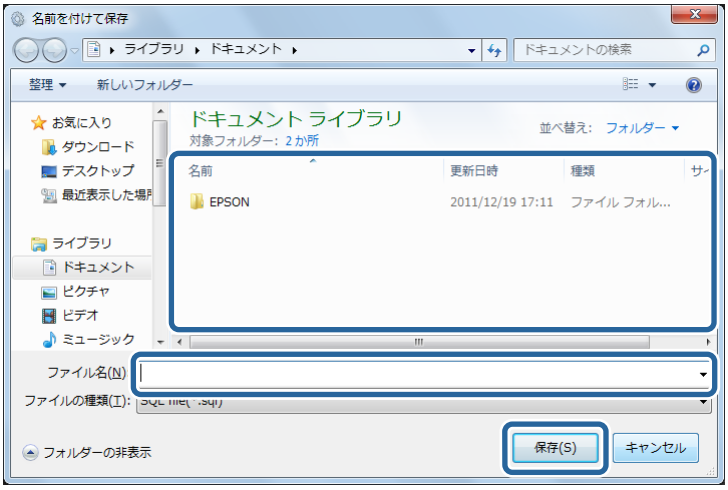
［基本設定］画面が表示されます。

2 ［エクスポート］をクリックします。

［名前を付けて保存］画面が表示されます。

3 保存するフォルダーを開き、ファイル名を入力してから［保存］をクリックします。

画面は、Windows 7 の場合です。



環境設定がエクスポートされます。

参考
独自フォーマットの形式でエクスポートされます。

4 **［閉じる］をクリックします。**

設定の確定を確認する画面が表示されます。

5 **［はい］をクリックして［基本設定］画面を終了します。**

［オーダー一覧］画面に戻ります。

参考
［いいえ］をクリックすると、設定を変更せずに［基本設定］画面を終了します。

以上で終了です。

プリセット編集

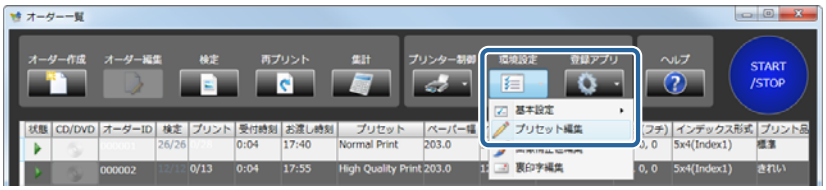
プリセットの編集

プリセットの登録、変更

プリントや検定の有無、単価計算用の価格、補正値や使用ペーパーなどのプリント条件をプリセットとして登録します。
プリセットはオーダー登録時に選択します。

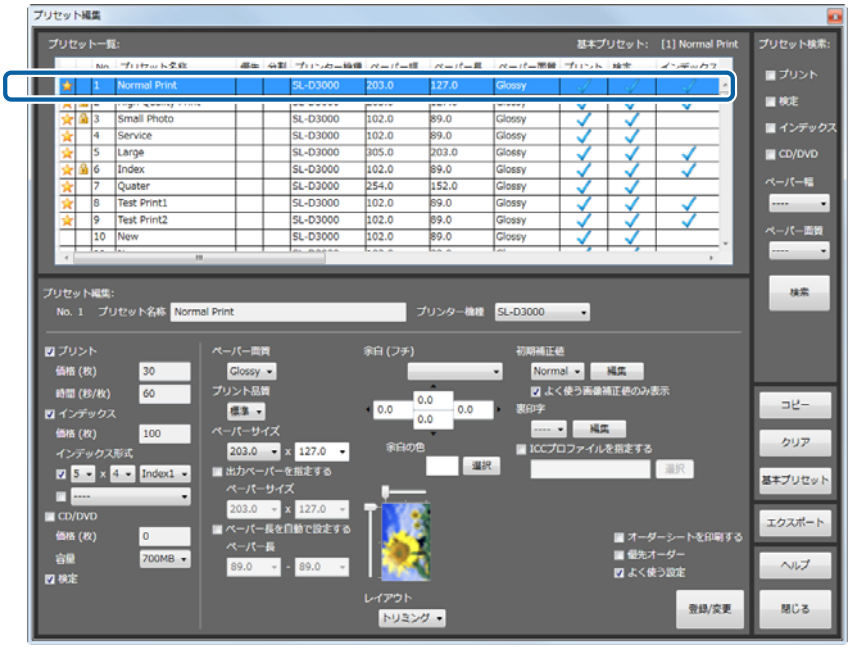
> **参考**
> プリセットの登録時には画像補正値を選択します。使用する画像補正値を登録していないときは、先に画像補正値を登録してください。
> ☞ 「画像補正値編集」130 ページ

1 ［オーダー一覧］画面の［環境設定］をクリックし、［プリセット編集］をクリックします。



［プリセット編集］画面が表示されます。

2 登録/変更するプリセット **No.**を選択します。



> **参考**
> - 右上の［プリセット検索］で、プリントや検定の有無、ペーパー幅/ペーパー面質の条件を設定し、［検索］をクリックすることでプリセットを検索できます。
> 条件に適したプリセット一覧のみが表示され、目的のプリセットが探しやすくなります。
> - 現在使用中のプリセットは左側に 🔒 が表示され、編集できません。

3 ［プリセット名称］を入力します。

32 文字まで入力できます。

4 プリントするプリンターを［プリンター機種］から選択します。

参考

お使いのプリンターによっては［プリンター機種］の右側に［プリント設定］が表示されます。［プリント設定］をクリックするとプリンタードライバーが表示されます。［ペーパー面質］、［プリント品質］、［ペーパーサイズ］はプリンタードライバーで設定します。プリンタードライバーでこの項目以外の設定を変更しても反映されないことがあります。

5 プリセットの用途を設定します。

チェックを付けるとそれぞれの機能を実行するプリセットになります。
価格や時間など有効にした機能の条件を設定します。

項目		説明
プリント		プリントする設定のプリセットを作成するときにチェックを付けます。
	価格（枚）	1 枚あたりのプリント価格を入力します。入力した数値は、集計時の売り上げ計算で単価として使用されます。
	時間（秒/枚）	1 枚あたりのプリントに必要な時間を入力します。時間は 1～300 秒で入力できます。 プリント時間は、お渡し時刻の算出に利用されます。
インデックス		インデックスプリントする設定のプリセットを作成するときにチェックを付けます。
	価格（枚）	1 枚あたりのプリント価格を入力します。入力した数値は、集計時の売り上げ計算で単価として使用されます。
	インデックス形式	上：インデックスシート 1 枚にプリントするコマ数と形式を選択します。 下：[インデックス] のみ（[プリント]、[検定] なし）のプリセットが表示されます。インデックスを別サイズでプリントするときに選択します。
CD/DVD		CD/DVD へ書き込みする設定のプリセットを作成するときにチェックを付けます。
	価格（枚）	1 枚あたりの CD/DVD 書き込み価格を入力します。入力した数値は、集計時の売り上げ計算で単価として使用されます。
	容量	書き込む CD/DVD の容量を選択します。
検定		検定する設定のプリセットを作成するときにチェックを付けます。

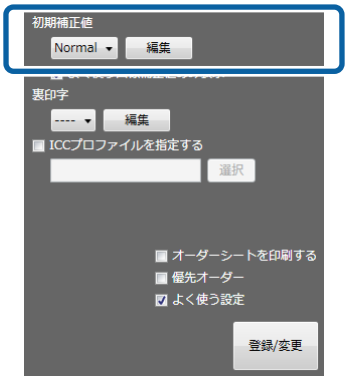
6 必要に応じて各項目を設定します。

項目	説明
ペーパー面質	使用するペーパー種に合わせて設定します。
プリント品質	プリント品質を選択します。
ペーパーサイズ	プリントする画像サイズ（ペーパー幅 x ペーパー長）を設定します。

項目	説明
出力ペーパーを指定する	画像サイズに対して異なるペーパーサイズでプリントするときにチェックを付けて、［ペーパーサイズ］を選択します。 画像サイズより小さいサイズを選択した時は、画像が切り取られます。出力ペーパーに対する画像の配置は右側のレイアウトイメージで設定できます。
ペーパー長を自動で設定する	画像をペーパー幅に合わせて印刷したいときにチェックを付けます。 ［ペーパー長］でペーパーの送り量の最大値と最小値を設定します。 ☞ 「ペーパー幅に合わせてプリント」70 ページ
余白（フチ）	プリント結果の余白量を選択します。選択肢と数値で設定できます。 ［なし］（余白 0）を選択すると、画像の縦横比とプリントサイズの縦横比が一致している場合に、画像を切り取ることなく、余白のない画像がプリントできます。 ただし、本製品の使用環境などによっては、余白が発生したり、画像の周囲が切り取られることがあります。 ［なし（はみ出しあり）］を選択すると画像を拡大して、余白が出ないようにプリントします。 数値のときは、余白量を 1mm 単位で設定できます。 ☞ 「プリセット編集画面」170 ページ
余白の色	余白の色を選択します。
レイアウトイメージ	［出力ペーパーを指定する］にチェックを付けた場合に出力ペーパーに対する画像の配置をスライドバーで設定します。
レイアウト	［トリミング］はプリント領域に余白ができないように画像を配置します。［フィット］はプリント領域に画像全てが納まるように画像を配置します。［原寸維持］は画像が持っている印刷サイズ情報に合わせて表示します。

7 ［初期補正値］で初期値として採用する補正値を選択します。

画像補正値編集で登録してある画像補正値の 1 つを選択します。

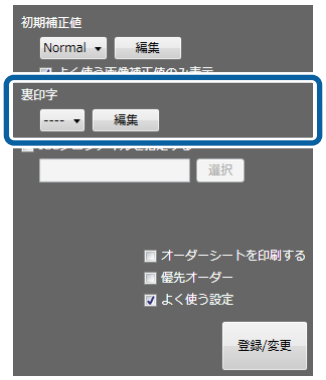


参考

- ［よく使う画像補正値のみ表示］にチェックを付けておくと、［よく使う設定］として登録されている画像補正値のみ抽出されます。
- ［編集］をクリックすると、［画像補正値編集］画面が表示され、画像補正値を編集できます。使用する画像補正値を登録していないときは、先に画像補正値を登録してください。
  ☞ 「画像補正値編集」130 ページ

8 ［裏印字］のプリント内容を設定します。

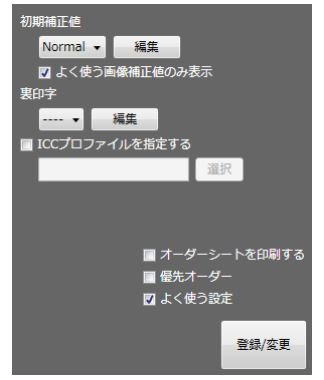
ペーパーの裏面にプリントする内容を選択します。設定した内容が、裏面にプリントされます。



参考

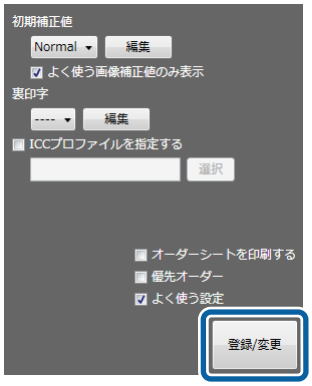
- ［編集］をクリックすると、［裏印字編集］画面が表示され、裏印字設定を編集できます。使用する裏印字設定を登録していないときは、先に裏印字設定を登録してください。
  ☞ 「裏印字編集」140 ページ
- 裏印字の機能は、SL-D3000 のみ対応しています。

9 必要に応じてその他の項目を設定します。



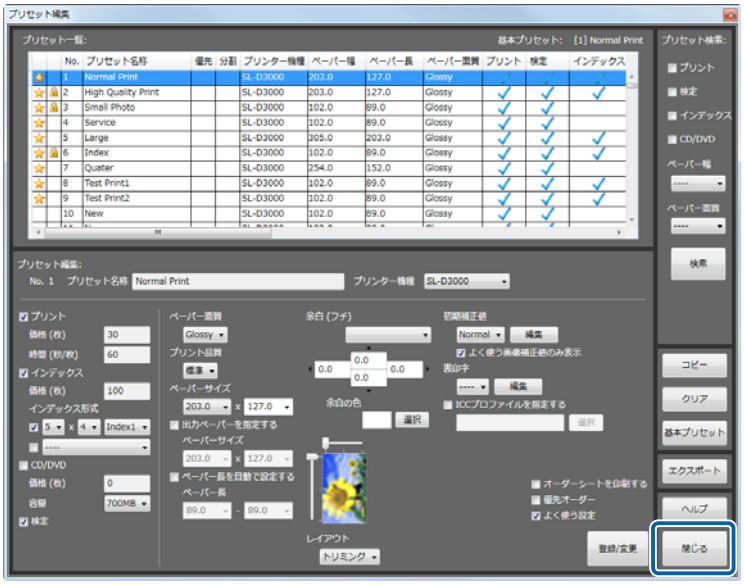
項目	説明
ICC プロファイルを指定する	ICC プロファイルを指定したいときにチェックを付けます。［選択］をクリックすると［開く］画面が表示され、ICC プロ ファイルを選択できます。
オーダーシートを印刷する	オーダー ID や受付日時などオーダー情報をプリントするときにチェックを付けます。 お使いのプリンターによっては使用できません。
優先オーダー	優先オーダーに設定するプリセットを作成するときにチェックを付けます。
よく使う設定	よく使うプリセットを作成するときにチェックを付けます。

10 必要な項目の設定が終わったら、［登録/変更］をクリックします。



選択した No.のプリセットとして登録されます。

11 ［閉じる］をクリックして［プリセット編集］画面を終了します。



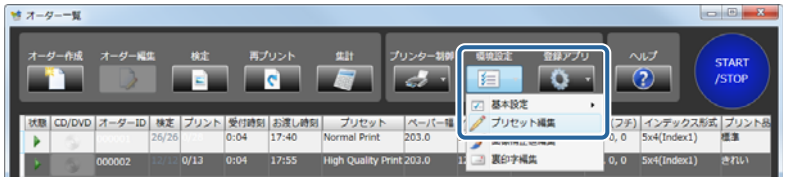
［オーダー一覧］画面に戻ります。

以上で終了です。

プリセットのクリア

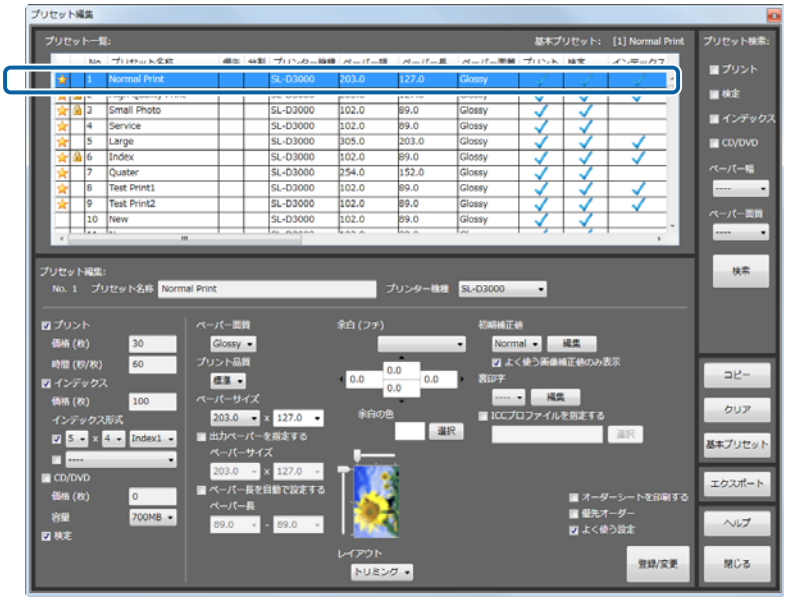
プリセットの設定内容を初期値に戻します。

1 ［オーダー一覧］画面の［環境設定］をクリックし、［プリセット編集］をクリックします。



［プリセット編集］画面が表示されます。

2 初期値に戻すプリセット **No.**を選択します。

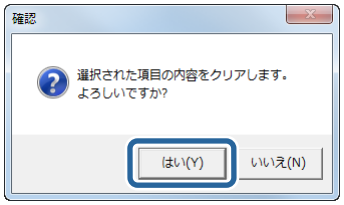


> **参考**
>
> 右上の［プリセット検索］で、プリントや検定の有無、ペーパー幅/ペーパー面質の条件を設定し、［検索］をクリックすることでプリセットを検索できます。
> 条件に適したプリセット一覧のみが表示され、目的のプリセットが探しやすくなります。

3 ［クリア］をクリックします。

［確認］画面が表示されます。

4 ［はい］をクリックします。



選択した No.のプリセットが以下の初期値に戻ります。

項目	初期値
プリントチェックボックス	あり
検定チェックボックス	あり
インデックスチェックボックス	なし
CD/DVD チェックボックス	なし
優先オーダーチェックボックス	なし
よく使うチェックボックス	なし
プリセット名称	New
ペーパーサイズ	使用プリンターから取得
出力ペーパーを指定するチェックボックス	なし
ペーパー長を自動で設定するチェックボックス	なし
レイアウト	トリミング
余白（フチ）	小
余白の色	白
ペーパー面質	使用プリンターから取得
プリント品質	標準
プリント価格	0
インデックス価格	0
CD/DVD 価格	0
プリント時間	60 秒
補正値初期値	補正値初期値
裏印字	なし
インデックス形式	5×4 コマ Index 1
CD/DVD 保存内容	元画像
CD/DVD 容量	700MB
ICC プロファイルを指定する	なし
オーダーシートを印刷するチェックボックス	なし

5 ［閉じる］をクリックして［プリセット編集］画面を終了します。

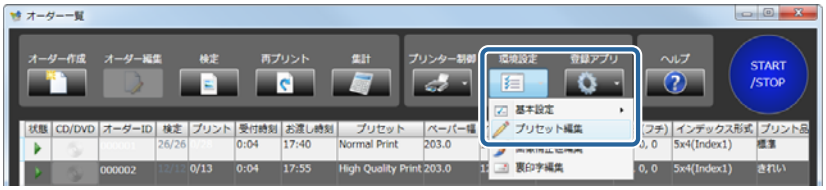
［オーダー一覧］画面に戻ります。

以上で終了です。

基本プリセットの設定

オーダー登録時の初期設定、または、プリセットが不正で実行できないとき、代わりに適用されるプリセットを選択します。

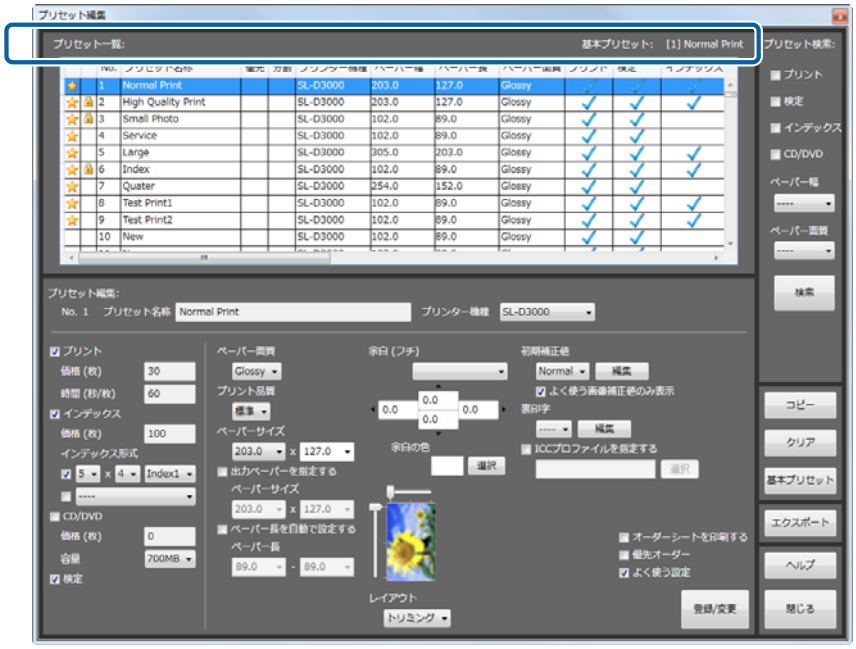
1 ［オーダー一覧］画面の［環境設定］をクリックし、［プリセット編集］をクリックします。



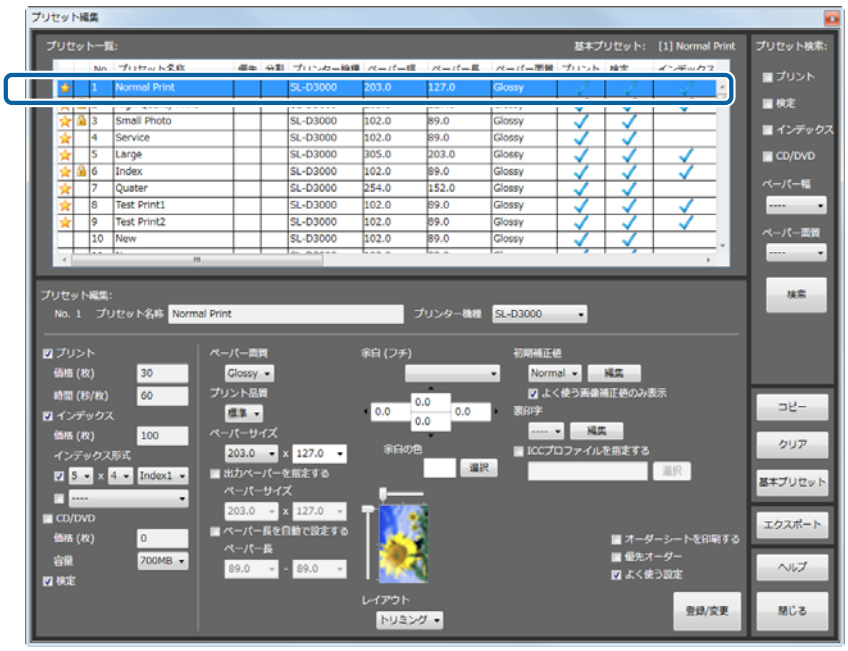
［プリセット編集］画面が表示されます。

2 現在の基本プリセットを確認します。

基本プリセットは一覧上部に表示されています。

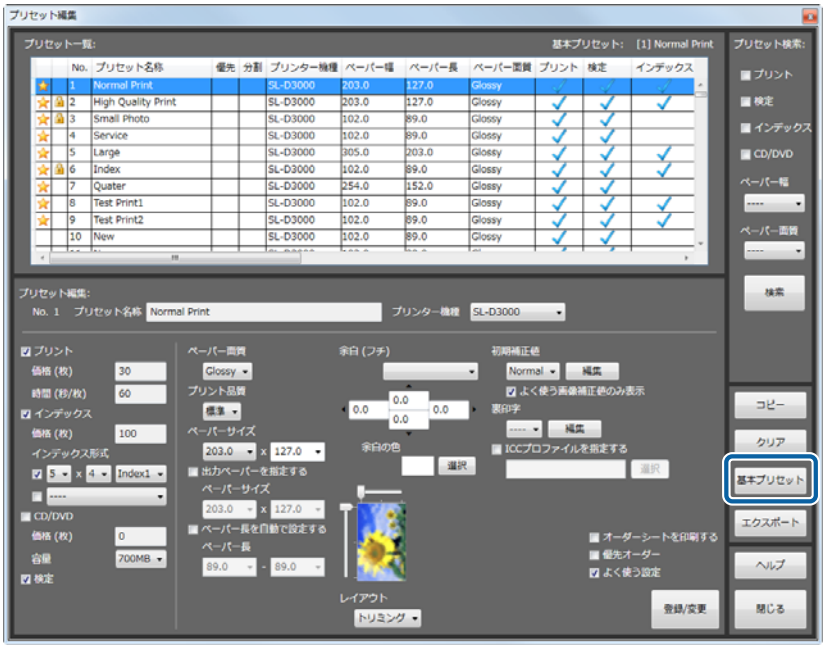


3 基本プリセットに設定するプリセット No.を選択します。



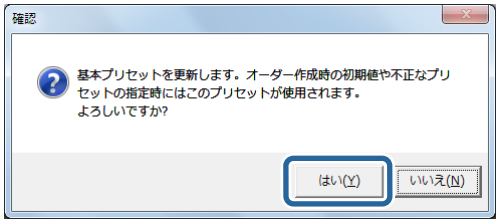
> **参考**
>
> 右上の［プリセット検索］で、プリントや検定の有無、ペーパー幅/ペーパー面質の条件を設定し、［検索］をクリックすることでプリセットを検索できます。
> 条件に適したプリセット一覧のみが表示され、目的のプリセットが探しやすくなります。

4 ［基本プリセット］をクリックします。



［確認］画面が表示されます。

5 ［はい］をクリックします。



選択した No.のプリセットが基本プリセットに設定されます。

6 ［閉じる］をクリックして［プリセット編集］画面を終了します。

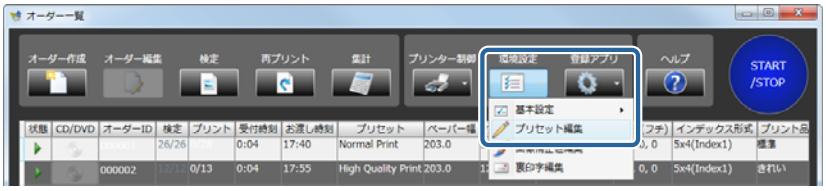
［オーダー一覧］画面に戻ります。

以上で終了です。

プリセットのコピー

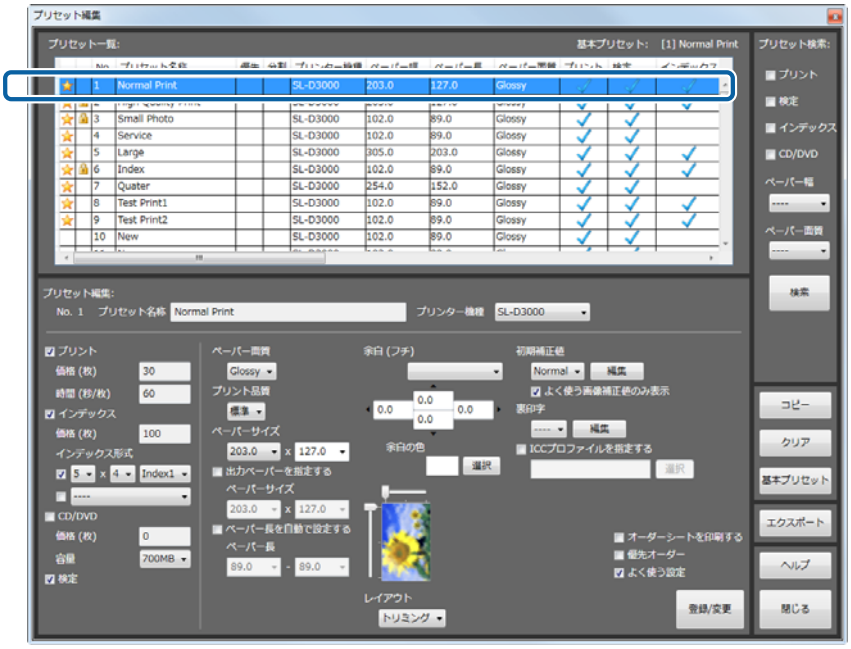
既存のプリセットを他のプリセット No.にコピーします。

1 ［オーダー一覧］画面の［環境設定］をクリックし、［プリセット編集］をクリックします。



［プリセット編集］画面が表示されます。

2 コピーする元になるプリセット **No.**を選択します。



参考

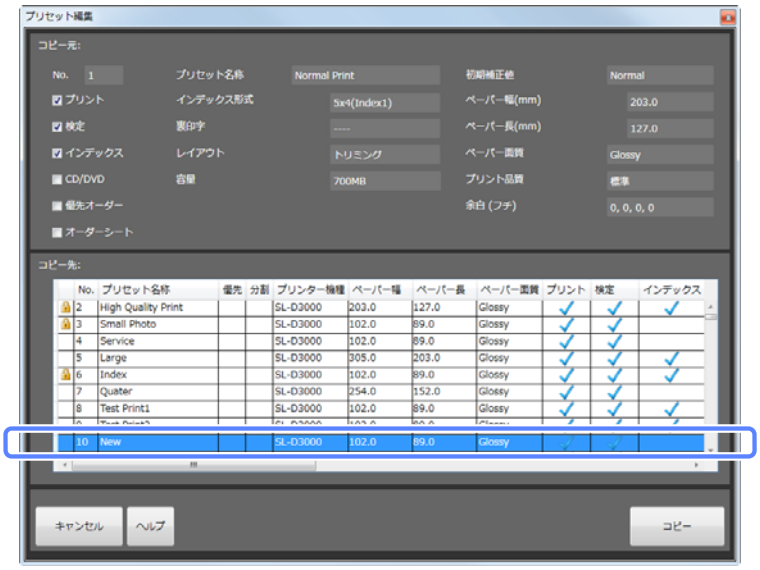
右上の［プリセット検索］で、プリントや検定の有無、ペーパー幅/ペーパー面質の条件を設定し、［検索］をクリックすることでプリセットを検索できます。
条件に適したプリセット一覧のみが表示され、目的のプリセットが探しやすくなります。

3 ［コピー］をクリックします。

コピー作業をする［プリセット編集］画面が表示されます。

4 一覧からコピー先のプリセット No.を選択します。

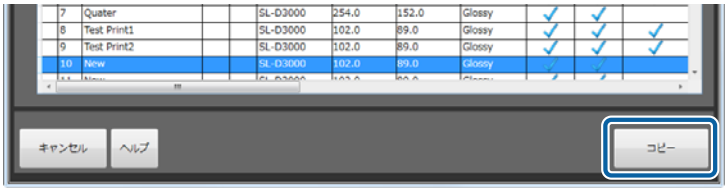
画面の上半分には、コピー元の設定内容が表示されます。



参考

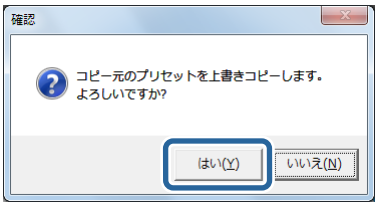
現在使用中のプリセットは左側に 🔒 が表示され、編集できません。

5 ［コピー］をクリックします。



［確認］画面が表示されます。

6 ［はい］をクリックします。



プリセットがコピーされます。必要に応じてコピー先のプリセットを変更します。

> **参考**
> ［よく使う設定］のチェック状態はコピーされません。必要に応じてチェックを付けてください。

7 ［閉じる］をクリックして［プリセット編集］画面を終了します。

［オーダー一覧］画面に戻ります。

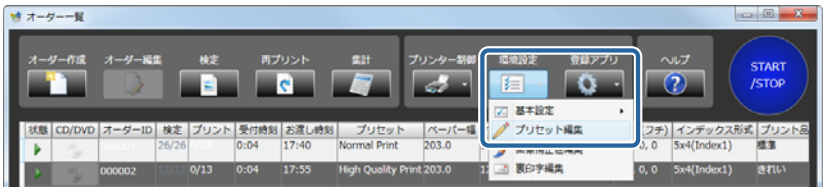
以上で終了です。

プリセットのエクスポート

プリセットの設定内容を csv 形式のファイルにエクスポートします。
EPSON PrintFactory for DPE にプリセットの設定をインポートするときに利用します。

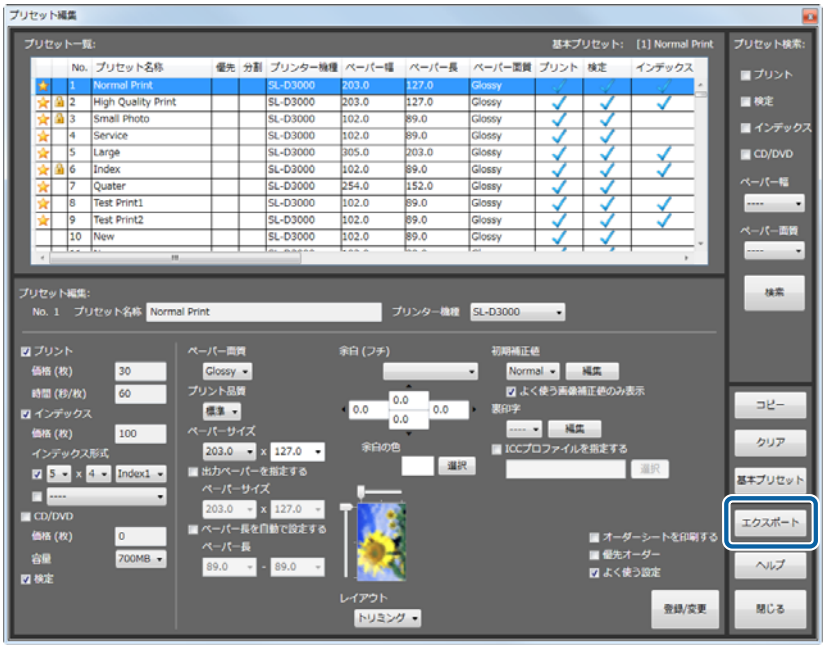
> **参考**
> ここでエクスポートしたプリセットファイルを、再度 SureLab OrderController に読み込むことはできません。［環境設定］-［基本設定］-［プリント設定］でエクスポートしたファイルは SureLab OrderController に読み込むことができます。
> 「インポート/エクスポート」110 ページ

1 ［オーダー一覧］画面の［環境設定］をクリックし、［プリセット編集］をクリックします。



［プリセット編集］画面が表示されます。

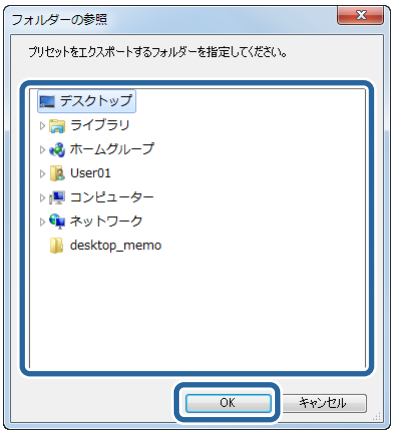
2 ［エクスポート］をクリックします。



［フォルダーの参照］画面が表示されます。

3 **保存するフォルダーを選択し、［OK］をクリックします。**

画面は、Windows 7 の場合です。



プリセットが csv 形式のファイルにエクスポートされます。
エクスポートしたファイルを、EPSON PrintFactory for DPE でインポートするファイルとして利用します。

4 **［閉じる］をクリックして［プリセット編集］画面を終了します。**

［オーダー一覧］画面に戻ります。

以上で終了です。

画像補正値編集

補正値の編集

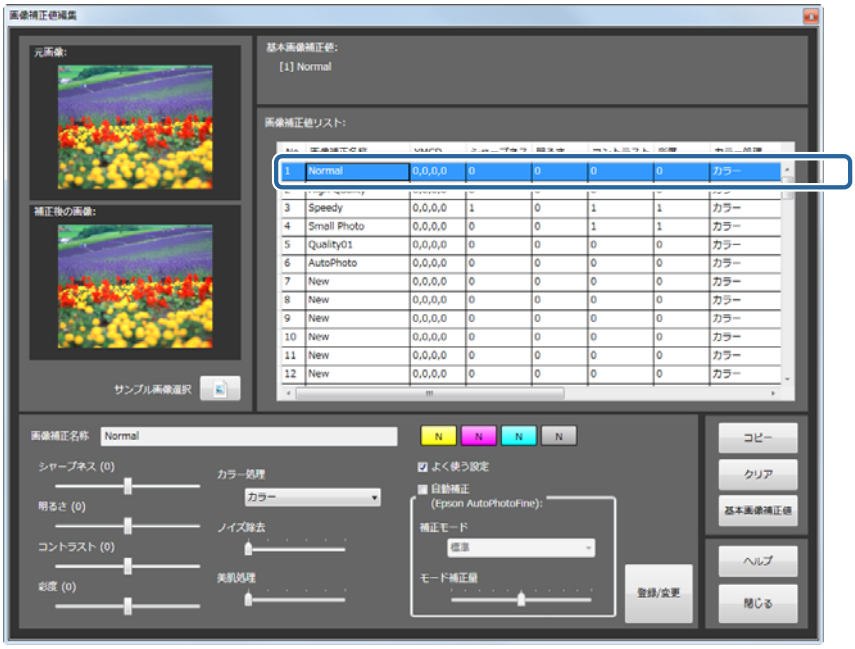
補正値の登録、変更

シャープネス/明るさ/コントラストやカラー処理、Epson AutoPhotoFine による自動補正処理など、詳細な補正の設定をまとめて登録します。画像補正値はプリセット登録時に選択します。

1 ［オーダー一覧］画面の［環境設定］をクリックし、［画像補正値編集］をクリックします。

［画像補正値編集］画面が表示されます。

2 登録/変更する画像補正値 **No.**を選択します。



3 ［画像補正値名称］を入力します。

4 色と濃度を補正します。

ボタンは、Y（イエロー）/M（マゼンダ）/C（シアン）/濃度の順です。補正量は、Y（イエロー）/M（マゼンダ）/C（シアン）が+50～-50 の範囲、濃度が+70～-70 の範囲で設定できます。補正量が 0 のときは、N と表示されます。左クリックで数値が増え、右クリックで数値が減ります。
元画像と補正後の画像を比較しながら設定します。

参考

- 補正値の変化量（[より小さい]（微量）/［小さい］（少なめ）/［標準］（ふつう）/［大きい］（はっきり））は、［環境設定］で設定できます。
  ☞ 「プリント設定」81 ページ
- 初期設定では、元画像/補正後の画像に表示されるサンプル画像が設定されていません。［サンプル画像選択］をクリックして表示される［開く］画面で使用したい画像ファイルを選択してください。

5 各項目を必要に応じて設定します。

元画像と補正後の画像を比較しながら設定します。

項目	機能
シャープネス	輪郭を強調する効果をかけます。-20～+20 で調整し、マイナスの数値にするとソフトに、プラスの数値にするとシャープになります。
明るさ	明るさを補正します。-20～+20 で調整し、マイナスの数値にすると暗く、プラスの数値にすると明るくなります。
コントラスト	明暗の差を補正します。-20～+20 で調整し、マイナスの数値にすると明暗の差を少なく、プラスの数値にすると明暗の差が大きい、はっきりした画像になります。
彩度	色の鮮やかさを補正します。-20～+20 で調整し、マイナスの数値にすると色味がなくなり、プラスの数値にすると色味が強くなります。
カラー処理	色処理を［カラー］/［モノクロ］/［セピア 1］/［セピア 2］/［モノクロ（冷黒調）］/［モノクロ（温黒調）］から選択します。
ノイズ除去	カラーノイズの軽減効果をかけます。0～5 で調整し、数値が大きいほど効果が強くなります。
美肌処理	美肌効果をかけます。0～5 で調整し、数値が大きいほど効果が強くなります。
よく使う設定	よく使う補正値を作成するときにチェックを付けます。
自動補正（Epson AutoPhotoFine）	Epson AutoPhotoFine（APF）機能を使用して、最適な色合いになるように自動的に補正します。

項目	機能
補正モード	Epson AutoPhotoFine（APF）の補正方法を被写体や撮影モードに合わせて選択します。 標準：被写体を自動判別して、好ましい色合いに補正します。 人物：人物を自動判別して、好ましい肌色に補正します。 風景：コントラスト・彩度を高めに補正するとともに、空・緑を好ましい色合いに補正します。 夕景：赤味を強めに補正するとともに、ノイズを軽減します。 夜景：写真全体を暗めに補正するとともに、ノイズを軽減します。 花：コントラストを低めに、彩度を高めに補正します。 マクロ：コントラストを高めに補正するとともに、輪郭を強調します。 スポーツ：コントラスト・彩度を高めに補正するとともに、輪郭を強調します。 逆光：逆光で暗くなっている被写体を明るく補正します。 紅葉：赤色を好ましい色合いに補正します。 記念撮影：輪郭を強調し、小さい被写体の細部を再現します。 銀塩写真調：銀塩写真に近い色合いに補正します。
モード補正量	補正量を変更します。-5～+5 で調整し、数値が小さいと補正量が少なく、数値が大きいと補正量が多くなります。

参考

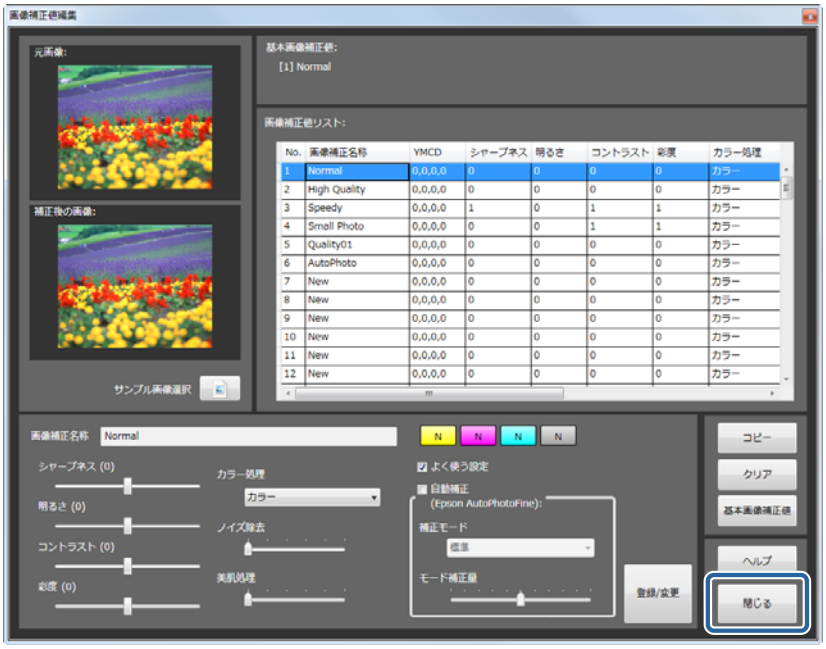
［自動補正（Epson AutoPhotoFine）］でプリントすると、以下のような結果になることがあります。そのときは［自動補正（Epson AutoPhotoFine）］を使用しないでください。

- 回転、拡大、縮小、トリミング、フチなし印刷などの画像加工や設定変更をすると、変更前後の色合いが変わる。
- 写真のピントが合っていない部分では、グラデーション（階調）が滑らかに出ない。

6 必要な項目の設定が終わったら［登録/変更］をクリックします。

選択した No.の画像補正値が登録されます。

7 ［閉じる］をクリックして［画像補正値編集］画面を終了します。



［オーダー一覧］画面に戻ります。

以上で終了です。

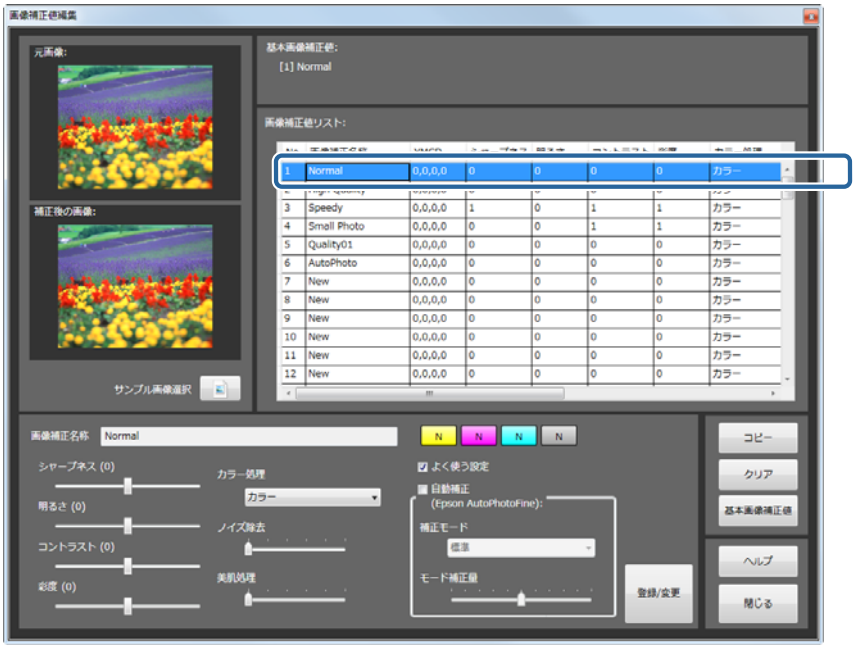
補正値のクリア

画像補正値の設定内容を初期値に戻します。

1 ［オーダー一覧］画面の［環境設定］をクリックし、［画像補正値編集］をクリックします。

［画像補正値編集］画面が表示されます。

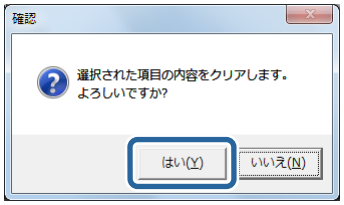
2 初期値に戻す画像補正値 **No.**を選択します。



3 ［クリア］をクリックします。

［確認］画面が表示されます。

4 ［はい］をクリックします。



選択した No.の画像補正値が以下の初期値に戻ります。

項目	初期値
補正値名称	New
YMCD	±0
シャープネス	±0
明るさ	±0
コントラスト	±0
彩度	±0
カラー処理	カラー
ノイズ除去レベル	0
美肌処理レベル	0
自動補正	なし
補正モード	標準
モード補正量	0

5 ［閉じる］をクリックして［画像補正値編集］画面を終了します。

［オーダー一覧］画面に戻ります。

以上で終了です。

基本画像補正値の設定

プリセット登録時の初期設定、または、画像補正値が不正で実行できないときに代わりに適用される画像補正値を選択します。

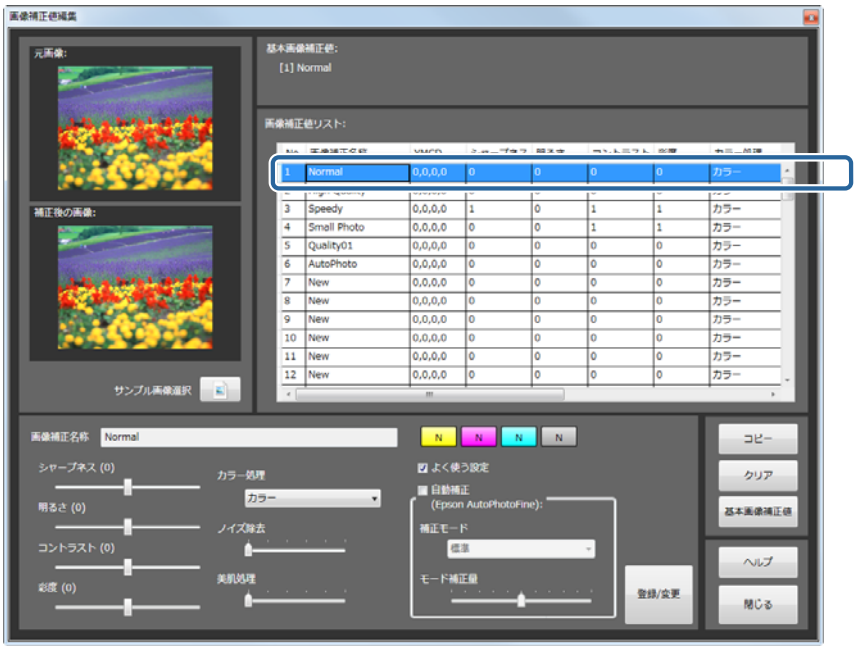
1 ［オーダー一覧］画面の［環境設定］をクリックし、［画像補正値編集］をクリックします。

［画像補正値編集］画面が表示されます。

2 現在の基本画像補正値を確認します。

基本画像補正値は一覧上部に表示されています。

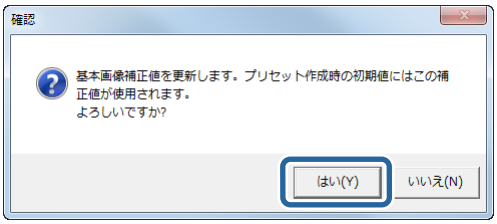
3 基本画像補正値に設定する画像補正値 **No.**を選択します。



4 ［基本画像補正値］をクリックします。

［確認］画面が表示されます。

5 ［はい］をクリックします。



選択した No.の画像補正値が基本画像補正値に設定されます。

6 ［閉じる］をクリックして［画像補正値編集］画面を終了します。

［オーダー一覧］画面に戻ります。

以上で終了です。

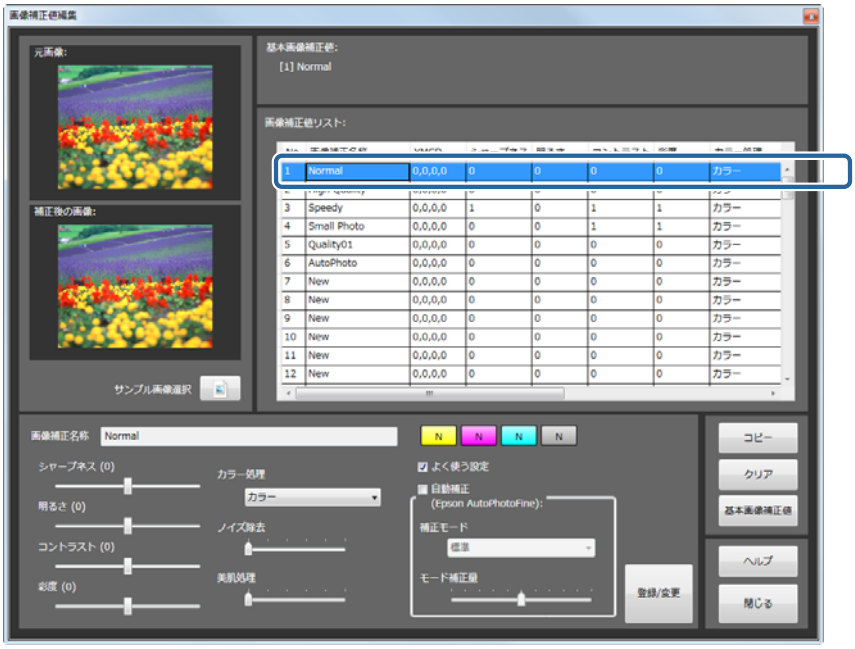
補正値のコピー

既存の画像補正値を他の画像補正値 No.にコピーします。

1 ［オーダー一覧］画面の［環境設定］をクリックし、［画像補正値編集］をクリックします。

［画像補正値編集］画面が表示されます。

2 コピーする元になる画像補正値 **No.**を選択します。



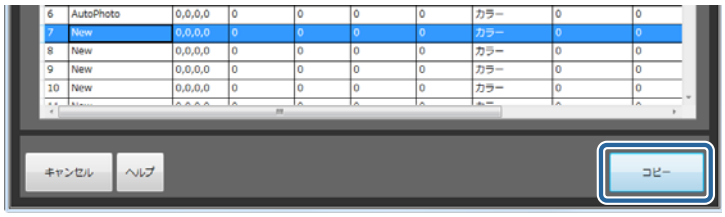
3 ［コピー］をクリックします。

コピー作業をする［画像補正値編集］画面が表示されます。

4 一覧からコピー先の画像補正値 No.を選択します。

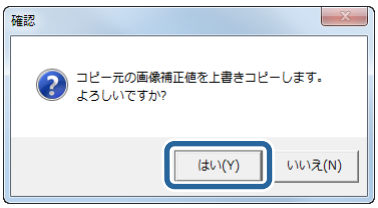
画面の上部分には、コピー元の設定内容が表示されます。

5 ［コピー］をクリックします。



［確認］画面が表示されます。

6 ［はい］をクリックします。



画像補正値がコピーされます。必要に応じてコピー先の画像補正値を変更します。

7 ［閉じる］をクリックして［画像補正値編集］画面を終了します。

［オーダー一覧］画面に戻ります。

以上で終了です。

裏印字編集

裏印字の登録、変更

裏印字のプリント内容を登録します。
印字内容の組み合わせや順番を登録できますので、商品によって使い分けることができます。
登録した組み合わせはプリセット編集でそれぞれ選択して使います。

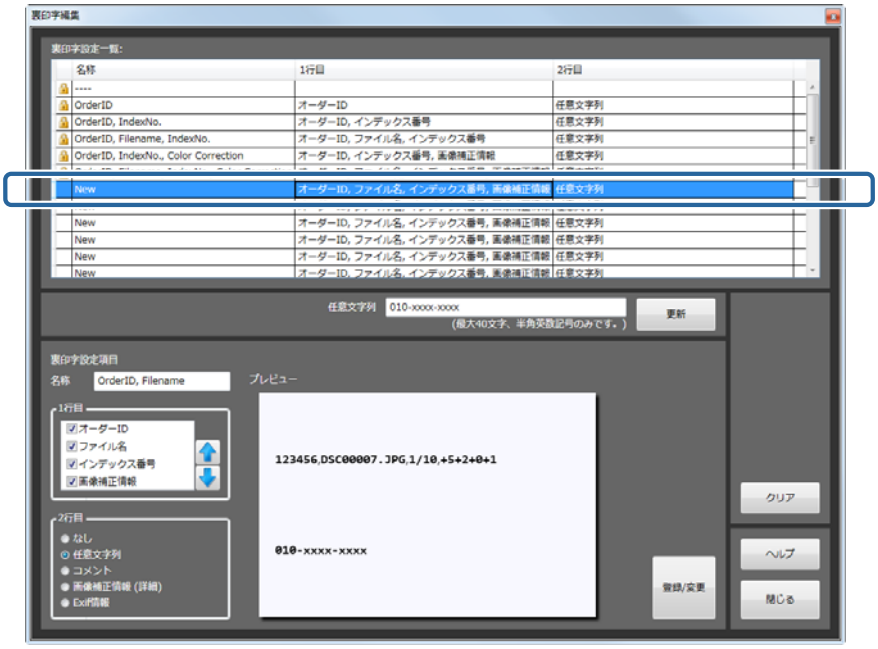
参考
- 裏印字の機能は、SL-D3000 のみ対応しています。
- 裏印字は 40 桁まで印字可能です。
- 裏印字で印字できる文字種は 1 種類のみです。

1 ［オーダー一覧］画面の［環境設定］をクリックし、［裏印字編集］をクリックします。

［裏印字編集］画面が表示されます。

参考
［裏印字編集］画面は、［プリセット編集］画面で裏印字の［編集］をクリックしたときにも表示されます。

2 登録/変更する裏印字設定を選択します。



参考
初期設定で登録済みの裏印字設定は左側に 🔒 が表示され、編集できません。

3 裏印字の［名称］を入力します。

32 文字まで入力できます。

4 1 行目にプリントする内容を選択します。

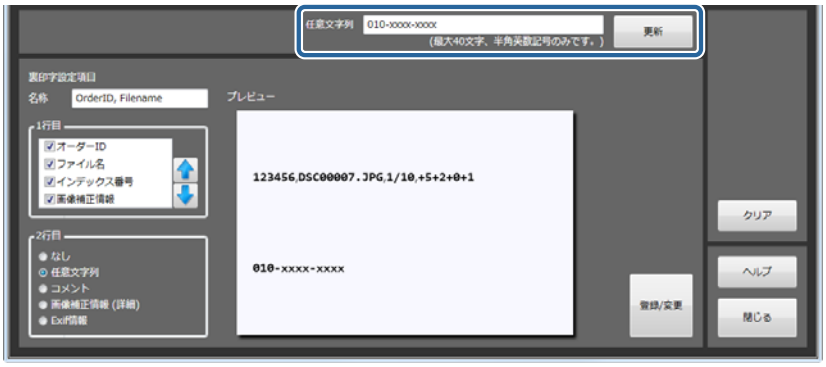
プリント順は ⬆ ⬇ で変更できます。
プリントイメージはプレビューで確認できます。

> **参考**
> ［インデックス番号］は、「検定順に番号を振った数/全コマ数」です。

5 2 行目にプリントする内容を選択します。

> **参考**
> ［コメント］は、オーダー登録時の［コメント］で入力した内容です。

6 2 行目に任意文字列を選択したときは、［任意文字列］を入力し、［更新］をクリックします。



7 必要な項目の設定が終わったら、［登録/変更］をクリックします。

選択した裏印字設定として登録されます。

> **参考**
> ［クリア］をクリックすると、選択した裏印字設定の登録した内容が削除されます。

8 ［閉じる］をクリックして［裏印字編集］画面を終了します。

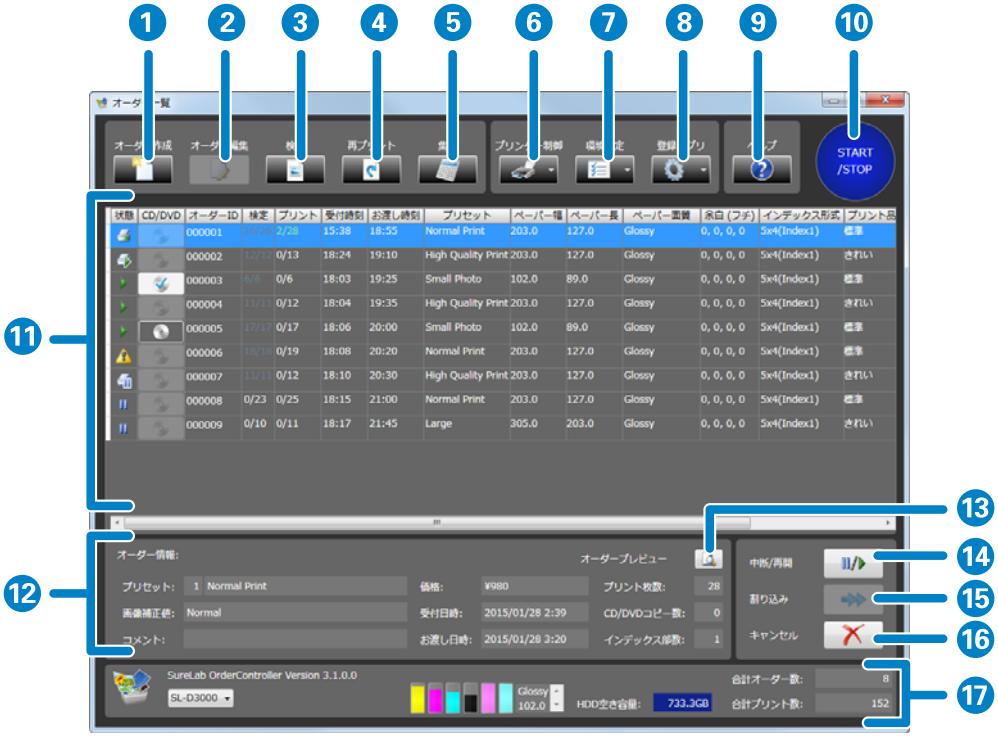
［オーダー一覧］画面に戻ります。

以上で終了です。

操作画面の構成

オーダー一覧画面

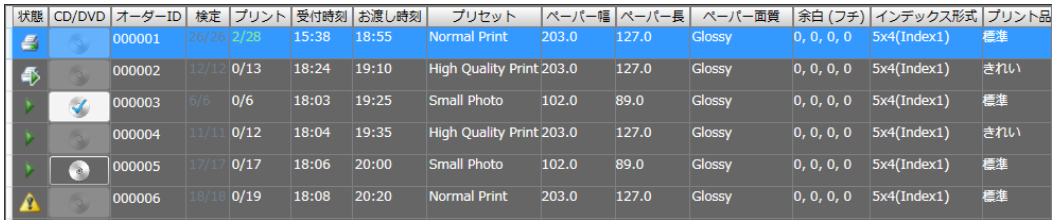
各機能を呼び出すボタンとプリント待ちのオーダーの一覧を表示します。



機能		説明
1	オーダー作成	オーダーを作成します。画像の選択やプリント条件を設定します。 ☞ 「オーダーの作成」17 ページ
2	オーダー編集	登録されているオーダーを編集します。画像の削除やプリント条件を変更します。 （保留オーダー）のオーダーを選択しているときのみ有効です。 ☞ 「オーダーの編集」24 ページ
3	検定	プリント前に画像を確認し、色や濃度を補正できます。 ☞ 「検定」28 ページ
4	再プリント	プリント済みオーダー一覧を表示し、再プリントするオーダーを選択します。 ☞ 「再プリント」58 ページ
5	集計	プリント条件や枚数、売り上げなどを集計します。 ☞ 「集計」66 ページ
6	プリンター制御	SL-D3000 の場合：メンテナンスユーティリティの各機能（［始業点検］/［終業点検］/［プリンター情報］/［設定/保守］）を起動します。 SL-D3000 以外の場合：［プリンター情報］または［設定/保守］をクリックするとプリンタードライバーが表示されます。

機能		説明	
7	環境設定	SureLab OrderController の動作環境を設定します。	
		基本設定	［プリント設定］または［アプリケーション設定］を選択します。 ［プリント設定］では、オーダーの処理方法やインデックス設定など、オーダー作成時のプリント環境を設定します。 ［アプリケーション設定］では、検定方法や消費税、集計期間、使用プリンターなど SureLab OrderController の使用環境の初期値を設定します。 ☞ 「プリント設定画面」164 ページ ☞ 「アプリケーション設定画面」167 ページ
		プリセット編集	プリントや検定の有無、単価計算用の価格、補正値や使用ペーパーなどのプリント条件をプリセットとして登録します。 ☞ 「プリセット編集画面」170 ページ
		画像補正値編集	シャープネス/明るさ/コントラスト/彩度やカラー処理、Epson AutoPhotoFine による自動補正処理など、画像補正値を編集して、まとめて登録します。 ☞ 「画像補正値編集画面」175 ページ
		裏印字編集	裏印字の 1 行目/2 行目のプリント内容を登録します。 裏印字の機能は、SL-D3000 のみ対応しています。 ☞ 「裏印字編集画面」178 ページ
8	登録アプリ	登録されている別アプリケーションを起動します。 アプリケーションは、［環境設定］で登録できます。 ☞ 「外部アプリケーション」106 ページ	
9	ヘルプ	ヘルプが表示されます。	
10	START/STOP	プリント処理を中断/再開します。	
11	オーダー一覧	登録されているオーダーが一覧で表示されます。上段のオーダーが優先されて自動的にプリントされます。保留オーダーがプリント対象になるとプリントは中断されます。各ステータスの説明は、次の表を参照してください。	
12	オーダー情報	選択したオーダーの情報が表示されます。	
13	オーダープレビュー	選択したオーダーに登録された画像とプリント枚数を確認できます。	
14	中断/再開	下記のように、選択したオーダーの状態により変化する内容が異なります。 • プリント中オーダー ➡ プリント中断中オーダー • プリント中断中オーダー（他のオーダーのプリントが行われていないとき） ➡ プリント中オーダー • プリント中断中オーダー（他のオーダーのプリントが行われているとき） ➡ プリント再開待ちオーダー • プリント再開待ちオーダー ➡ プリント中断中オーダー • 処理オーダー ➡ 保留オーダー • 保留オーダー ➡ 処理オーダー プリント中オーダーをプリント中断中オーダーにした後、他のオーダーを選択して［割り込み］をクリックすると、他のオーダーのプリントが即座に開始されます。	
15	割り込み	選択したオーダーを割り込みオーダーに設定し、プリント順を一番上に移動します。プリント中のオーダーのプリントが完了した時点で、割り込んだオーダーのプリントが開始されます。	
16	キャンセル	選択したオーダーを削除します。プリント中のオーダーをキャンセルするとプリントも中断されます。	
17	システム情報	現在のオーダー数やプリント枚数、HDD 空き容量、プルダウンで選択したプリンターのインク残量とペーパー面質とペーパー残量が表示されます。	

それぞれのオーダーに表示される項目は、以下を参照してください。



状態	CD/DVD	オーダーID	検定	プリント	受付時刻	お渡し時刻	プリセット	ペーパー幅	ペーパー長	ペーパー面質	余白 (フチ)	インデックス形式	プリント品
		000001	26/26	2/28	15:38	18:55	Normal Print	203.0	127.0	Glossy	0, 0, 0, 0	5x4(Index1)	標準
		000002	12/12	0/13	18:24	19:10	High Quality Print	203.0	127.0	Glossy	0, 0, 0, 0	5x4(Index1)	きれい
		000003	6/6	0/6	18:03	19:25	Small Photo	102.0	89.0	Glossy	0, 0, 0, 0	5x4(Index1)	標準
		000004	11/11	0/12	18:04	19:35	High Quality Print	203.0	127.0	Glossy	0, 0, 0, 0	5x4(Index1)	きれい
		000005	17/17	0/17	18:06	20:00	Small Photo	102.0	89.0	Glossy	0, 0, 0, 0	5x4(Index1)	標準
		000006	18/18	0/19	18:08	20:20	Normal Print	203.0	127.0	Glossy	0, 0, 0, 0	5x4(Index1)	標準

<table>
<tr><th>項目</th><th colspan="3">説明</th></tr>
<tr><td rowspan="8">状態</td><td colspan="3">オーダーの状態を表示します。</td></tr>
<tr><td></td><td>（処理）</td><td>処理中です。プリントや検定をできる状態です。アイコンをクリックすると保留オーダーになります。</td></tr>
<tr><td></td><td>（保留）</td><td>処理が保留されています。プリントや検定をできません。アイコンをクリックすると処理オーダーになります。</td></tr>
<tr><td></td><td>（プリント中）</td><td>プリント中です。</td></tr>
<tr><td></td><td>（プリント中断中）</td><td>プリントを中断中です。［中断/再開］をクリックするとプリントが再開されます。</td></tr>
<tr><td></td><td>（プリント再開待ち）</td><td>プリントの再開を待っています。他のオーダーのプリントが終了すると自動的にプリントが再開されます。</td></tr>
<tr><td></td><td>（ユーザー確認）</td><td>プリンター状態の確認が必要な状態です。お使いのプリンターによっては表示されます。アイコンをクリックするとプリンターにセットされている用紙やインクが適切かどうかを確認する画面が表示されます。内容を確認し［はい］をクリックすると処理オーダーになります。［いいえ］をクリックすると保留オーダーになり、さらに保留オーダーのアイコンをクリックするとユーザー確認オーダーになります。</td></tr>
<tr><td></td><td>（処理準備中）</td><td>サブオーダーにインデックスを持つオーダーは、検定終了までインデックスは生成できないため、メインオーダーの検定が終了するまでは処理準備中オーダーとなります。処理準備中オーダーではキャンセル以外の操作はできません。</td></tr>
<tr><td></td><td>（プリンター待ち）</td><td>プリンターが停止中、またはペーパーの設定がプリンターと異なっているためプリントできません。プリンターの選択が［Auto］の場合、ペーパー設定がプリンターと異なっているとプリントできません。</td></tr>
<tr><td></td><td>（エラー）</td><td>破損した画像データが登録された、またはプリンターにエラーが発生しています。［キャンセル］をクリックしてオーダーをプリント済にした後、SureLab OrderController を終了してください。</td></tr>
<tr><td>CD/DVD
（メディア書き込みボタン）</td><td colspan="3">CD/DVD 書き込み用のデータを生成します。</td></tr>
<tr><td>オーダー ID</td><td colspan="3">オーダー登録時に入力したオーダー名称が表示されます。
オーダー ID を入力していないときは、6 桁の連番で付番された ID が表示されます。
割り込みオーダーは緑色、分割されたサブオーダーはメインオーダーの［オーダー ID］の前にブランクが入って表示されます。</td></tr>
<tr><td>検定</td><td colspan="3">検定の処理状態が「検定済みのコマ数/全コマ数」の数値で表示されます。</td></tr>
<tr><td>プリント</td><td colspan="3">プリントの処理状態が「プリント済みの枚数/全枚数」の数値で表示されます。</td></tr>
<tr><td>受付時刻</td><td colspan="3">オーダーが登録された時間が表示されます。</td></tr>
</table>

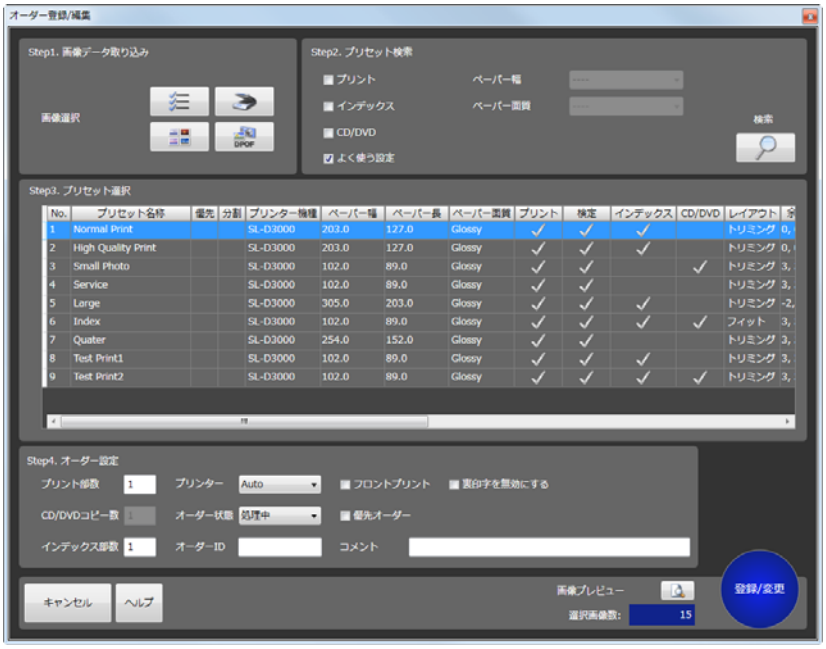
項目	説明
お渡し時刻	算出された仕上がり予定時間が表示されます。
プリセット	オーダー登録時に選択したプリセット名が表示されます。
ペーパー幅	プリントするペーパー幅が表示されます。プリセットの［出力ペーパーを指定する］が設定されているときは（　）内に出力ペーパーの幅が表示されます。
ペーパー長	プリントするペーパー長が表示されます。プリセットの［出力ペーパーを指定する］が設定されているときは（　）内に出力ペーパーの長さが表示されます。
ペーパー面質	プリントするペーパー面質が表示されます。
余白（フチ）	プリセットで指定されている余白の設定が表示されます。
インデックス形式	プリセットで指定されているインデックス形式の設定が表示されます。
プリント品質	プリセットで指定されているプリント品質の設定が表示されます。
裏印字を無効にする	［裏印字を無効にする］に設定されているオーダーにチェックが付きます。
プリンター	プリントするプリンターが表示されます。

参考

オーダー ID は、オーダー登録時に入力できますが、オーダー ID を入力せずにオーダーを登録したときは、自動的にオーダーを生成した順に 6 桁の連番が付番されます。

オーダー登録/編集画面

オーダー登録時は、画像を選択してプリントする条件を設定します。
オーダー編集時は、画像の確認とプリント条件を変更できます。
画面上の Step1～Step4 の順に設定します。



機能		説明
Step 1. 画像データ取り込み		画像データを選択します。 初期設定では［ファイル名］のみ表示されています。［環境設定］の設定により［ファイル名］/［サムネイル］/［スキャナー］/［DPOF］が表示されます。
	ファイル名	フォルダー内の画像をファイル名で選択する［画像選択］画面が表示されます。 ☞ 「画像選択画面（ファイル名/サムネイル）」149 ページ
	サムネイル	フォルダー内の画像をサムネイルで選択する［画像選択］画面が表示されます。 ☞ 「画像選択画面（ファイル名/サムネイル）」149 ページ
	スキャナー	接続している TWAIN 対応のスキャナー選択画面が表示され、画像をスキャンできます。
	DPOF	DPOF ファイルを読み込む［開く］画面を表示します。目的の DPOF ファイルを選択します。
Step 2. プリセット検索		登録されているプリセットを検索するときに設定します。 Step3 のプリセット一覧に検索されたプリセットだけが表示されます。
	プリント	プリントする設定になっているプリセットを検索するときにチェックを付けます。
	インデックス	インデックスプリントする設定になっているプリセットを検索するときにチェックを付けます。
	CD/DVD	CD/DVD へ書き込みする設定になっているプリセットを検索するときにチェックを付けます。
	よく使う設定	よく使う設定になっているプリセットを検索するときにチェックを付けます。
	ペーパー幅	使用するペーパー幅でプリセットを検索するときに選択します。
	ペーパー面質	使用するペーパー面質でプリセットを検索するときに選択します。
	検索	プリセットを検索します。条件に合うプリセットがプリセット一覧に表示されます。

機能		説明	
Step 3. プリセット選択		プリセットを選択します。	
	プリセット一覧	プリセットが表示されます。一覧からオーダーに採用するプリセットを選択します。 項目名をクリックすると、昇順/降順に並べ替えられます。	
Step 4. オーダー設定		オーダーを設定します。	
	プリント部数	プリントする部数を 1～999 の範囲で入力します。 写真ごとに枚数が設定されているときは、「＊」が表示されます。	
	CD/DVD コピー数	CD/DVD のコピー数を 1～999 の範囲で入力します。	
	インデックス部数	プリントするインデックスプリントの部数を 1～999 の範囲で入力します。	
	プリンター	プリントするプリンターを選択します。プリセットと異なるペーパーにプリントしたいときは、プリンター名を指定してください。［Auto］ではプリセットで指定されたペーパーに交換するまでプリントしません。プリントせずにプリント用に加工された画像データのみを保存する場合は、［ファイルへ出力］を選択します。画像データは、オーダーに登録されているデータ形式に関係なく JPEG データとして保存されます。データ保存の設定は［環境設定］の［基本設定］で行います。 ☞ 「プリント設定画面」164 ページ	
	オーダー状態	オーダー登録時の処理方法を［保留］/［処理中］から選択します。	
		処理中	処理オーダーになり、そのまま検定やプリント処理に進みます。
		保留	保留オーダーになり、処理は停止します。あとで確認する必要があるときは［保留］に設定します。
	オーダー ID	必要に応じてオーダーの名称を変更します。 英数字 12 文字以内で変更できます。 オーダー ID を入力しないときは、6 桁の連番が自動的に付番されます。	
	フロントプリント	画像上に日付をプリントします。 フロントプリントする日付の形式は、環境設定で変更できます。 ☞ 「プリント設定画面」164 ページ	
	優先オーダー	現在プリント中のオーダーの次にプリントされるオーダーとして登録されます。	
	コメント	覚え書きなどのコメントを入力します。256 文字まで入力できます。	
	裏印字を無効にする	プリセットで設定されている裏印字の設定を無効にします。	
キャンセル		オーダー登録/編集をキャンセルして、画面を閉じます。	
ヘルプ		ヘルプが表示されます。	
画像プレビュー		プレビュー画面が表示されます。	
選択画像数		［画像選択］で選択した画像数が表示されます。	
登録/変更		オーダーを登録して画面を閉じます。	

画像選択画面（ファイル名/サムネイル）

プリントする画像を選択、確認する画面です。オーダー作成またはオーダー編集をする［オーダー登録/編集］の［画像選択］から［ファイル名］（ ）または［サムネイル］（ ）をクリックして表示させます。

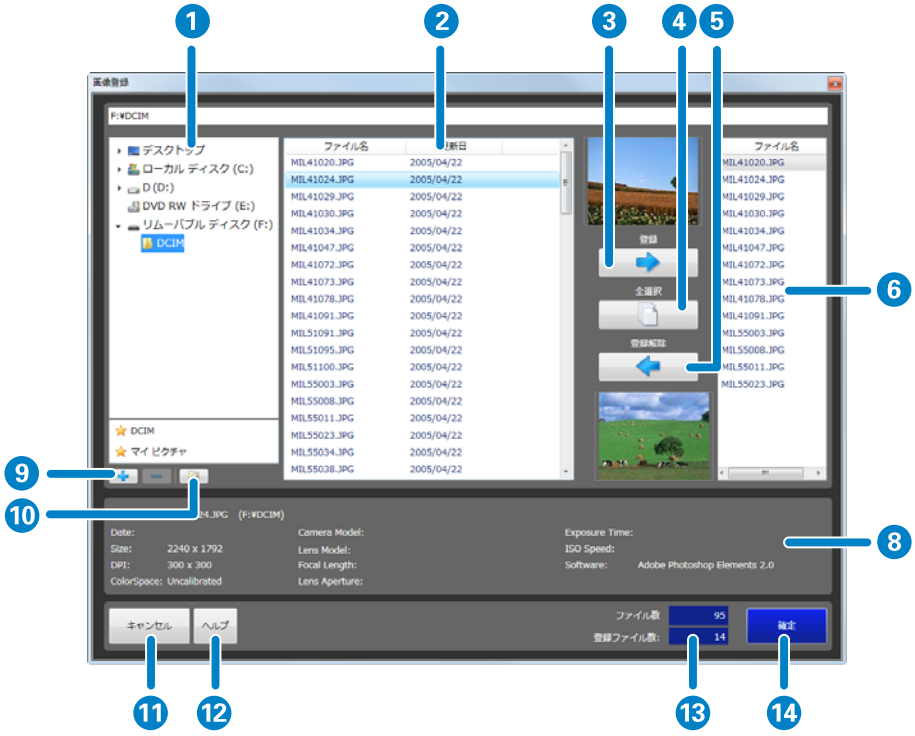
参考

画像の選択方法は［環境設定］の設定により異なり、［ファイル名］/［サムネイル］/［スキャナー］/［DPOF］のうち、有効に設定されている機能が利用可能です。メディアから画像を選択するときは、［ファイル名］/［サムネイル］を利用してください。初期設定は［ファイル名］で選択できる状態になっています。

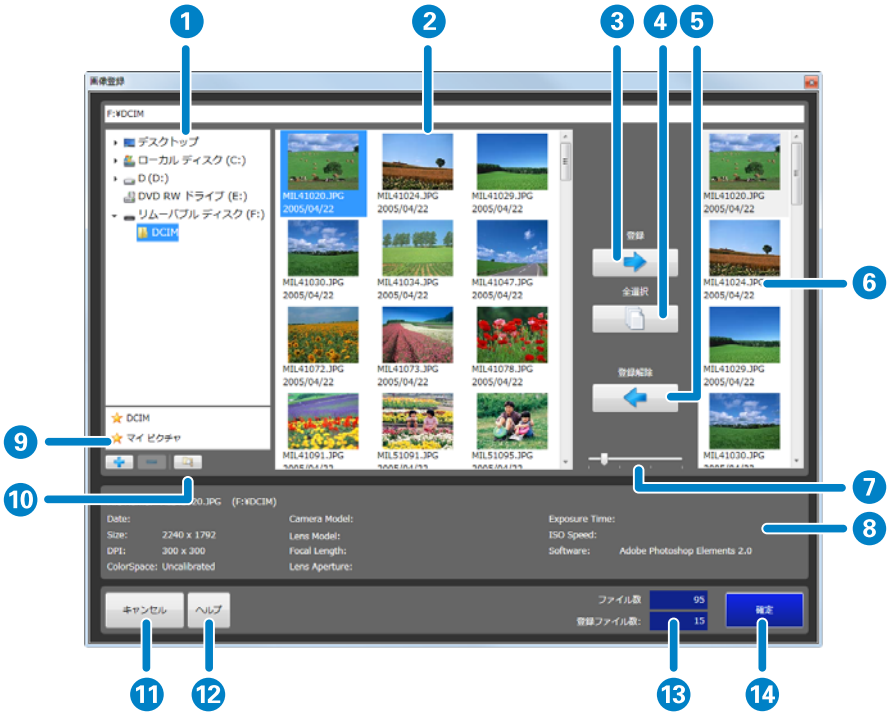
☞ 「その他」100 ページ

各ファイルをダブルクリックすると、別画面で画像が表示されます。

［ファイル名］で表示する画面：



［サムネイル］で表示する画面：



機能		説明
1	フォルダーの一覧	オーダー登録時のみ表示されるエリアで、操作 PC のドライブ、フォルダーがツリー形式で表示されます。オーダー編集時には表示されません。ネットワークドライブには対応していません。
2	画像一覧	選択したフォルダー内の画像ファイル名と撮影日時が一覧で表示されます。
3	登録	画像一覧で選択した画像をプリント画像として右側のバスケットエリアに追加します。
4	全選択	画像一覧の全画像を選択します。
5	登録解除	選択した画像をバスケットエリアから削除します。
6	バスケットエリア	設定中のオーダーでプリントする画像とファイル名が表示されます。
7	スライダーバー	画像一覧エリアのサムネイル画像の表示サイズを拡大、縮小できます。
8	画像情報エリア	選択している画像の Exif 情報が表示されます。オーダー登録時は、画像の保存先のパスも表示されます。
9	クイックアクセス	良く使うフォルダーを 10 箇所まで登録できます。一覧は ＋ / － で追加/削除できます。
10	階層表示	選択されたフォルダーの画像を、サブフォルダーも含めすべて表示します。
11	キャンセル	画像登録をキャンセルして画面を閉じます。
12	ヘルプ	ヘルプが表示されます。
13	登録ファイル数	バスケットエリアに登録した画像数が表示されます。
14	確定	画像登録を確定して画面を閉じます。

参考

画像の表示順は、［環境設定］-［基本設定］の［アプリケーション設定］タブの［その他］-［画像の並び順］で設定できます。

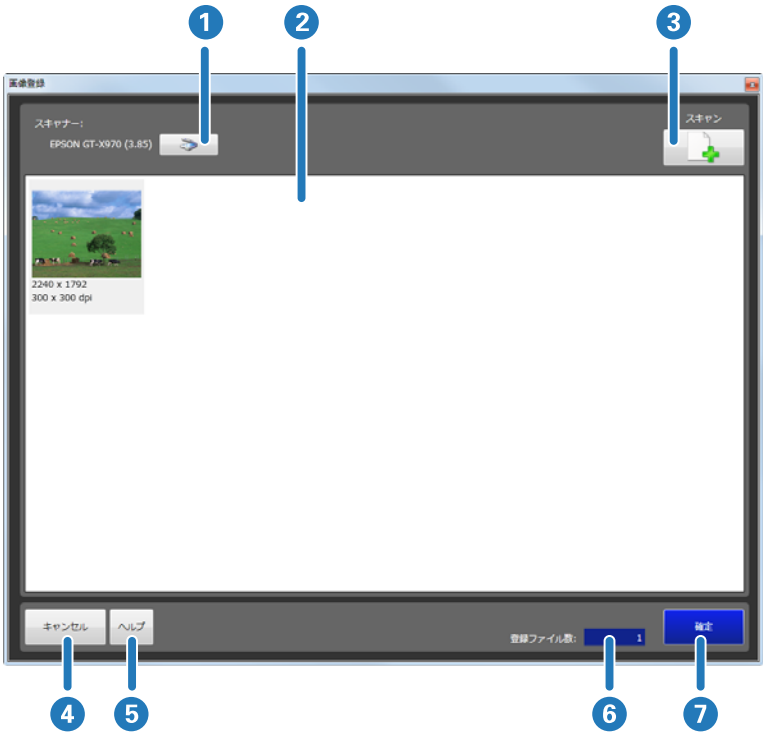
☞ 「その他」100 ページ

画像選択画面（スキャナー）

プリントする画像をスキャナーで読み込み、確認する画面です。オーダー作成をする［オーダー登録/編集］の［画像選択］から［スキャナー］（ ）をクリックして表示させます。

参考

- 画像の選択方法は［環境設定］の設定により異なり、［ファイル名］/［サムネイル］/［スキャナー］/［DPOF］のうち、有効に設定されている機能が利用可能です。スキャナーで読み込むときは、［スキャナー］を利用してください。
  「その他」100 ページ
- あらかじめ使用するスキャナーの TWAIN ドライバーをインストールして、スキャナーが使用できる状態にしてください。



機能		説明
1	スキャナー	スキャナーを選択する画面が表示され、スキャナーを設定できます。
2	画像一覧	スキャナーで読み込んだ画像と解像度が一覧で表示されます。
3	スキャン	TWAIN ドライバーを起動し、画像をスキャンします。
4	キャンセル	画像登録をキャンセルして画面を閉じます。
5	ヘルプ	ヘルプが表示されます。
6	登録ファイル数	オーダーに登録した画像数が表示されます。
7	確定	画像登録を確定して画面を閉じます。

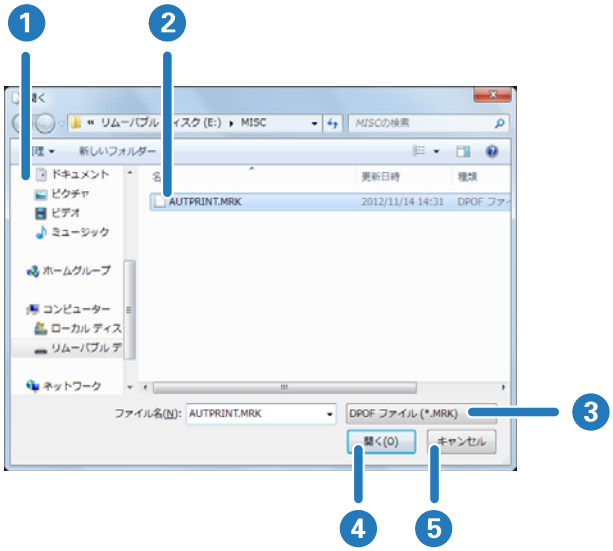
開く画面（DPOF）

プリントする画像の DPOF ファイルを開く画面です。オーダー作成をする［オーダー登録/編集］の［画像選択］から［DPOF］（ ）をクリックして表示させます。

参考

画像の選択方法は［環境設定］の設定により異なり、［ファイル名］/［サムネイル］/［スキャナー］/［DPOF］のうち、有効に設定されている機能が利用可能です。DPOF データを読み込むときは、［DPOF］を利用してください。

「その他」100 ページ

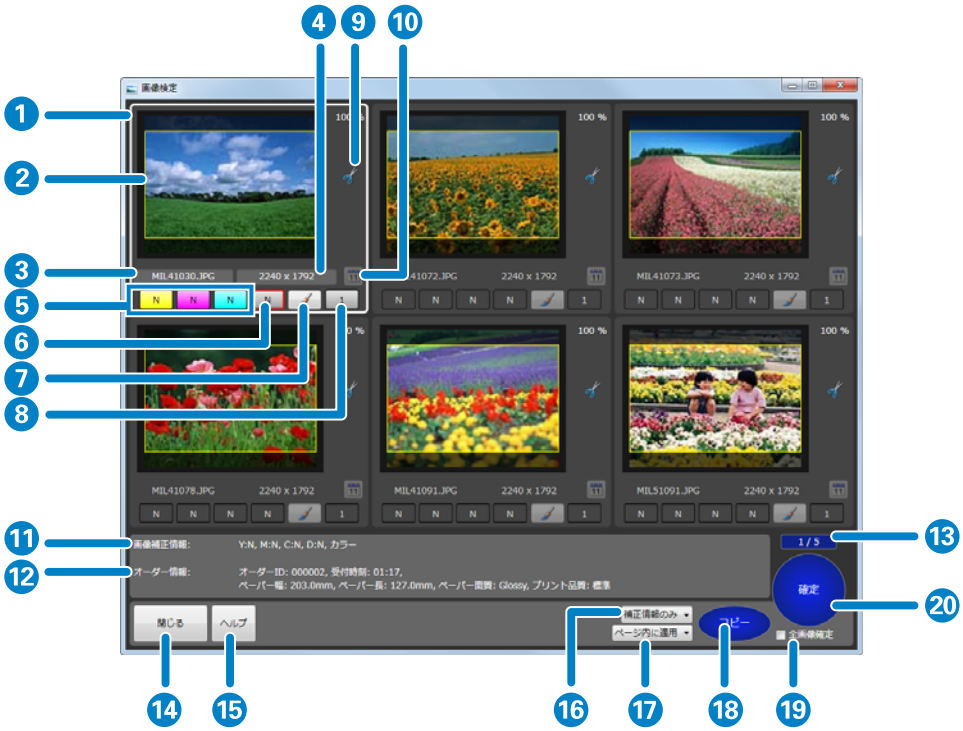


機能		説明
1	フォルダーの一覧	操作 PC のドライブ、フォルダーがツリー形式で表示されます。
2	ファイル一覧	選択したフォルダー内のファイルが一覧で表示されます。
3	ファイル形式	表示するファイル形式を選択します。
4	開く	DPOF データを読み込んで画面を閉じます。
5	キャンセル	DPOF データの読み込みをキャンセルして画面を閉じます。

画像検定画面

プリントする画像を表示し、画像ごとに色、濃度などを確認/補正できます。
表示される枚数は、環境設定の設定によって異なり、6/8/9 枚のいずれかで表示されます。

> **参考**
> オーダー登録/変更後、検定が必要な画像があるときは、［画像検定］画面が自動的に表示されます。
> 他のオーダーで検定が未処理の画像があるときは、未処理の画像がオーダー順に表示されます。直前に作成/編集したオーダーの検定画像もオーダー順で表示されます。



機能		説明
1	画像表示枠	プリント対象の画像が表示されます。 ［環境設定］の設定により、表示状態や適用される処理が異なります。 ☞ 「プリント設定画面」164 ページ
2	トリミング枠	トリミング領域に枠が表示されます。 ［画像補正］画面で位置やサイズを変更できます。 ☞ 「画像補正画面」156 ページ ［環境設定］で［トリミング領域の暗転］に設定しているときはトリミング枠の外側を暗く表示します。 ☞ 「検定方法」94 ページ
3	ファイル名	ファイル名が表示されます。
4	画像サイズ	画像サイズ（ピクセル）が表示されます。
5	色補正	YMC 各色について色補正します。 それぞれの色のボタンをクリックして補正量を調整します。 補正量は、+50～-50 の範囲で設定できます。補正量が 0 のときは、N と表示されます。左クリックで数値が増え、右クリックで数値が減ります。補正値の変化量（［より小さい］（微量）/［小さい］（少なめ）/［標準］（ふつう）/［大きい］（はっきり））は［環境設定］の設定により異なります。 キーボード上のキーでも数値変更できます。 Y：F5 で選択、F10 で数値増、F9 で数値減、F4 でリセットします。 M：F6 で選択、F10 で数値増、F9 で数値減、F4 でリセットします。 C：F7 で選択、F10 で数値増、F9 で数値減、F4 でリセットします。

機能		説明
6	濃度補正	濃度を補正します。 ボタンをクリックして補正量を調整します。 補正量は、+70～-70 の範囲で設定できます。補正量が 0 のときは、N と表示されます。左クリックで数値が増え、右クリックで数値が減ります。補正値の変化量（[より小さい]（微量）/［小さい］（少なめ）/［標準］（ふつう）/［大きい］（はっきり））は［環境設定］の設定により異なります。 キーボード上のキーでも数値変更できます。 F8 で選択、F10 で数値増、F9 で数値減、F4 でリセットします。
7	補正詳細	［画像補正］画面を表示し、トリミングやカラー処理など詳細な設定ができます。[画像補正］画面の説明は、次の項目を参照してください。 ☞ 「画像補正画面」156 ページ
8	枚数指定	画像ごとにプリント枚数を設定できます。ボタンをクリックして設定します。 0～999 で調整できます。クリックで数値が増え、右クリックで数値が減ります。 キーボード上のキーでも数値変更できます。 数字キーで数字入力、BackSpace で入力数字を 1 桁削除、DEL で 0 枚にします。 また、F2 で選択し、F10 または＋で数値増、F9 または−で数値減、PageUp で 10 枚増、PageDoun で 10 枚減にします。
9	情報表示エリア	画像の拡大率や APF の設定状態、赤目補正の状態など画像の情報が表示されます。 APF：[画像補正］で自動補正を設定しています。 ：解像度が低いため指定されているプリントサイズに適しません。 ：画像に余白があります。 ：画像が切り取られている部分があります。 ：赤目が自動検出されました。 ：赤目補正が設定されています。 ：［ペーパー長を自動で設定する］が設定されています。矢印の方向はペーパーの送りの方向を示しています。
10	フロントプリント	フロントプリントをする/しないを切り換えます。 フロントプリントでプリントされる日付の形式は、［環境設定］で設定できます。
11	画像補正情報	選択画像の色補正、濃度補正、画像補正（[補正モード］/［シャープネス］/［明るさ］/［コントラスト］/［彩度］/［カラー処理］/［ノイズ除去］/［美肌処理]）の補正情報が表示されます。
12	オーダー情報	受付時刻や使用ペーパーなどのオーダー情報が表示されます。
13	検定残り	検定の終わっていない検定画面のページ数が、検定済みの画面/未検定の画面の分数で表示されます。 数値は、［画像検定］画面を開いて表示されるページからカウントされます（前回までの処理済みページはカウントされません）。
14	閉じる	検定を中断し、［画像検定］画面を閉じます。直前に確定した画面までの検定の状態が保持され、検定終了した画面数がオーダー一覧の［検定］欄に表示されます。
15	ヘルプ	ヘルプが表示されます。
16	適用項目	［コピー］で適用する項目を［部数のみ]、[部数＋補正情報]、[補正情報のみ］から選びます。
17	適用範囲	［コピー］で適用する範囲を［ページ内に適用]、[残りのページに適用］から選びます。[残りのページに適用］を選択すると、検定結果を残りの検定ページにも適用するので、検定を省略できます。 検定結果は別のオーダーには適用されません。
18	コピー	選択画像の検定結果を適用項目、適用範囲に従ってオーダー内にコピーします。
19	全画像確定	オーダー内の残りの画像全てを確定したいときにチェックします。チェックを付けて、[確定］をクリックすると以降の検定画面の表示を省略できます。
20	確定	表示されている検定画面内の全コマの補正と確認が終了したらクリックします。次の検定画面が表示されます。すべての検定画面を確認してからクリックすると画面を閉じます。

参考

- 画像表示の状態は、［環境設定］-［基本設定］の［アプリケーション設定］タブの［検定方法］-［検定コマ数］/［検定画面でカラーマネージメントを行う］/［検定画面でサムネイル画像を使用する］で設定できます。
  ☞「検定方法」94 ページ
- 補正値の変化量は、［環境設定］-［基本設定］の［アプリケーション設定］タブの［検定方法］-［補正範囲］で設定できます。
  ☞「検定方法」94 ページ

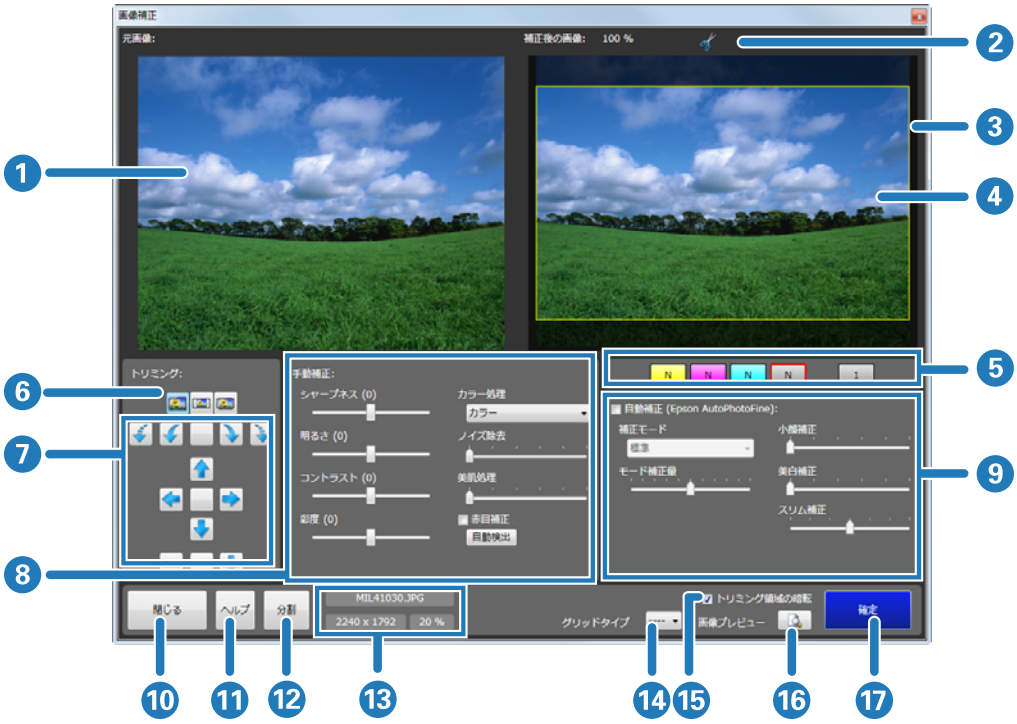
画像補正画面

画像の位置の調整や画像の色合いなどを詳細に設定できます。
［画像補正］画面には［比較形式］と［拡大形式］があります。［アプリケーション設定］-［画像補正画面］で設定できます。

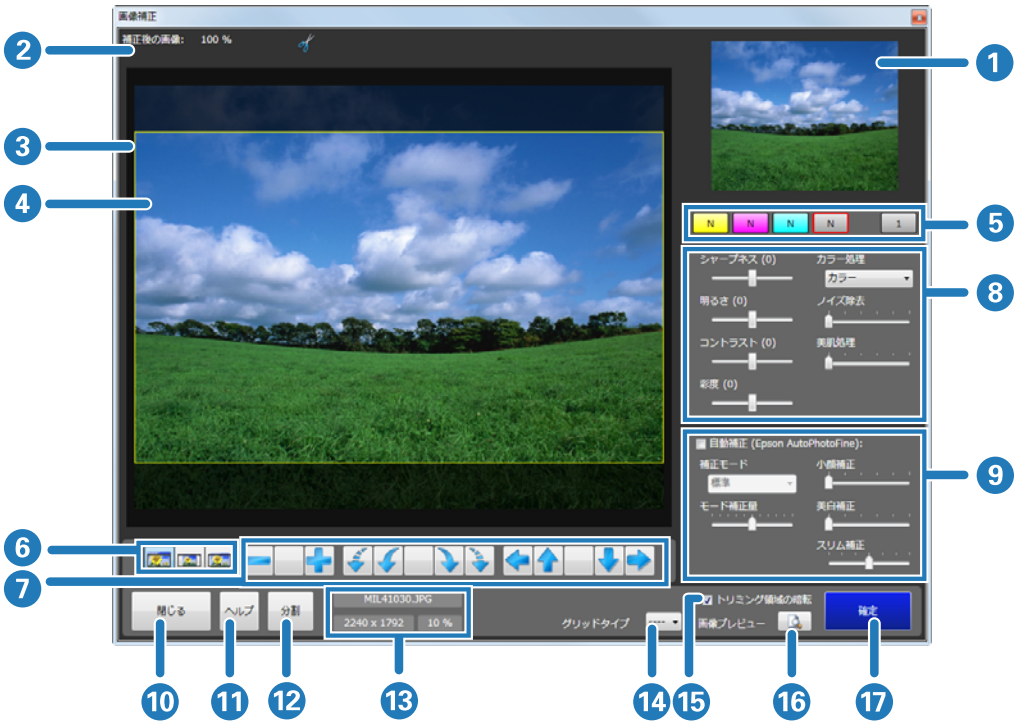
☞ 「検定方法」94 ページ

［拡大形式］には［赤目補正］機能はありません。その他は同様の機能です。

［比較形式］で表示する画面：



［拡大形式］で表示する画面：



機能			説明
1	元画像		補正前のオリジナル画像が表示されます。
2	情報表示エリア		画像の拡大率や画像の情報が表示されます。 ：解像度が低いため指定されているプリントサイズに適しません。 ：画像に余白があります。 ：画像が切り取られている部分があります。 ：赤目が自動検出されました。 ：赤目補正が設定されています。 ：［ペーパー長を自動で設定する］が設定されています。矢印の方向はペーパーの送りの方向を示しています。
3	補正後の画像		補正後の画像が表示されます。元画像と比較しながら補正の参考にします。
4	トリミング枠		トリミング領域に枠が表示されます。 ［トリミング］の各ボタンで位置やサイズを変更できます。
5	補正ボタン		［画像検定］画面で設定した色補正、濃度補正、枚数の設定内容が表示されます。
6	トリミング	トリミング（ ）	［トリミング］はプリント領域に余白ができないように画像を配置します。
		フィット（ ）	［フィット］はプリント領域に画像全てが納まるように画像を配置します。
		原寸維持（ ）	［原寸維持］は画像が持っている印刷サイズ情報に合わせて表示します。
7	トリミング調整	回転（ ）	画像を 90 度ごとに回転します。中央のボタンで設定をリセットします。 で画像を 1 度ごとに回転します。
		位置修正（ ）	画像の位置を調整します。中央のボタンで設定をリセットします。
		拡大・縮小（ ）	画像のサイズを拡大/縮小します。中央のボタンで設定をリセットします。

機能			説明
8	手動補正	シャープネス	輪郭を強調する効果をかけます。-20～+20 で調整し、マイナスの数値にするとソフトに、プラスの数値にするとシャープになります。
		明るさ	明るさを補正します。-20～+20 で調整し、マイナスの数値にすると暗く、プラスの数値にすると明るくなります。
		コントラスト	明暗の差を補正します。-20～+20 で調整し、マイナスの数値にすると明暗の差を少なく、プラスの数値にすると明暗の差が大きい、はっきりした画像になります。
		彩度	色の鮮やかさを補正します。-20～+20 で調整し、マイナスの数値にすると色味がなくなり、プラスの数値にすると色味が強くなります。
		カラー処理	色処理を［カラー］/［モノクロ］/［セピア 1］/［セピア 2］/［モノクロ（冷黒調)］/［モノクロ（温黒調)］から選択します。
		ノイズ除去	カラーノイズの軽減効果をかけます。0～5 で調整し、数値が大きいほど効果が強くなります。
		美肌処理	美肌効果をかけます。0～5 で調整し、数値が大きいほど効果が強くなります。
		赤目補正	赤目補正を有効にするときはチェックを付けて元画像の補正したい箇所をクリックします。 ［自動検出］をクリックすると、赤目部分を自動的に検出し、赤目補正します。
9	自動補正	自動補正（Epson AutoPhotoFine）	Epson AutoPhotoFine（APF）機能を使用して、最適な色合いになるように自動的に補正します。 自動補正に設定すると、［画像検定］画面の画像に［APF］と表示されます。 また［画像検定］の画像は、サムネイルではなくオリジナル画像で表示されます。
		補正モード	Epson AutoPhotoFine（APF）の補正方法を被写体や撮影モードに合わせて選択します。 標準：被写体を自動判別して、好ましい色合いに補正します。 人物：人物を自動判別して、好ましい肌色に補正します。 風景：コントラスト・彩度を高めに補正するとともに、空・緑を好ましい色合いに補正します。 夕景：赤味を強めに補正するとともに、ノイズを軽減します。 夜景：写真全体を暗めに補正するとともに、ノイズを軽減します。 花：コントラストを低めに、彩度を高めに補正します。 マクロ：コントラストを高めに補正するとともに、輪郭を強調します。 スポーツ：コントラスト・彩度を高めに補正するとともに、輪郭を強調します。 逆光：逆光で暗くなっている被写体を明るく補正します。 紅葉：赤色を好ましい色合いに補正します。 記念撮影：輪郭を強調し、小さい被写体の細部を再現します。 銀塩写真調：銀塩写真に近い色合いに補正します。
		モード補正量	補正量を変更します。-5～+5 で調整し、数値が小さいと補正量が少なく、数値が大きいと補正量が大きくなります。
		小顔補正	顔を小さく見せる処理をします。0～5 で調整し、数値が大きいほど小顔効果が強くなります。
		美白補正	肌の色を白さを強調します。0～5 で調整し、数値が大きいほど肌の色の白さが強くなります。
		スリム補正	やせて見えるように処理します。-3～+3 で調整し、数値が小さいと縦方向、数値が大きいと横方向に補正します。
10	閉じる		画像補正を中断して画面を閉じます。
11	ヘルプ		ヘルプが表示されます。
12	分割		オーダー内で任意の画像を別のプリセットにしたいときにクリックします。
13	画像の情報		ファイル名と画像サイズ（ピクセル)、画像の表示倍率が表示されます。

機能		説明
14	グリッドタイプ	補正後の画像上に［等間隔］や［三分割構図］、［黄金比分割構図］のガイドを表示させて構図を確認できます。
15	トリミング領域の暗転	トリミング枠の外側を暗く表示する/しないを切り替えられます。
16	画像プレビュー	画像を確認します。 確認後は、プレビュー画面をクリックしてプレビューを終了します。
17	確定	画像補正を確定して画面を閉じます。

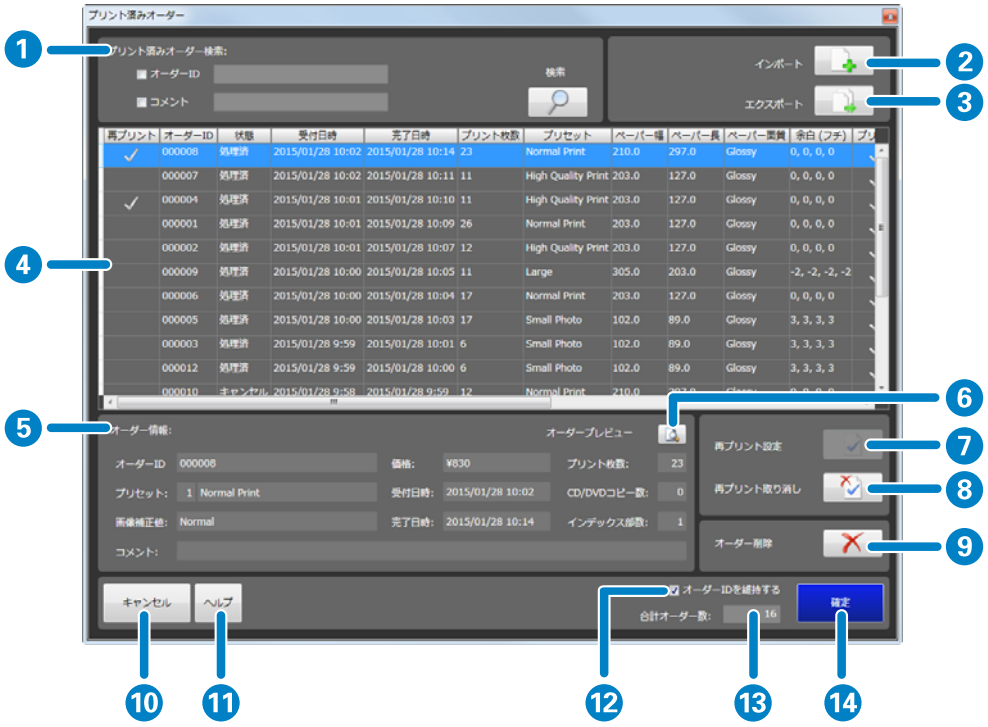
参考

［自動補正（Epson AutoPhotoFine）］でプリントすると、以下のような結果になることがあります。そのときは［自動補正（Epson AutoPhotoFine）］を使用しないでください。

- 回転、拡大、縮小、トリミング、フチなし印刷などの画像加工や設定変更をすると、変更前後の色合いが変わる。
- 写真のピントが合っていない部分では、グラデーション（階調）が滑らかに出ない。

プリント済みオーダー画面

プリント済み、またはプリントをキャンセルしたオーダーの一覧から再プリントするオーダーを指定します。



機能			説明
1	プリント済みオーダー検索	オーダー ID	［オーダー ID］で検索するときにチェックを付けます。 ［オーダー ID］で検索する場合は、前方一致で検索されます。ID の最初の数文字を入力してください。
		コメント	コメントで検索するときにチェックを付けます。 コメントで検索する場合は、部分一致で検索されます。コメントに含まれる文字の一部を入力してください。
		検索	オーダーを検索します。一覧に検索結果を表示します。
2	インポート		エクスポートされたオーダー情報を読み込みます。
3	エクスポート		オーダーの設定と画像を指定したフォルダーに書き出します。別メディアに保存しておくときに利用します。 エクスポートしたオーダーは一覧から削除されます。
4	オーダー一覧		プリント済み、またはプリントをキャンセルしたオーダーの一覧を表示します。項目名をクリックすると、昇順/降順に並べ替えられます。 各ステータスの説明は、次の表を参照してください。
5	オーダー情報		オーダー ID やプリセット、画像補正値、コメントなどのオーダー情報が表示されます。
6	オーダープレビュー		選択しているオーダーに登録された画像とプリント枚数を確認できます。
7	再プリント設定		選択したオーダーを再プリントオーダーに設定します。再プリント欄に ✓ （再プリントオーダー）アイコンが表示されます。
8	再プリント取り消し		選択した再プリントオーダーをプリント済みに戻します。再プリント欄の ✓ （再プリントオーダー）アイコンが消えます。
9	オーダー削除		選択したオーダーをオーダー一覧から削除し、オーダーの設定と画像も削除します。

機能		説明
10	キャンセル	再プリントオーダーの登録をキャンセルして画面を閉じます。
11	ヘルプ	ヘルプが表示されます。
12	オーダー ID を維持する	再オーダー時に以前のオーダー ID を使用するかどうかを設定します。チェックを外すと別のオーダー ID が付番されます。
13	合計オーダー数	再プリントのオーダー一覧に表示されているオーダーの合計数が表示されます。
14	確定	再プリントオーダーの登録を確定して画面を閉じます。

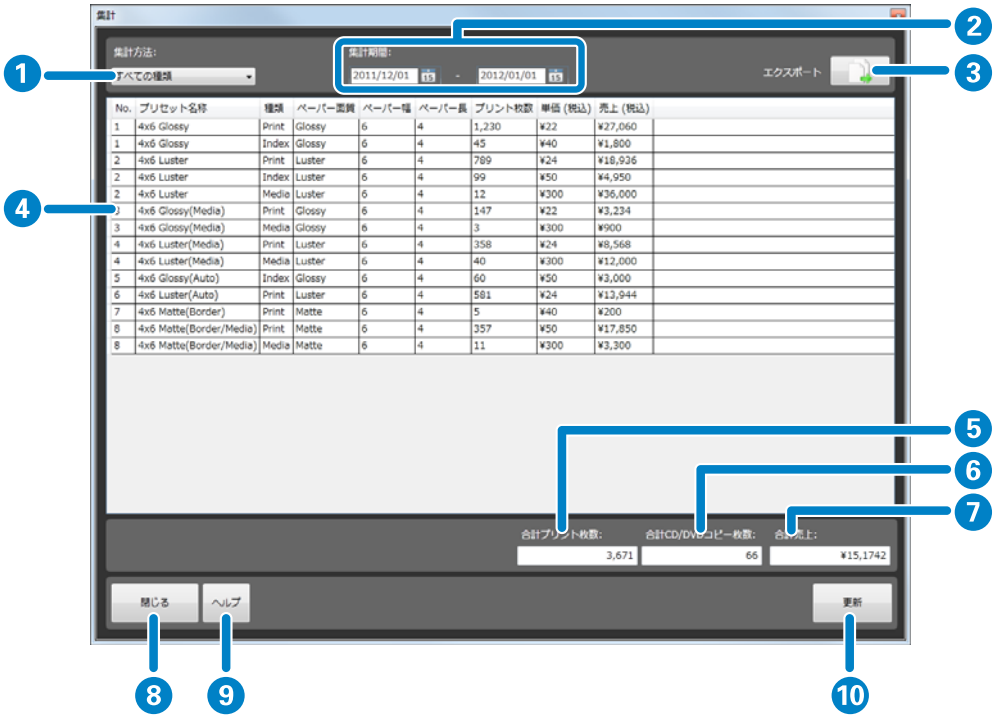
再プリント	オーダーID	状態	受付日時	完了日時	プリント枚数	プリセット	ペーパー幅	ペーパー長	ペーパー面質	余白 (フチ)	プリ
✓	000008	処理済	2013/10/04 18:15	2013/10/04 22:39	23	Normal Print	210.0	297.0	Glossy	0, 0, 0, 0	
	000007	処理済	2013/10/04 18:10	2013/10/04 22:36	11	High Quality Print	203.0	127.0	Glossy	0, 0, 0, 0	
✓	000004	処理済	2013/10/04 18:04	2013/10/04 22:35	11	High Quality Print	203.0	127.0	Glossy	0, 0, 0, 0	
	000001	処理済	2013/10/04 15:38	2013/10/04 22:34	26	Normal Print	203.0	127.0	Glossy	0, 0, 0, 0	
	000002	処理済	2013/10/04 18:24	2013/10/04 22:32	12	High Quality Print	203.0	127.0	Glossy	0, 0, 0, 0	
	000009	処理済	2013/10/04 18:17	2013/10/04 22:28	11	Large	305.0	203.0	Glossy	0, 0, 0, 0	

項目	説明	
再プリント	オーダーの状態が表示されます。	
	空欄	再プリントしないプリント済みオーダーです。
	✓（再プリントオーダー）	再プリントに設定したオーダーです。
オーダー ID	オーダー ID が表示されます。	
状態	処理状態が表示されます。プリント済みオーダーかキャンセルオーダーかを確認できます。	
受付日時	オーダーが登録された日時が表示されます。	
完了日時	プリント処理またはキャンセル処理された日時が表示されます。	
プリント枚数	設定されているプリント枚数が表示されます。 実際にプリントされた枚数ではなく、設定されている枚数になります。	
プリセット	設定されているプリセット名が表示されます。	
ペーパー幅	設定されているペーパー幅が表示されます。プリセットの［出力ペーパーを指定する］が設定されているときは（　）内に出力ペーパーの幅が表示されます。	
ペーパー長	設定されているペーパー長が表示されます。プリセットの［出力ペーパーを指定する］が設定されているときは（　）内に出力ペーパーの長さが表示されます。	
ペーパー面質	設定されているペーパー面質が表示されます。	
余白（フチ）	プリセットで指定されている余白の設定が表示されます。	
プリント	プリント用オーダーにチェックが付きます。	
検定	検定処理をするオーダーにチェックが付きます。	
インデックス	インデックスプリント用オーダーにチェックが付きます。	
CD/DVD	CD/DVD 書き込み用オーダーにチェックが付きます。	
画像補正値	プリセットで指定されている初期補正値の設定が表示されます。	
インデックス形式	プリセットで指定されているインデックス形式の設定が表示されます。	

項目	説明
プリント品質	プリセットで指定されているプリント品質の設定が表示されます。
裏印字を無効にする	［裏印字を無効にする］に設定されているオーダーにチェックが付きます。
プリンター	プリントするプリンターが表示されます。

集計画面

プリント枚数や売上金額を集計して表示します。



機能		説明
1	集計方法	集計したいプリント種類を［すべての種類］/［プリント］/［インデックス］/［CD/DVD］から選択します。
2	集計期間	集計開始日と集計終了日を設定します。 年月日を直接入力するか、カレンダーアイコンをクリックして表示するカレンダーから選択します。
3	エクスポート	集計内容をファイルに書き出します。
4	集計一覧	集計結果が表示されます。項目名をクリックすると、昇順/降順に並べ替えられます。 更新をクリックすると、指定した集計方法、集計期間の情報で更新されます。
5	合計プリント枚数	プリント枚数の合計が表示されます。
6	合計 CD/DVD コピー枚数	CD/DVD プリント枚数の合計が表示されます。
7	合計売上	売り上げの合計が表示されます。
8	閉じる	画面を閉じます。
9	ヘルプ	ヘルプが表示されます。
10	更新	設定した条件で集計し、表示結果を更新します。

環境設定

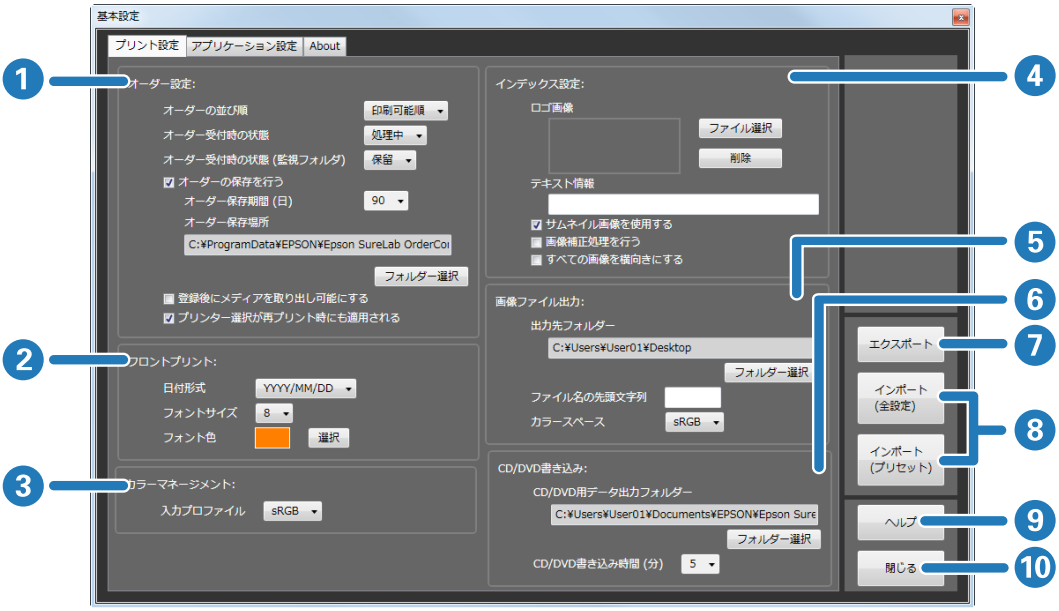
［環境設定］には［基本設定］、［プリセット編集］、［画像補正値編集］の機能があります。

基本設定画面

オーダーや検定、集計の初期値や［画像選択］画面の表示方法などを設定します。

プリント設定画面

オーダーの処理方法やインデックス設定など、オーダー作成時のプリント環境を設定します。

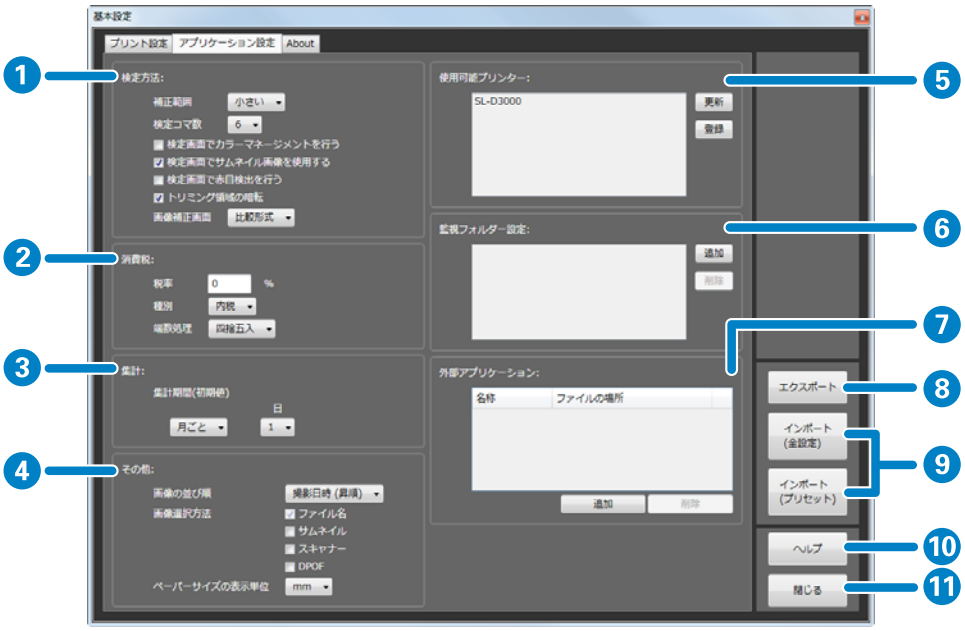


機能			説明
1	オーダー設定	オーダーの並び順	オーダーの表示順を［受付時刻順］/［印刷可能順］/［処理順］から選択します。 ［印刷可能順］にすると、使用中のプリンターで使用しているペーパーと［ペーパー幅］（プリンターによっては［ペーパー幅］と［ペーパー長］）が一致しているオーダーが優先されます。 ［処理順］にすると、処理中オーダー、処理待ちオーダー、保留オーダーの順になります。
		オーダー受付時の状態	オーダーを受け付けたときのオーダーの状態を［保留］/［処理中］から選択します。 ［処理中］を選択すると処理オーダーに、［保留］を選択すると保留オーダーになります。
		オーダー受付時の状態（監視フォルダ）	店頭端末（監視フォルダー）で受け付けたオーダーの処理方法の初期値を［保留］/［処理中］から選択します。 ［処理中］を選択すると処理オーダーに、［保留］を選択すると保留オーダーになります。
		オーダーの保存を行う	プリント済みオーダーを保存するかどうかを設定します。集計機能や再プリント機能を使いたいときは、チェックを付けます。 チェックを付けないと、プリント終了後またはキャンセル後にオーダー情報が削除されます。
		オーダー保存期間（日）	プリント済みオーダーを保存する期間を選択します。 設定した期間が経過したプリント済みオーダーは、自動的に削除されます。
		オーダー保存場所	プリント済みオーダーの保存先を設定します。［フォルダー選択］で保存先フォルダーを参照して指定します。
		登録後にメディアを取り出し可能にする	オーダー作成時の画像選択後にメディア（メモリーカードなど）の安全な取り外し処理を自動で行うかどうかを設定します。 安全な取り外し処理を自動で行うときはチェックを付けます。
		プリンター選択が再プリント時にも適用される	オーダーごとにプリント時のプリンター名が保存されます。 再プリント時には、そのオーダーが使用したプリンターが自動的に設定されます。
2	フロントプリント	日付形式	フロントプリントする日付の形式を選択します。
		フォントサイズ	フロントプリントする日付の文字サイズを選択します。
		フォント色	フロントプリントする日付の文字色を選択します。
3	カラーマネージメント	入力プロファイル	画像にプロファイルが設定されていないときに適用する入力プロファイルを［sRGB］/［AdobeRGB］から選択します。

機能			説明
4	インデックス設定	ロゴ画像	インデックス右上にプリントするロゴを設定します。［ファイル選択］でロゴの画像を選択します。［削除］で登録されているロゴ画像を削除します。
		テキスト情報	インデックス左下にプリントするテキストを入力します。
		サムネイル画像を使用する	インデックスに画像ファイルが保持しているサムネイルを使用してプリントするかどうかを設定します。 サムネイルを利用するときはチェックを付けます。 画像ファイルがサムネイルを保持していないときは、オリジナル画像でプリントされます。 チェックを付けないと、オリジナル画像で表示されます。 オリジナル画像で表示すると処理速度が低下します。
		画像補正処理を行う	インデックスに対して画像補正結果を反映するかどうかを設定します。 画像補正結果を反映するときはチェックを付けます。 チェックを付けないと、インデックスは補正されない画像でプリントされます。
		すべての画像を横向きにする	インデックスの写真の向きを、すべて横向きにします。 チェックを付けないと、インデックスはオリジナル画像の向きでプリントされます。
5	画像ファイル出力	出力先フォルダー	プリント用に加工された画像データの保存先を設定します。 ［フォルダー選択］で保存先フォルダーを参照して指定します。
		ファイル名の先頭文字列	画像データのファイル名の先頭 4 文字を設定します。ファイル名の後ろには 4 ケタの数字が 0001 から順に自動付番されます。
		カラースペース	画像データのプロファイルとして［sRGB］か［AdobeRGB］のいずれかを指定します。
6	CD/DVD 書き込み	CD/DVD 用データ出力フォルダー	CD/DVD 書き込み用データの保存先を設定します。［フォルダー選択］で保存先フォルダーを参照して指定します。
		CD/DVD 書き込み時間	CD/DVD の書き込みに必要な時間を入力します。 書き込み時間、プリント時間およびプリンター調整時間の合計で、お渡し時刻が算出されます。
7	エクスポート		環境設定（[基本設定]、[プリセット編集]、[画像補正値編集]、[裏印字編集]）をエクスポートして保存します。
8	インポート（全設定）		エクスポートされている環境設定（[基本設定]、[プリセット編集]、[画像補正値編集]、[裏印字編集]）をインポートします。
	インポート（プリセット）		エクスポートされている環境設定の［プリセット編集］、［画像補正値編集］、［裏印字編集］の設定をインポートします。
9	ヘルプ		ヘルプが表示されます。
10	閉じる		画面を閉じます。

アプリケーション設定画面

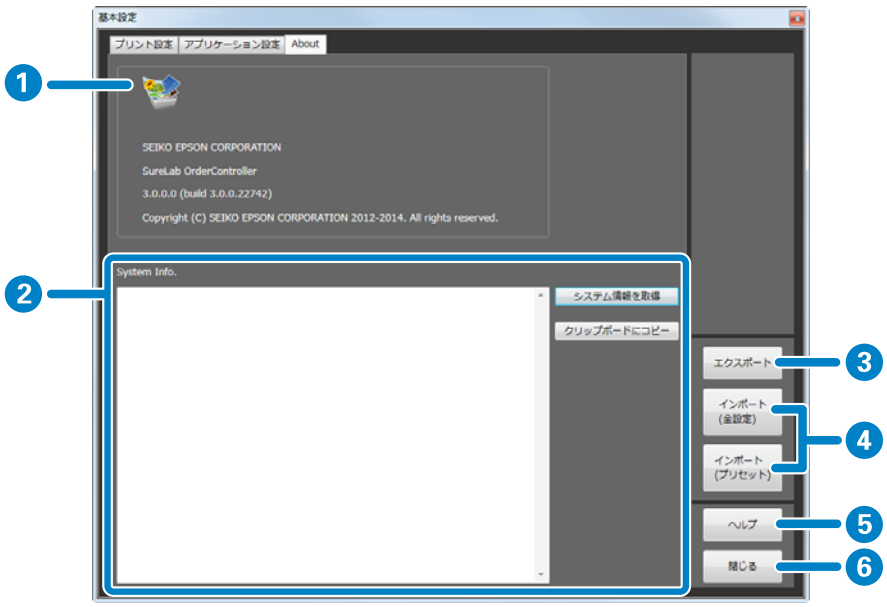
検定方法や消費税、集計期間、使用プリンターなど SureLab OrderController の使用環境の初期値を設定します。



機能			説明
1	検定方法	補正範囲	［画像検定］画面や［画像補正値編集］画面で色や濃度を補正する変化量を［より小さい］（微量）/［小さい］（少なめ）/［標準］（ふつう）/［大きい］（はっきり）から選択します。 補正範囲の変更は、作成済みおよび検定済みのオーダーにも影響します。
		検定コマ数	［画像検定］画面に一度に表示するコマ数を 6 コマ/8 コマ/9 コマから選択します。
		検定画面でカラーマネージメントを行う	［画像検定］画面に対してカラーマネージメント処理をするかどうかを設定します。 カラーマネージメント処理をするときは、チェックを付けます。チェックを付けないと、［画像検定］画面は［sRGB］で処理された表示になります。 検定画面でのカラーマネージメント処理は処理速度が低下します。 ［画像補正］画面では、常にカラーマネージメント処理が反映されます。
		検定画面でサムネイル画像を使用する	［画像検定］画面で画像ファイルが保持しているサムネイルを使用するかどうかを設定します。サムネイルを利用するときは、チェックを付けます。画像ファイルがサムネイルを保持していないときは、オリジナル画像で表示されます。 また、オーダーのプリセットに［自動補正］を行う［画像補正値］が設定されていると、本設定に関係なくオリジナル画像が使用されます。 チェックを付けないと、オリジナル画像で表示されます。 オリジナル画像で表示すると処理速度が低下します。
		検定画面で赤目検出を行う	［画像検定］画面で赤目検出をするかどうかを設定します。赤目写真を自動的に検出させたいときは、チェックを付けます。 赤目を検出した写真には、［画像検定］画面で赤目検出のアイコンが表示されます。
		トリミング領域の暗転	［画像検定］画面でトリミング枠の外を暗く表示するかどうかを設定します。 トリミング枠の外を暗く表示するときはチェックを付けます。
		画像補正画面	［画像補正］画面の表示形式を［比較形式］、［拡大形式］から設定します。 ［比較形式］は、元画像と補正後の画像を左右に同じ大きさで並べて表示するため、比較しながら補正できます。 ［拡大形式］は、補正後の画像を元画像よりも大きく表示します。赤目補正機能はありません。その他の機能は［比較形式］と同様です。

機能			説明
2	消費税	税率	消費税の税率を入力します。
		種別	消費税の計算方法を［内税］/［外税］から選択します。
		端数処理	消費税の端数処理方法を［四捨五入］/［切り捨て］/［切り上げ］から選択します。
3	集計	集計期間	集計期間の初期値を［日ごと］/［月ごと］/［年ごと］で選択します。
		月/日	集計期間の開始日とする［月］と［日］の数字を選択します。
4	その他	画像の並び順	画像を表示する画面（［画像登録］/［画像検定］画面）の表示順を［撮影日時（昇順）］/［撮影日時（降順）］/［ファイル名（昇順）］/［ファイル名（降順）］から選択します。
		画像選択方法	オーダー作成時の画像選択方法を［ファイル名］/［サムネイル］/［スキャナー］/［DPOF］から設定します。 チェックした選択方法がオーダー作成の画像選択で利用できます。 ［ファイル名］は、フォルダー内の画像をファイル名で表示します。画像表示処理がないため、［画像登録］画面の表示が速くなります。メモリーカードに保存されている画像が多いときに、全画像をプリントする場合やあらかじめファイル名がわかっている数枚をプリントする場合にお勧めです。 ［サムネイル］は、フォルダー内の画像をサムネイルで表示します。画像を見ながら選択できます。 ［スキャナー］は、接続している TWAIN 対応のスキャナーから読み込みます。 ［DPOF］は、あらかじめ作成された DPOF ファイルを指定して画像データを読み込みます。 DPOF ファイルの形式により、読み込めない情報があります。
		ペーパーサイズの表示単位	ペーパーサイズを表示する単位を［inch］/［mm］から選択します。
5	使用可能プリンター		使用可能なプリンターが表示されます。 メイン画面で［START/STOP］をクリックして SureLab OrderController のプリント処理を停止してから、［更新］をクリックすると最新の状態に更新されます。 手動でプリンターを登録するときは［登録］をクリックして表示される一覧からプリンターを追加します。
6	監視フォルダー設定		店頭端末で顧客が作成したオーダーを一時的に保存するフォルダーを監視フォルダーとして登録します。 ［追加］をクリックして、フォルダーを選択します。10 件まで登録できます。パスは 260 文字まで入力できます。 削除するときは、パスを選択して［削除］をクリックします。
7	外部アプリケーション		SureLab OrderController から起動するアプリケーションを登録します。 ［追加］をクリックして、アプリケーションの起動ファイルを指定します。10 件まで登録できます。 削除するときは、アプリケーションを選択して［削除］をクリックします。 登録したアプリケーションは、［オーダー一覧］画面の［登録アプリ］から起動します。
8	エクスポート		環境設定（［基本設定］、［プリセット編集］、［画像補正値編集］、［裏印字編集］）をエクスポートして保存します。
9	インポート（全設定）		エクスポートされている環境設定（［基本設定］、［プリセット編集］、［画像補正値編集］、［裏印字編集］）をインポートします。
	インポート（プリセット）		エクスポートされている環境設定の［プリセット編集］、［画像補正値編集］、［裏印字編集］の設定をインポートします。
10	ヘルプ		ヘルプが表示されます。
11	閉じる		画面を閉じます。

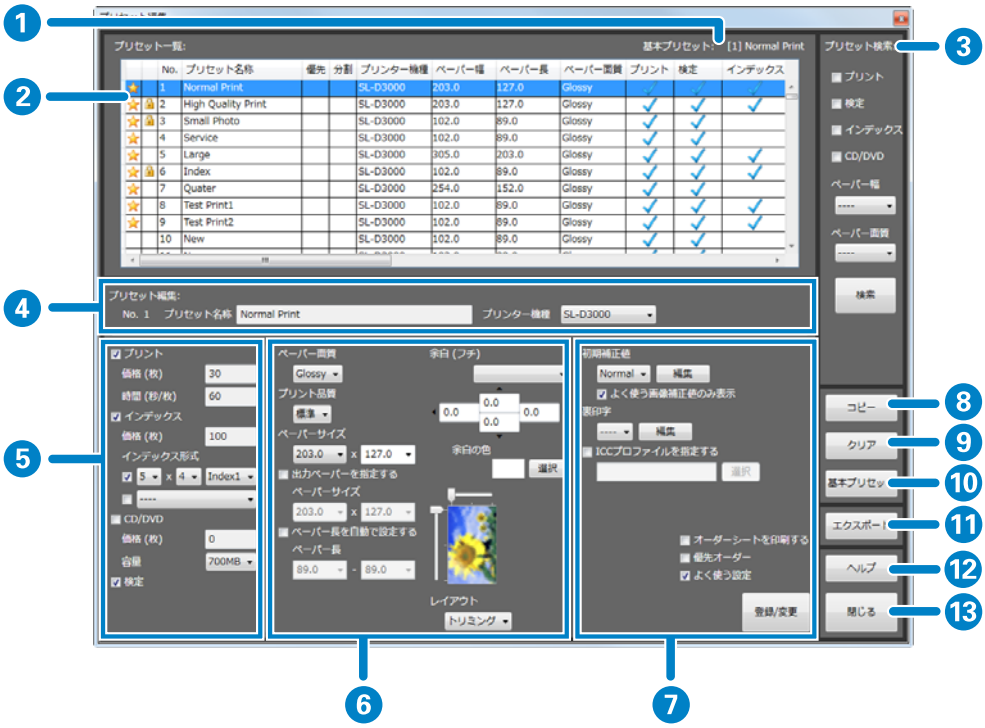
About 画面



機能		説明
1	アプリケーション情報表示	SureLab OrderController の名称やバージョンなどの情報が表示されます。
2	システム情報	操作 PC の OS、CPU などのハードウェア情報やログイン情報が表示されます。 ［システム情報を取得］をクリックして、情報を取得します。 ［クリップボードにコピー］をクリックして、取得した情報をクリップボードにコピーします。
3	エクスポート	環境設定（[基本設定]、[プリセット編集]、[画像補正値編集]、[裏印字編集]）をエクスポートして保存します。
4	インポート（全設定）	エクスポートされている環境設定（[基本設定]、[プリセット編集]、[画像補正値編集]、[裏印字編集]）をインポートします。
	インポート（プリセット）	エクスポートされている環境設定の［プリセット編集］、[画像補正値編集]、[裏印字編集]の設定をインポートします。
5	ヘルプ	ヘルプが表示されます。
6	閉じる	画面を閉じます。

プリセット編集画面

プリントや検定の有無、単価計算用の価格、補正値や使用ペーパーなどのプリント条件をプリセットとして登録します。登録したプリセットは、オーダー作成時に選択します。



機能			説明
1	基本プリセット		基本プリセットに設定してあるプリセット名が表示されます。 基本プリセットは、オーダー登録時の初期設定または、プリセットが不正で実行できないときに代用されます。
2	プリセット一覧		登録されているプリセットが一覧で表示されます。 プリセットを選択すると、画面下部の［プリセット編集］で設定値を編集できます。 項目名をクリックすると、昇順/降順に並べ替えられます。 現在使用中のプリセットは左側に が表示され、編集できません。 ［よく使う設定］にチェックが付いていると が表示されます。
3	プリセット検索	プリント	プリントする設定になっているプリセットを検索するときにチェックを付けます。
		検定	検定する設定になっているプリセットを検索するときにチェックを付けます。
		インデックス	インデックスプリントする設定になっているプリセットを検索するときにチェックを付けます。
		CD/DVD	CD/DVD へ書き込みする設定になっているプリセットを検索するときにチェックを付けます。
		ペーパー幅	使用するペーパー幅でプリセットを検索するときに選択します。
		ペーパー面質	使用するペーパー面質でプリセットを検索するときに選択します。
		検索	プリセットを検索します。検索結果を一覧に表示します。
4	プリセット編集（上）	No.	一覧で選択したプリセット No.が表示されます。
		プリセット名称	プリセット名称を入力します。32 文字まで入力できます。
		プリンター機種	プリントするプリンターを選択します。

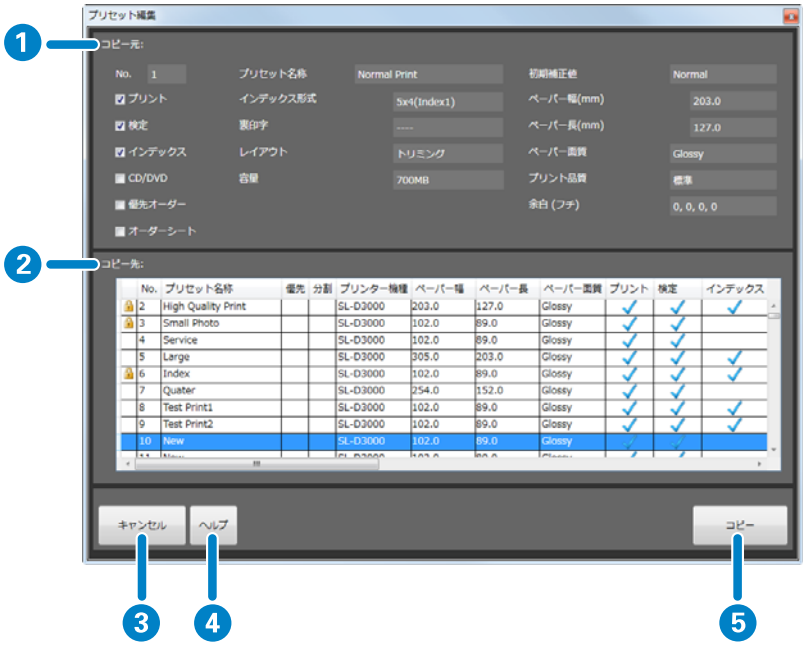
機能			説明
5	プリセット編集（左）	プリント	プリントする設定のプリセットを作成するときにチェックを付けます。
		価格（枚）	1 枚あたりのプリント価格を入力します。価格は小数点第 2 位までの数値（0～99999.00）で入力できます。 入力した数値は、集計時の売り上げ計算で単価として使用されます。
		時間（秒/枚）	1 枚あたりのプリントに必要な時間を入力します。時間は 1～300 秒で入力できます。 プリント時間は、お渡し時刻の算出に利用されます。
		インデックス	インデックスプリントする設定のプリセットを作成するときにチェックを付けます。
		価格（枚）	1 枚あたりのプリント価格を入力します。価格は小数点第 2 位までの数値（0～99999.00）で入力できます。 入力した数値は、集計時の売り上げ計算で単価として使用されます。
		インデックス形式	上：インデックスシート 1 枚にプリントするコマ数と形式を選択します。 それぞれのインデックス形式は、下記のサンプルをご覧ください。 ☞ 「インデックスシートのサンプル」180 ページ 下：[インデックス] のみ（[プリント]、[検定] なし）のプリセットが表示されます。インデックスを別サイズでプリントするときに選択します。 ☞ 「インデックスを別サイズでプリントする」76 ページ
		CD/DVD	CD/DVD へ書き込みする設定のプリセットを作成するときにチェックを付けます。
		価格（枚）	1 枚あたりの CD/DVD 書き込み価格を入力します。価格は小数点第 2 位までの数値（0～99999.00）で入力できます。 入力した数値は、集計時の売り上げ計算で単価として使用されます。
		容量	書き込む CD/DVD の容量を選択します。
		検定	検定する設定のプリセットを作成するときにチェックを付けます。

機能			説明	
6	プリセット編集（中）	ペーパー面質	［ペーパー面質］を選択します。	
		プリント品質	プリント品質を選択します。	
		ペーパーサイズ	［ペーパーサイズ］を選択します。	
		出力ペーパーを指定する	画像サイズに対して異なるペーパーサイズでプリントするときにチェックを付けて、［ペーパーサイズ］を選択します。 画像サイズより小さいサイズを選択した時は、画像が切り取られます。出力ペーパーに対する画像の配置は右側のレイアウトイメージで設定できます。	
		ペーパー長を自動で設定する	画像をペーパー幅に合わせて印刷したいときにチェックを付けます。 ［ペーパー長］でペーパーの送り量の最大値と最小値を設定します。 ☞ 「ペーパー幅に合わせてプリント」70 ページ	
		余白（フチ）	なし（はみ出しあり）	画像を拡大して、余白が出ないようにプリントします。
			なし	画像の縦横比とプリントサイズの縦横比が一致している場合に、画像を切り取ることなく、余白のない画像がプリントできます。 ただし、本製品の使用環境などによっては、余白が発生したり、画像の周囲が切り取られることがあります。
			小/中/大	画像の周囲に余白を作ります。
			数値入力	余白量を 1mm 単位で設定できます。
			余白の色	余白の色を選択します。
		レイアウトイメージ	［出力ペーパーを指定する］にチェックを付けた場合に出力ペーパーに対する画像の配置をスライドバーで設定します。	
		レイアウト	［トリミング］はプリント領域に余白ができないように画像を配置します。［フィット］はプリント領域に画像全てが納まるように画像を配置します。［原寸維持］は画像が持っている印刷サイズ情報に合わせて表示します。	
7	プリセット編集（右）	初期補正値	初期値として採用する補正値を選択します。 ［編集］をクリックすると、［画像補正値編集］画面が表示され、画像補正値を編集できます。	
		よく使う画像補正値のみ表示	よく使う設定になっている画像補正値のみを表示するときにチェックを付けます。	
		裏印字	ペーパーの裏面にプリントする内容を選択します。設定した内容が、裏面にプリントされます。 ［編集］をクリックするとプリント内容を編集できます。 裏印字の機能は、SL-D3000 のみ対応しています。 ☞ 「裏印字編集画面」178 ページ	
		ICC プロファイルを指定する	ICC プロファイルを指定したいときにチェックを付けます。［選択］をクリックすると［開く］画面が表示され、ICC プロファイルを選択できます。	
		オーダーシートを印刷する	オーダー ID や受付日時などオーダー情報をプリントします。 お使いのプリンターによっては使用できません。	
		優先オーダー	優先オーダーに設定するプリセットを作成するときにチェックを付けます。	
		よく使う設定	よく使うプリセットを作成するときにチェックを付けます。	
		登録/変更	選択した No.のプリセットが設定した内容で登録されます。	
8	コピー		既存のプリセットを他のプリセット No.にコピーします。 クリックするとプリセットコピー画面を表示します。プリセットコピー画面の説明は、次の項目を参照してください。 ☞ 「プリセットコピー画面」174 ページ	

機能		説明
9	クリア	プリセットの設定内容を初期値に戻します。
10	基本プリセット	選択したプリセットを基本プリセットとして設定します。
11	エクスポート	プリセットの設定内容を csv 形式のファイルにエクスポートします。 EPSON PrintFactory for DPE にプリセットの設定をインポートするときに利用します。
12	ヘルプ	ヘルプが表示されます。
13	閉じる	画面を閉じます。

プリセットコピー画面

［プリセット編集］画面で［コピー］をクリックしたときに表示され、選択したプリセットを別のプリセット No.にコピーします。



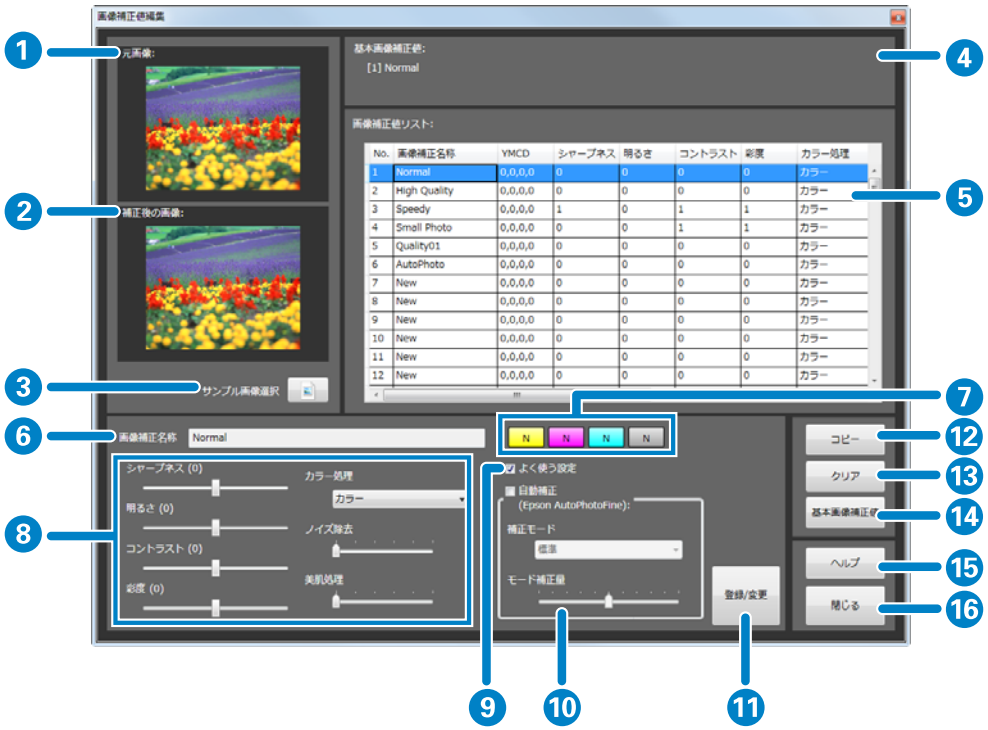
機能		説明
1	コピー元	コピー元のプリセットの設定内容が表示されます。
2	コピー先	登録されているプリセット一覧から、コピー先のプリセット No.を選択します。 項目名をクリックすると、昇順/降順に並べ替えられます。 現在使用中のプリセットは左側に が表示され、編集できません。
3	キャンセル	コピー操作を中止して画面を閉じます。
4	ヘルプ	ヘルプが表示されます。
5	コピー	コピーを実行します。 クリックすると確認画面が表示されます。

参考

［よく使う設定］のチェック状態はコピーされません。必要に応じてコピー後にチェックを付けてください。

画像補正値編集画面

［シャープネス］/［明るさ］/［コントラスト］やカラー処理、Epson AutoPhotoFine による自動補正処理など、画像補正値を編集して、まとめて登録します。
登録した画像補正値は、プリセット登録時に選択します。

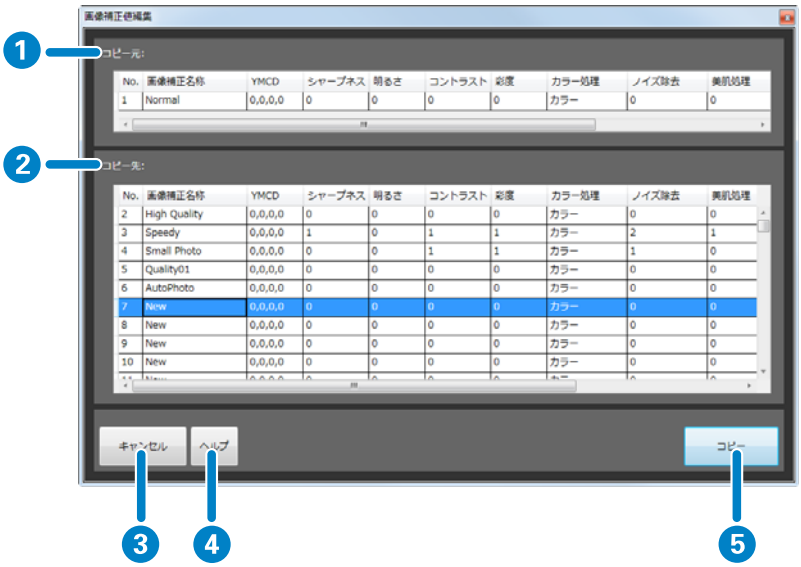


機能		説明
1	元画像	補正されていない画像イメージが表示されます。
2	補正後の画像	補正後の画像イメージが表示されます。
3	サンプル画像選択	元画像/補正後の画像に使用するサンプル画像を変更します。 初期設定では、元画像/補正後の画像に表示されるサンプル画像が設定されていません。 ［サンプル画像選択］をクリックして表示される［開く］画面で使用したい画像ファイルを選択してください。
4	基本画像補正値	基本画像補正値に設定してある画像補正値名が表示されます。 基本画像補正値は、プリセット登録時の初期設定または画像補正値が不正で実行できないときに代用されます。
5	画像補正値リスト	登録されている画像補正値が一覧で表示されます。 下段の画像補正値編集で設定した項目の設定値が表示されます。 項目名をクリックすると、昇順/降順に並べ替えられます。
6	画像補正名称	画像補正名称を入力します。32 文字まで入力できます。
7	色補正/濃度補正	YMC 各色と濃度を補正します。 それぞれのボタンをクリックして補正量を調整します。 補正量は、Y（イエロー）/M（マゼンダ）/C（シアン）が+50～-50 の範囲、濃度が+70～-70 の範囲で設定できます。補正量が 0 のときは、N と表示されます。左クリックで数値が増え、右クリックで数値が減ります。補正値の変化量は環境設定の設定により異なります。

機能			説明
8	手動補正	シャープネス	輪郭を強調する効果をかけます。-20～+20 で調整し、マイナスの数値にするとソフトに、プラスの数値にするとシャープになります。
		明るさ	明るさを補正します。-20～+20 で調整し、マイナスの数値にすると暗く、プラスの数値にすると明るくなります。
		コントラスト	明暗の差を補正します。-20～+20 で調整し、マイナスの数値にすると明暗の差を少なく、プラスの数値にすると明暗の差が大きい、はっきりした画像になります。
		彩度	色の鮮やかさを補正します。-20～+20 で調整し、マイナスの数値にすると色味がなくなり、プラスの数値にすると色味が強くなります。
		カラー処理	色処理を［カラー］/［モノクロ］/［セピア 1］/［セピア 2］/［モノクロ（冷黒調）］/［モノクロ（温黒調）］から選択します。
		ノイズ除去	カラーノイズの軽減効果をかけます。0～5 で調整し、数値が大きいほど効果が強くなります。
		美肌処理	美肌効果をかけます。0～5 で調整し、数値が大きいほど効果が強くなります。
9	よく使う設定		よく使う補正値を作成するときにチェックを付けます。
10	自動補正	自動補正 （Epson AutoPhotoFine）	Epson AutoPhotoFine（APF）機能を使用して、最適な色合いになるように自動的に補正します。
		補正モード	Epson AutoPhotoFine（APF）の補正方法を被写体や撮影モードに合わせて選択します。 標準：被写体を自動判別して、好ましい色合いに補正します。 人物：人物を自動判別して、好ましい肌色に補正します。 風景：コントラスト・彩度を高めに補正するとともに、空・緑を好ましい色合いに補正します。 夕景：赤味を強めに補正するとともに、ノイズを軽減します。 夜景：写真全体を暗めに補正するとともに、ノイズを軽減します。 花：コントラストを低めに、彩度を高めに補正します。 マクロ：コントラストを高めに補正するとともに、輪郭を強調します。 スポーツ：コントラスト・彩度を高めに補正するとともに、輪郭を強調します。 逆光：逆光で暗くなっている被写体を明るく補正します。 紅葉：赤色を好ましい色合いに補正します。 記念撮影：輪郭を強調し、小さい被写体の細部を再現します。 銀塩写真調：銀塩写真に近い色合いに補正します。
		モード補正量	補正量を変更します。-5～+5 で調整し、数値が小さいと補正量が少なく、数値が大きいと補正量が大きくなります。
11	登録/変更		選択した No.の画像補正値が設定した内容で登録されます。
12	コピー		既存の画像補正値を他の画像補正値 No.にコピーします。 クリックすると画像補正値コピー画面を表示します。画像補正値コピー画面の説明は、次の項目を参照してください。
13	クリア		画像補正値の設定内容を初期値に戻します。
14	基本画像補正値		選択した画像補正値を基本画像補正値として設定します。
15	ヘルプ		ヘルプが表示されます。
16	閉じる		画面を閉じます。

画像補正コピー画面

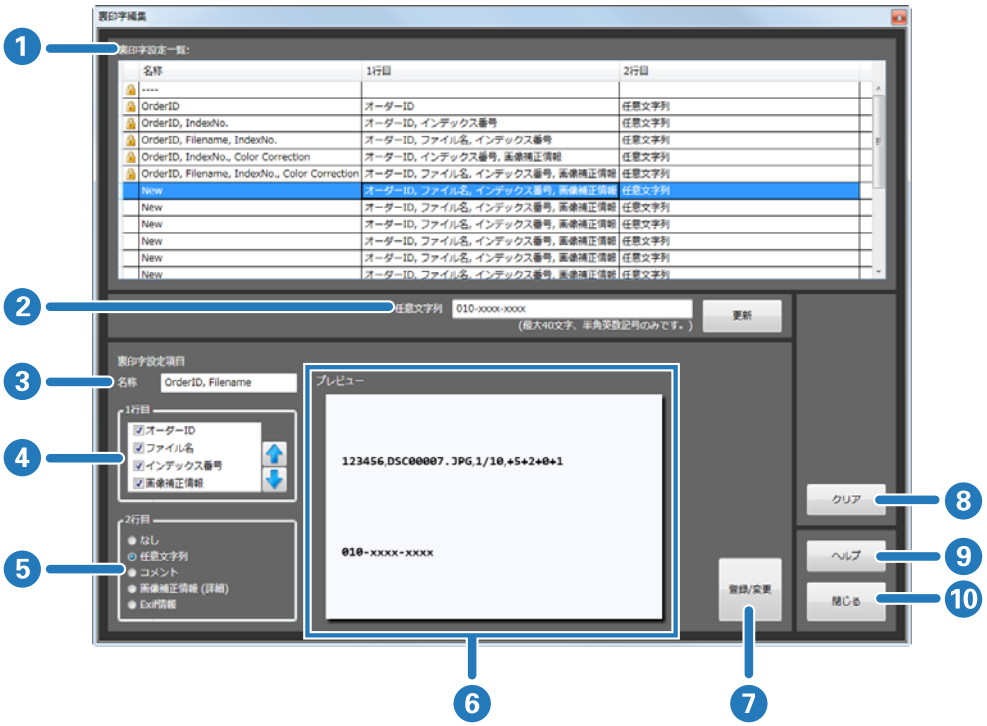
［画像補正値編集］画面で［コピー］をクリックしたときに表示され、選択した画像補正値を別の画像補正値 No.にコピーします。



機能		説明
1	コピー元	コピー元の画像補正値の設定内容が表示されます。
2	コピー先	登録されている画像補正値一覧から、コピー先の画像補正値 No.を選択します。 項目名をクリックすると、昇順/降順に並べ替えられます。
3	キャンセル	コピー操作を中止して画面を閉じます。
4	ヘルプ	ヘルプが表示されます。
5	コピー	コピーを実行します。 クリックすると確認画面が表示されます。

裏印字編集画面

裏印字のプリント内容を登録します。
裏印字の機能は、SL-D3000 のみ対応しています。



機能		説明
1	裏印字設定一覧	登録されている裏印字設定が一覧で表示されます。 裏印字設定を選択すると、画面下部の［裏印字設定編集］で設定値を編集できます。 初期設定で登録済みの裏印字設定は左側に が表示され、編集できません。
2	任意文字列	裏印字の 2 行目にプリントする任意文字列を半角英数 40 文字以内で入力できます。 内容を編集後は［更新］をクリックして更新します。
3	名称	裏印字設定名称を入力します。32 文字まで入力できます。
4	1 行目	1 行目にプリントする項目を選択します。 項目を選択すると右側のプレビューに印字イメージが表示されます。
5	2 行目	2 行目にプリントする項目を選択します。 項目を選択すると右側のプレビューに印字イメージが表示されます。 画像補正情報を選択すると次の情報がアルファベットと数値で表示されます。 角度（A）/シャープネス（S）/明るさ（B）/コントラスト（C）/彩度（T）/カラー処理（P）/ノイズ除去（N）/APF モード（A）/APF 補正レベル（L） Exif 情報を選択すると画像に保存されている Exif 情報が表示されます。
6	プレビュー	プリントされるイメージが表示されます。
7	登録/変更	選択した裏印字設定が設定した内容で登録されます。
8	クリア	裏印字の設定内容を初期値に戻します。
9	ヘルプ	ヘルプが表示されます。
10	閉じる	画面を閉じます。

付録

ソフトウェアの削除

操作 PC にインストールされている本ソフトウェアの削除は、次の手順で行います。

！重要

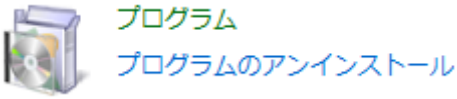
操作 PC へは管理者権限のあるユーザーでログオンしてください。管理者のパスワードまたは確認を求められたときは、パスワードを入力して操作を続行してください。

参考

アンインストールを行うと、オーダーデータ、プリセット情報、画像補正値も削除されます。必要な場合は事前にデータをエクスポートしてバックアップを取ってください。

1 **操作 PC を起動します。**

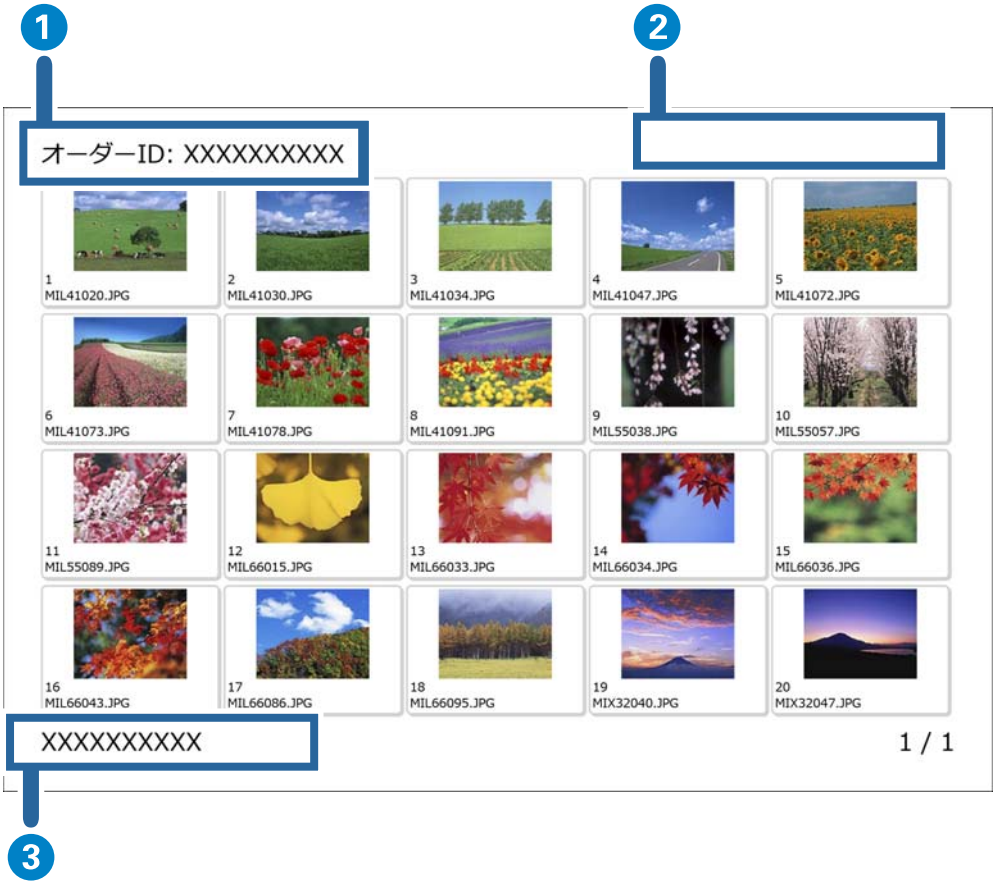
2 **［コントロールパネル］の［プログラム］－［プログラムのアンインストール］をクリックします。**



3 **［SureLab OrderController］を選択して［アンインストールと変更］をクリックします。**

インデックスシートのサンプル

Index1



❶ オーダー ID

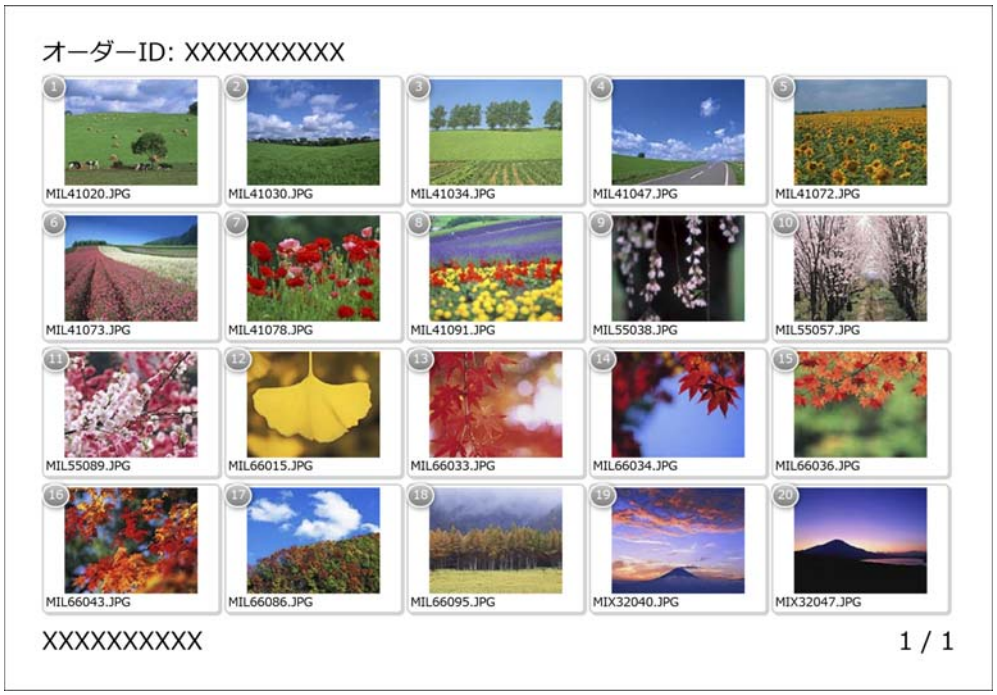
❷ ロゴ画像

❸ テキスト情報

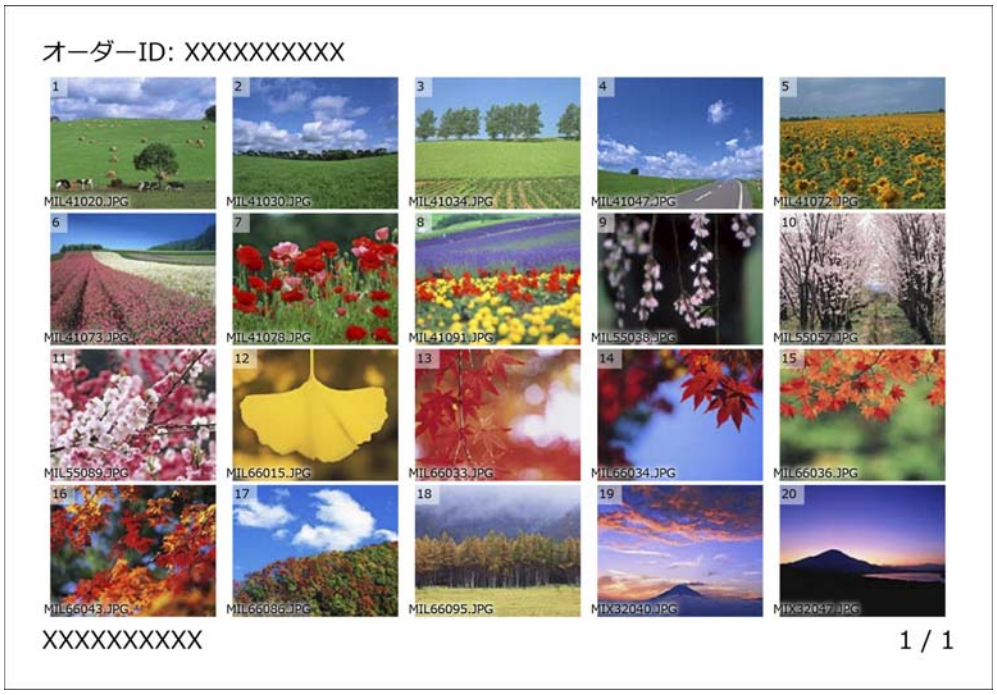
❷、❸ は［環境設定］-［基本設定］-［プリント設定］で設定できます。

☞ 「基本設定画面」164 ページ

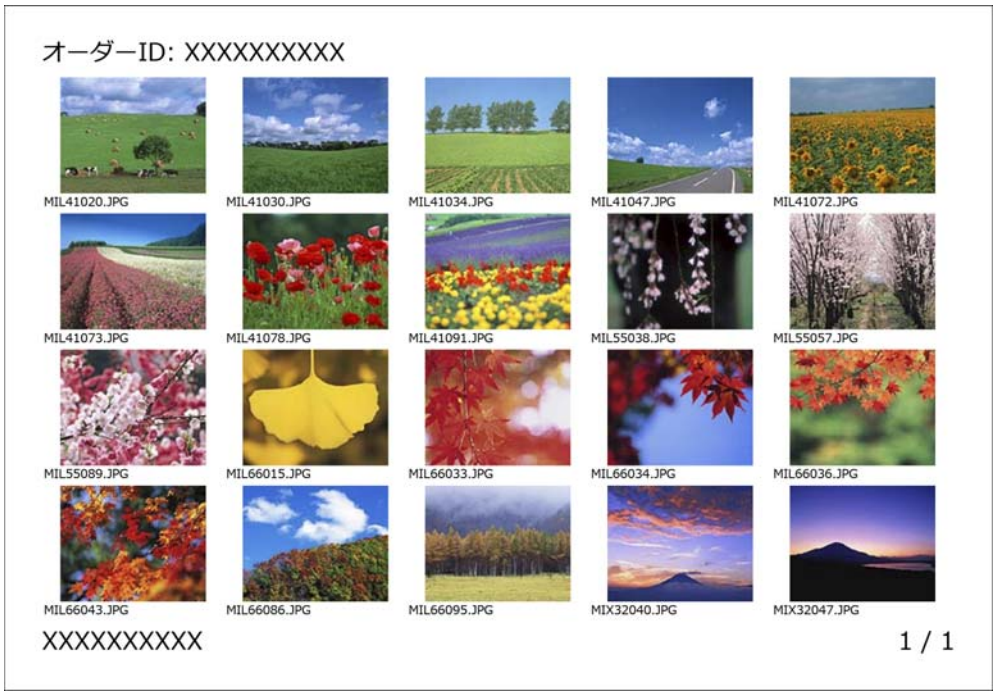
Index2



Index3



Index4



Index5

ご注意・商標

本製品の不具合に起因する付随的損害

万一、本製品の不具合によって所期の結果が得られなかったとしても、そのことから生じた付随的な損害（本製品を使用するために要した諸費用、および本製品を使用することにより得られたであろう利益の損失等）は、補償致しかねます。

本製品を日本国外へ持ち出す場合の注意

本製品は日本国内仕様のため、本製品の修理・保守サービスおよび技術サポートなどの対応は、日本国外ではお受けできませんのでご了承ください。
また、日本国外ではその国の法律または規制により、本製品を使用できないことがあります。このような国では、本製品を運用した結果罰せられることがありますが、当社といたしましては一切責任を負いかねますのでご了承ください。

著作権

写真・書籍・地図・図面・絵画・版画・音楽・映画・プログラムなどの著作権物は、個人（家庭内その他これに準ずる限られた範囲内）で使用するために複製する以外は著作権者の承認が必要です。

ソフトウェア使用許諾契約書

お客様へ：この製品をインストールまたは使用する前にこのソフトウェア使用許諾契約書を慎重にお読みください。お客様の居住地がアメリカ合衆国内である場合、このソフトウェア使用許諾契約書の第 19 条から第 23 条がお客様に適用されます。第 22 条には、紛争の際に、お客様は、裁判官や陪審の前で裁判所において救済を求める権利が制限され、集団訴訟または集団仲裁に参加する権利を放棄する仲裁条項が含まれています。お客様がこのような仲裁ならびに集団訴訟および集団仲裁についての権利放棄を希望されない場合は、第 22 条第 7 項にしたがって「オプトアウト」手続を利用することができます。

このソフトウェア使用許諾契約書（以下「この契約」といいます）は、お客様（お客様が個人または法人であるかを問わず、以下「お客様」といいます）が、この契約に同梱されるソフトウェアプログラムおよびその付属書類、ファームウェア、アップデート版（以下総称して「ソフトウェア」といいます）を使用するための、お客様とセイコーエプソン株式会社（その関係会社を含み、以下「当社」といいます）との法的拘束力のある契約書です。ソフトウェアは、当社または当社の指定販売業者から提供され、当社ブランドを付したコンピュータ周辺機器（以下「当社製品」といいます）においてのみ使用することができます。ソフトウェアをインストールし、コピーし、またはその他の方法で使用する前に、お客様はこの契約および第 17 条に定める当社のプライバシーポリシーを確認し、これに同意する必要があります。お客様が同意する場合、「同意する」（その他「承諾する」、「OK」など合意を表すもの）ボタンをクリックしてください。この契約に同意できない場合は、「同意しない」（その他「終了」、「キャンセル」など不合意を表すもの）ボタンをクリックし、ソフトウェアをパッケージおよび関連物品と共に当社または購入した店舗に返却し、払戻しを受けてください。

１　使用許諾　当社は、お客様に対し、(i)お客様の個人および社内業務用途でソフトウェアをハードディスクその他のコンピュータ記憶装置に、またはアプリケーションソフトウェア（アプリケーションソフトウェアも「ソフトウェア」といいます）の場合にはスマートフォン、タブレットその他の携帯端末（以下総称して「お客様端末」といいます）にダウンロードし、インストールし、使用する限定的および非独占的な権利を許諾します。ただし、お客様はソフトウェアを、(i)一つの場所（お客様の自宅またはオフィス、事業所など）、または携帯端末の場合にはお客様が所有または管理するお客様端末においてのみ、かつ(ii)お客様が所有する当社製品と関連する場合のみ使用できます。お客様は、お客様のネットワークに接続される当社製品の他の使用者に対し、ソフトウェアの使用を許可することができます。ただし、お客様は、そのような他の使用者がこの契約のみに従ってソフトウェアを使用することを保証するものとします。お客様は、そのような他の使用者によるソフトウェアの使用によって発生する義務に関し責任を負うとともに、当社を補償し、免責することに同意するものとします。お客様は、お客様による当社製品の使用をサポートする目的に限り、必要に応じてソフトウェアのバックアップコピーを作成することができます。

２　アップグレードおよびアップデート　お客様が当社よりソフトウェアのアップグレード版、アップデート版、修正版または追加版を入手した場合、当該アップグレード版、アップデート版、修正版または追加版はこの契約におけるソフトウェアに含まれ、この契約が適用されるものとします。お客様は、当社がソフトウェアの更新版（本条にて定義されるものとします）を提供する義務を負わないことに合意するものとします。ただし、当社は、当社の裁量で、ソフトウェアのアップデート版を提供することがあります。ソフトウェアは、不具合修正版、アップグレード版、機能追加または機能向上、プラグイン、新しいバージョンなどのソフトウェアのアップデート版（以下「更新版」といいます）が利用できるかどうか確認するために、当社または第三者のサーバーにインターネットを介して自動的に接続することがあります。また、ソフトウェアは(i)お客様が自己の個人端末で使用しているソフトウェアのバージョンを自動更新し、または(ii) 適切な更新版を手動でダウンロードできる機能を提供することがあります。お客様が EPSON Software Updater をインストールしており、当社による利用可能なソフトウェア更新版の確認を希望されない場合は、EPSON Software Updater をアンインストールすることでこの機能を無効にすることができます。ソフトウェアをインストールし、更新版の自動チェックを無効にしない場合、お客様は、当社または第三者のサーバーからアップデートを自動的に要求し、受信すること、および全ての更新版にこの契約の条件が適用されることに同意したものとします。

３　その他の権利および制限　お客様は、ソフトウェアを変更し、改変し、翻訳してはならず、また、リバースエンジニアリング、逆コンパイル、逆アセンブルその他の方法によりソフトウェアのソースコードの追跡を試みることはできません。お客様は、ソフトウェアを第三者にレンタルし、リースし、配布し、貸付することはできず、また、ソフトウェアを収益性のある製品またはサービスに組み込むことはできません。ただし、お客様は、ソフトウェアの受領者がこの契約の条項に同意する場合で、当該第三者または他の法人にソフトウェア（全ての複製物、アップデート版、旧版を含みます）および当社製品を譲渡するときは、ソフトウェアを使用するための全ての権利を第三者または他の法人に譲渡することができます。ソフトウェアは単一の構成物としてライセンスされており、お客様は、その構成物である各プログラムを他の用途のために分離することはできません。さらに、お客様は、インターネットなどの公衆ネットワークを介してアクセス可能な共有環境に、またはこの契約第１条に記載する単一の場所以外の他の人がアクセス可能な共有環境上にソフトウェアを置かないことに同意するものとします。

４　権利の帰属　ソフトウェアの権原、権限および知的財産権は、当社または当社のライセンサーおよびサプライヤーに帰属します。ソフトウェアは、米国著作権法、日本国著作権法および著作権に関する国際条約ならびにその他の知的財産権に関する法令および条約によって保護されています。ソフトウェアの所有権その他いかなる権利もお客様に移転するものではなく、この契約はソフトウェアのいかなる権利の販売と解釈されるものではありません。お客様は、ソフトウェアおよびその複製物に記載されている著作権に関する表示、商標、登録商標およびその他の権利に関する表示を削除し、または変更しないことに同意するものとします。当社ならびにそのライセンサーおよびサプライヤーは、お客様に付与されていない全ての権利を留保します。ソフトウェアには画像、イラスト、デザインおよび写真（以下「当社資料」といいます）が含まれる可能性があります。当該当社資料の著作権は当社ならびに当社のライセンサーおよびサプライヤーに帰属し、国および国際的な知的財産権に関する法令、協定または条約によって保護されています。お客様は、当社資料を、(i) 非営利目的のみに使用し、(ii) ソフトウェアによって指定された方法に限り編集、調整または複製し、(iii) 適法な個人的使用、家庭内使用またはその他の法的に許可されている方法でのみ使用するものとします。

５　オープンソースおよびその他第三者の構成物　この契約に基づくお客様へのソフトウェアの使用許諾にかかわらず、お客様は、ソフトウェアの一定の構成物（以下「第三者ソフトウェア」といいます）について、「オープンソース」ソフトウェアライセンスを含む第三者の使用許諾条件が適用される可能性があることに同意します。「オープンソース」ソフトウェアライセンスとは、Open Source Initiative がオープンソースライセンスとして承認したソフトウェアの使用許諾、または実質的に類似した使用許諾条件で配布されるソフトウェアの使用許諾をいい、配布者がソフトウェアをソースコードが入手可能な状態で配布することを要求する使用許諾を含みます。特定のバージョンについての第三者ソフトウェアのリストおよび関連する使用許諾条件は、この契約の末尾、関連するユーザーマニュアルもしくは CD、またはお客様端末もしくはソフトウェアに表示されるライセンス情報に記載されています。第三者ソフトウェアに適用される使用許諾条件によって要求される範囲で、この契約条件に代わり、当該使用許諾条件が適用されます。第三者ソフトウェアに適用される使用許諾条件がこの契約による当該第三者ソフトウェアに関する制限を禁止している限り、当該制限は第三者ソフトウェアには適用されません。

６　複数のソフトウェアのバージョン　お客様は、ソフトウェアを複数のバージョン（異なる動作環境、2 つ以上の言語翻訳バージョン、当社サーバーからのダウンロードまたは CD-ROM 等）で受領し、または取得することができます。ただし、お客様がいかなるバージョンまたはいかなる数のソフトウェアを受領したときでも、お客様はこの契約の第 1 条において許諾された使用許諾条件に適合したメディアまたはバージョンのみを使用することができます。

７　保証および救済の放棄　お客様が当社または代理店から記録メディアによってソフトウェアを入手した場合、当社は、ソフトウェアが記録された記録メディアについて、お客様に納入された日から 90 日間、通常の使用の下で製造上および材料上の欠陥がないことを保証します。お客様への納入から 90 日以内に当社または販売店に記録メディアが返品された場合で、当社が記録メディアに欠陥があると判断し、かつメディアが誤用、濫用、誤った適用、または欠陥のある機器で使用されていないときは、お客様による当社へのソフトウェア（その一部の全ての複製物を含む）の返却時に、当社は記録メディアを交換します。お客様は、自己の責任においてソフトウェアを使用することを認め、これに同意するものとします。ソフトウェアは「現状有姿」で提供されており、いかなる種類の保証もありません。当社および当社のサプライヤーは、ソフトウェアの性能およびその使用結果について一切の保証を行いません。当社は、ソフトウェアの動作に中断がなく、エラーがなく、ウイルスやその他の有害な構成物や脆弱性がないこと、またはソフトウェアの機能がお客様の要望や要件を満たしていることを保証しません。当社の唯一かつ排他的な責任および当社の保証違反についてのお客様の唯一の救済措置は、当社の選択により、ソフトウェアの記録メディアの交換またはソフトウェアおよび当社製品の返品時における購入金額の返金のいずれかに限定されます。交換されたソフトウェアは、交換前のソフトウェアの残存保証期間または 30 日間のいずれか長い期間内で保証されます。上記の救済が何らかの理由で奏功しない場合、当社の保証違反についての責任は、当社製品の購入代金の返金に限られます。当社は、自己の合理的な管理を超えた原因による履行遅滞や不履行について責任を負いません。この限定的な保証は、ソフトウェアの不具合が偶発的事故、濫用または誤用によるものであった場合、無効となります。本条に記載されている限定的な保証および救済は、排他的であり、その他の全ての保証の代わりになります。当社は、特定目的への適合性、商品性および第三者権利の非侵害を含め、明示または黙示を問わず、他の全ての保証を否認します。ただし、一部の州または法域では、黙示の保証の除外または制限を認めていないため、上記の制限が適用されないことがあります。

８　責任の制限　適用される法律が許容する最大限の範囲において、当社または当社のサプライヤーは、契約、不法行為（過失を含む）、厳格責任、保証違反、不実表示その他原因の如何を問わず、また、直接損害、間接損害、特別損害、付随損害または派生損害であるかを問わず、ビジネス上の利益の損失、事業の中断、ビジネス情報の損失またはその他の金銭的な損害を含め、ソフトウェアの使用もしくは使用不能から生じ、またはこの契約から生じた一切の責任を負わないものとします。これは当社または当社のサプライヤーがそのような可能性を知らされていた場合にも同様です。一部の州や法域では一定の取引における損害賠償の除外や制限を認めていないため、そのような州または法域においては上記の制限が適用されないことがあります。

９　米国政府によるソフトウェアの入手　この条項は、米国政府（「政府」）による、もしくは政府のためのソフトウェアのあらゆる入手、または政府との何らかの契約、政府補助、共同契約、「その他取引」（「OT」）もしくは他の活動の下での元請業者・下請業者（どのような階層でも）によるソフトウェアのあらゆる入手に適用されます。政府、元請業者および下請業者は、ソフトウェアの引渡しを受けることにより、ソフトウェアが適用される FAR Part 12、FAR Subpart 27.405 の paragraph (b)、または DFARS Subpart 227.7202 の意味における「商業上の」コンピューターソフトウェアに該当すること、およびその他の規則または FAR・DFARS のデータ権利に関する条項が政府へのソフトウェアの引渡しには適用されないことに同意します。したがって、この契約の条項は、政府（および元請業者と下請業者）によるソフトウェアの使用と公開に適用され、また、それに従って政府にソフトウェアが引き渡された契約、政府補助、共同契約、OT または他の活動であってこの契約と矛盾する条項に優先します。もし、ソフトウェアが政府の要求を満たすことができなかったり、この契約が何らかの点で連邦法と矛盾したり、または上記に引用されている FAR と DFARS の条項が適用されない場合には、政府は、ソフトウェアを未使用の状態で当社に返品することに同意します。

１０　輸出規制　お客様は、ソフトウェアを、米国輸出規制またはその他の輸出法令、輸出制限もしくは輸出規制によって禁止されている国へ輸送し、移送し、輸出し、または禁止されている方法で使用しないことに同意します。

１１　完全合意　この契約は、当事者間におけるソフトウェアに関する完全な合意であり、ソフトウェアに関するいかなる発注書、連絡、通知または表明に優先します。

１２　拘束力のある契約；承継人　この契約は、契約当事者、当事者の承継人、譲受人および法的代理人の利益のために効力を生じ、それらを拘束します。

１３　分離可能性；修正　この契約の一部の条項が管轄裁判所によって（アメリカ合衆国在住のお客様は第 22 条第 8 項および第 22 条第 9 項に従い）無効または法的強制力がないと判断された場合、それはこの契約の他の条項の有効性に影響を及ぼすものではなく、他の条項はその条件に従って有効かつ法的強制力を有するものとします。この契約は、当社を代表する権限を有する者の署名の入った書面によってのみ変更することができます。

１４　補償　お客様は、(i) この契約上のお客様のいかなる義務違反、または(ii) ソフトウェアもしくは当社製品の使用によって生じた、いかなる損失、責任、損害、費用、実費（合理的な弁護士費用を含みます）、訴訟、紛争および請求について、当社ならびにその取締役、役員、株主、従業員および代理人を補償し、免責し、当社の要求に応じ防御することに同意します。仮に当社がお客様にいかなるそのような訴訟または請求を防御することを要求する場合、当社は自己負担で当社が選択する弁護士によりその防御に参加する権利を有します。お客様は、当社の事前の書面による同意なく、当社が補償を受ける権利を有する第三者との紛争につき和解することはできません。

１５　契約終了　当社が有する他のいかなる権利を損なうことなく、前述の第 1 条に基づくお客様の使用権および第 7 条に基づく保証を受ける権利は、お客様がこの契約を遵守しなかった場合、自動的に終了します。そのような権利が終了した時点で、お客様はソフトウェアおよびその全ての複製物を直ちに削除することに同意するものとします。

１６　契約締結権限および能力　お客様は、お客様の居住する州または国の法令における成人年齢であり、該当する場合、お客様が自身の雇用主からこの契約を締結するための正当な権限を受けていることを含め、この契約を締結するために必要な権限を有していることを表明します。

１７　プライバシーおよび情報の処理　ソフトウェアには、インターネットを介してお客様端末との間でデータを送受信する機能があります。たとえば、ソフトウェアをインストールすると、お客様端末から、当社製品に関する機種、シリアル番号、国別コード、言語コード、オペレーティングシステム情報、当社製品の使用情報などの情報が当社インターネットサイトに送信され、当社インターネットサイトはお客様端末にプロモーション情報やサービスに関する情報を表示させることがあります。ソフトウェアを通じ提供される情報の処理は、データ保護に関する適用法令および https://global.epson.com/privacy/area_select_confirm_eula.html に明記される当社のプライバシーポリシーに従って行われます。適用法令で許可されている範囲で、お客様がこの契約の条項に同意し、ソフトウェアをインストールすることにより、お客様は、お客様の情報がお客様の居住国内または国外で処理および保管されることに同意するものとします。特定のプライバシーポリシーがソフトウェアに組み込まれているか、ソフトウェアを使用する際に表示される場合は（例：アプリケーションソフトウェアなど）、当該特定のプライバシーポリシーが上記の当社プライバシーポリシーに優先するものとします。

１８　第三者のウェブサイト　お客様は、ソフトウェアからのハイパーテキストまたはその他のコンピュータリンクを介して、当社が管理または運営していない、第三者によって管理されている一定のウェブサイトおよびサービスを使用することができます。お客様は、当社が当該第三者のウェブサイトおよびサービスの正確性、完全性、適時性、有効性、著作権法令遵守、適法性、良質性、品質その他一切の事項に関し責任を負わないことを認め、これに同意するものとします。当該第三者のウェブサイトおよびサービスには異なる利用規約が適用され、また、お客様が第三者のウェブサイトおよびサービスにアクセスし、使用すると、当該第三者のウェブサイトおよびサービスの利用規約に法的に拘束されます。この契約と第三者のウェブサイトおよびサービスの利用規約との間に矛盾がある場合、当該ウェブサイトおよびサービスへのアクセスおよび使用に関しては、当該第三者のウェブサイトおよびサービスの利用規約が適用されます。当社はソフトウェアから第三者のウェブサイトおよびサービスへのリンクを提供することがありますが、そのようなリンクは、当該ウェブサイトおよびサービスならびに当該ウェブサイトおよびサービスのコンテンツ、所有者または提供者に関する当社による許可、承認、スポンサーシップまたは提携ではありません。当社はお客様による閲覧と利便性のためにそのようなリンクを提供しています。したがって、当社は、当該ウェブサイトおよびサービスに関するいかなる表明もせず、当該第三者のサイトおよびサービスに関するいかなるサポートも提供しません。当社は、当該ウェブサイトおよびサービスに記載されている情報、製品またはソフトウェアを検査していないため、当該情報、製品またはソフトウェアに関するいかなる表明もすることができません。お客様は、当社が当該ウェブサイトおよびサービスの内容や運営に関し一切の責任を負わないことに同意します。お客様が選択したいかなるものにもウイルス、ワーム、トロイの木馬その他破壊的な性質を持つものが含まれていないことを保証する予防措置を取ることは、お客様自身に委ねられています。お客様は、ソフトウェアからリンクする他のウェブサイトおよびサービス上のコンテンツを使用する範囲を決めることについて、単独で責任を負うものとします。

（お客様の居住地がアメリカ合衆国内である場合、以下の第 19 条から第 23 条がお客様に適用されます）

１９　インクの購入　北米で販売されている Epson プリンタ製品については、ソフトウェアの機能によって Epson からインクを購入するオプションが表示されることがあります。購入ボタンをクリックすると、お客様端末は、お客様が当社からオンラインで購入できる当社製品のカートリッジの種類とインクレベルを表示し、色、使用可能なカートリッジサイズ、交換用インクカートリッジの価格など、カートリッジに関するその他の情報を提供します。

２０　ダウンロード可能なアップデート版　お客様は、ソフトウェアのアップデート版またはアップグレード版が利用可能になった場合、Epson のインターネットサイトから当該アップデート版またはアップグレード版をダウンロードすることができます。お客様がソフトウェアのインストールに同意した場合、インターネットへの、またはインターネットからの送受信、情報の収集および使用はその時点で最新の当社のプライバシーポリシーに従って行われ、お客様は、ソフトウェアをインストールすることにより、その時点で最新の当社のプライバシーポリシーがそのような情報の送受信、収集および使用に適用されることに同意したことになります。

２１　当社アカウントおよび広告メール　お客様がソフトウェアをインストールし、当社製品を当社に登録し、かつ/または Epson Store でアカウントを作成し、その使用に同意した場合は、個人情報および個人を特定できない情報から構成される、インストールに関連して収集された情報、当社製品の登録情報および Epson Store アカウント作成情報を統合すること、ならびに当該統合した情報を用いて当社のプロモーション情報やサービス情報をお客様に送信することに同意したことになります。お客様が当社製品に関する情報を送信し、またはプロモーション情報やサービス情報を受信したくない場合、Windows システムではドライバーに含まれる Monitoring Preferences を介してこれらの機能を無効にすることができます。Mac オペレーティングシステムでは、Epson Customer Research Participation および Low Ink Reminder ソフトウェアをアンインストールすることにより、これらの機能を無効にすることができます。

２２　紛争、拘束力のある個別仲裁、集団訴訟・集団仲裁の放棄

２２．１　紛争　この第 22 条の条項は、お客様と当社のあらゆる紛争に適用されます。「紛争」とは、法の下で可能な限り広い意味を持ち、契約、保証、不実表示、詐欺行為、不法行為、故意の不法行為、制定法、規則、条例によるかその他の法律上・衡平法上の理由に基づくかを問わず、この契約、ソフトウェア、当社製品、その他お客様と当社に関係する取引に起因し、またはこれに関係するお客様と当社の紛争、請求、論争、訴訟を含みます。「紛争」には、知的財産権に関する請求は含みません。より詳細にいえば、知的財産権に関する請求とは(a)商標権の侵害または希釈化、(b)特許権侵害、(c)著作権侵害・濫用、(d)営業秘密の不正使用に関する請求または請求の原因を意味します（以下「知的財産権に関する請求」といいます）。また、お客様と当社は、第 22 条第 6 項にかかわらず、仲裁人ではなく裁判所が、主張または訴訟原因が知的財産権に関する請求であるかを決定できることに同意します。

２２．２　拘束力のある仲裁　お客様と当社は、この契約に従い、全ての紛争が拘束力のある仲裁によって解決されることに同意します。仲裁は、お客様が裁判手続における裁判官または陪審による裁判を受ける権利を放棄し、お客様の上訴理由が制限されることを意味します。この契約に従い、拘束力のある仲裁は、全国的に認識されている仲裁機関である JAMS によって、消費者関連の紛争に適用のあるその時において有効な JAMS の手続法に従って行われます。しかし、仲裁において併合または集団訴訟を可能にするルールは除外されます（手続きに関する詳細については、第 22 条第 6 項のご確認をお願いします）。お客様と当社は、(a)米国連邦仲裁法(9 U.S.C. §1, et seq.)が第 22 条の解釈と施行に適用されること、(b)この契約は州際通商における取引を記録するものであること、および(c)この第 22 条はこの契約終了後も存続することを理解し、これに同意します。

２２．３　仲裁前の手続および通知　お客様および当社は、仲裁の申立てを提出する前に、60 日間、紛争の解決のために協議するものとします。当該協議が 60 日以内に整わなかった場合、お客様または当社は仲裁を開始することができます。当社に対する紛争に係る通知は、Epson America, Inc., ATTN: Legal Department, 3840 Kilroy Airport Way, Long Beach, CA 90806（以下「当社宛先」といいます）に送られなければなりません。お客様に対する紛争に係る通知は、当社に登録されている最新のお客様の住所に送られます。そのため、お客様は、登録している住所に変更があった場合、当社に対して E メール EAILegal@ea.epson.com または当社宛先への書面による通知によって、住所変更を通知することが重要です。紛争に係る通知には、送信者の氏名、住所、問合せ先、紛争の原因たる事実および求める救済が含まれている必要があります（以下「紛争通知」といいます）。紛争通知を受領後、お客様および当社は、仲裁開始前に紛争解決に向けて誠実に行動することに同意します。

２２．４　少額裁判所　前述の規定にかかわらず、お客様は、お客様の州または自治体の少額裁判所に対して個別の訴訟を提訴することができます。ただし、当該訴訟が当該少額裁判所の管轄下であり、かつ当該少額裁判所でのみ係属中である場合に限ります。

２２．５　集団訴訟および集団仲裁の放棄　お客様および当社は、紛争に関して、両当事者とも相手方に個人としての資格においてのみ訴訟を提起することができ、州または連邦の集団訴訟および集団仲裁を含むいかなる集団訴訟および代表訴訟の原告およびクラスメンバーとしては訴訟を提起できないことに同意します。集団訴訟、集団仲裁、私的司法長官訴訟その他ある者が代表者としての資格により行為するいかなる手続も認められません。したがって、本条に規定されている仲裁手続において、仲裁人は、仲裁手続に関して影響を受ける全ての当事者の書面による承諾なしに当該仲裁手続を併合することはできません。

２２．６　仲裁手続き　お客様または当社が仲裁手続きを開始した場合、当該仲裁は仲裁が申立てられた時点において有効な JAMS の仲裁規則（ただし、集団での仲裁や代表として提起する仲裁を許容するルールは除くものとし、以下「JAMS 仲裁規則」といいます。）およびこの契約の定めに従って行われます。なお、JAMS 仲裁規則については、http://www.jamsadr.com の閲覧か 1-800-352-5267 への問合せにより参照可能です。全ての紛争は両当事者にとって中立な、単独の仲裁人によって解決され、両当事者は当該仲裁人を選定する合理的な機会を有します。仲裁人はこの契約の条項に拘束されます。この契約の解釈、適用可能性、執行可能性もしくは成立に起因し、またはそれらに関連する全ての紛争（この契約の全部または一部が無効または取消可能であるという訴えを含みます）は、いかなる連邦、州、地域の裁判所や機関ではなく、当該仲裁人のみがこれを解決する唯一の権限を有するものとします。ここで定められた仲裁人への広範な権限委任にかかわらず、裁判所は、請求または請求の原因が前述の第 22 条第 1 項において紛争の定義から除外された知的財産権に関する請求であるかどうかという限定的な問題につき判断することができます。仲裁人は、法律または衡平法に基づき、裁判所において認められる救済を付与する権限を与えられます。仲裁人は、裁判所と同様に賠償請求をお客様に認めることができます。仲裁人は、救済を求める個別のお客様のみに、当該お客様の個別の訴えにより認められる救済を提供するのに必要な範囲のみにおいて、宣言的救済または差止め命令による救済を与えることができます。仲裁手続きの費用は訴訟にかかる費用を上回る場合があり、また、仲裁におけるディスカバリの権利は訴訟手続きに比較して限定されたものとなる可能性があります。仲裁人による仲裁判断は拘束力があり、管轄を有する裁判所において判決とされる可能性があります。

お客様は、仲裁のヒアリングに電話で参加することを選択することができます。電話による仲裁のヒアリングを希望されない場合は、お客様の主たるお住まいから合理的に参加可能な場所か、カリフォルニア州オレンジ郡のいずれかでの開催をお客様が選択することができます。

a) 仲裁手続きの開始　お客様または当社が紛争を仲裁によって解決することを選択した場合、両当事者は以下の手続きに従うものとします。

(i) 仲裁申立書を作成します。仲裁申立書には、紛争の概要説明と支払を求める損害の総額を必ず記載します。仲裁申立書のフォーム（以下「仲裁申立書」といいます）は http://www.jamsadr.com にて確認することができます。

(ii) 仲裁申立書を 3 部、必要な仲裁申立費用を添えて、以下の宛先に提出します。

JAMS, 500 North State College Blvd., Suite 600 Orange, CA 92868, U.S.A.

(iii) 仲裁申立書 1 部を相手方（紛争通知に記載されているのと同じ宛先）または別途両当事者によって合意された宛先に送付します。

b) ヒアリングの進め方　仲裁手続き中では、仲裁人がお客様または当社が権利を有する額を決定するまでは、一切の和解提案の額を仲裁人に開示してはならないものとします。仲裁手続き中において、紛争に関連し、弁護士秘匿特権で保護されていない情報のディスカバリや交換が認められる場合があります。
c) 仲裁費用　当社は、この契約の条項に従い、（お客様または当社によって）開始した仲裁のための全ての JAMS の仲裁申立費用や仲裁人費用を支払い、お客様が当該費用を負担された場合はこれを払い戻します。
d) お客様有利の仲裁決定　お客様または当社が US$75,000 以下（弁護士報酬および費用を除きます）の損害賠償を求める紛争において、仲裁人の仲裁判断が、当社から提示した書面による最終和解案よりも高い額をお客様に与えるものであった場合、当社は、(i)US$1,000 または仲裁判断で示された金額のうち高い方の金額をお客様に支払い、(ii)（もし発生していれば）お客様が負担する合理的な弁護士報酬の 2 倍の金額をお客様に支払い、(iii)お客様の弁護士が仲裁に至った紛争の調査・準備や遂行のために要した合理的な範囲のあらゆる経費（専門家証人の報酬および費用を含みます。）を払い戻します。お客様と当社との間の書面より合意された場合を除き、仲裁人はこの第 22 条第 6 項(d)に従って当社が支払うべき報酬、費用および経費を決定するものとします。
e) 弁護士報酬　当社は、この契約の下での紛争に関して開始された仲裁手続きにおいて発生した弁護士報酬および経費を請求しません。上記の第 22 条第 6 項(d)に基づく弁護士報酬および経費に関するお客様の権利は、適用可能な法に基づく弁護士報酬および経費に関するお客様の権利を制限するものではありません。上記にかかわらず、仲裁人は弁護士報酬および経費を二重に与える内容の仲裁判断を下すことはできないものとします。

２２．７　オプトアウト　お客様は、お客様がこの契約に同意（ソフトウェアを購入、ダウンロード、インストールすること、その他当社製品、製品、サービスを適切に利用することを含みますが、これに限られません。）してから３０日以内に当社宛先に以下の項目を明記した書面を送付することで、この契約で規定される最終的で拘束力のある個別仲裁手続きならびに集団および代表訴訟手続きの放棄からのオプトアウト（お客様自身を除外すること）を選択することができます。
(i) お客様の氏名
(ii) お客様のメールアドレス
(iii) お客様が第 22 条に規定される最終的で拘束力のある個別仲裁手続きならびに集団および代表訴訟手続きの放棄から除外されることを希望すること

お客様が以上の手順に従ってオプトアウトを選択した場合でも、訴訟の事前通知義務を含むその他の全ての規定は引き続き適用されます。

２２．８　第 22 条の変更　この契約の規定にかかわらず、お客様および当社は、当社がこの契約に規定する紛争解決手続きおよび集団訴訟の放棄に関する条項を将来的に変更する場合（当社の住所変更を除く）、当社がお客様から当該変更について同意する旨の積極的な意思表示を得ることに同意します。
お客様が当該変更について同意する旨の積極的な意思表示を行わない場合、お客様は、第 22 条の規定に従いお客様と当社の間の紛争を仲裁により解決すること（または、お客様が最初にこの契約書に同意した際にオプトアウトを適時に選択した場合は、第 22 条第 7 項の規定に基づき紛争を解決すること）に同意するものとします。

２２．９　分離可能性　第 22 条のいずれかの規定が法的強制力を持たないことが判明した場合、当該規定はこの契約のその他の規定が完全に有効に存続するように、この契約のその他の規定から分離されるものとします。本項の規定は第 22 条第 5 項に規定する集団訴訟または代表訴訟の禁止に対しては適用されないものとし、第 22 条第 5 項が無効であることが判明した場合、第 22 条全体（第 22 条のみに限る）が無効となります。

２３　米国ニュージャージー州に居住のお客様へ　この契約の規定にかかわらず、第 7 条または第 8 条のいずれかの規定がニュージャージー州法において法的執行力を有さず、無効であり、または適用されないと判断された場合、それらの規定はお客様には適用されませんが、この契約のその他の規定は引き続きお客様と当社に適用されます。この契約の規定にかかわらず、この契約の規定はお客様のニュージャージー州の TRUTH-IN-CONSUMER CONTRACT, WARRANTY AND NOTICE ACT により付与される権利を制限するものではなく、そのようにみなされ、解釈されてはなりません。

2018 年 12 月版